

町田の教育

2023

町田市教育委員会



目次

【教育委員会】

1. 教育目標及び基本方針	6
2. 教育プラン	7
(1) 計画の構成	7
(2) 施策・重点事業の体系	7
3. 教育委員会	10
(1) 教育長及び教育委員	10
(2) 教育委員会の開催	11
(3) 2022年度教育長及び教育委員の 主な活動状況	13
(4) 教育委員会の組織と事務分掌	14
4. 教育予算	17
主な事業と予算（2023年度）	18

【学校教育】

1. 市立小・中学校の概要	21
(1) 学校一覧	21
(2) 学級編制	26
(3) 児童・生徒数及び学級数	27
(4) 通学区域	34
(5) 通学区域緩和制度	34
2. 教育環境	36
(1) 学校施設	36
(2) 学校図書館	42
3. 町田市の特色ある取組	44
(1) 小・中学校間の連携	44
(2) 学力向上	46
(3) 体力向上	48
(4) 防災教育	50
(5) 生活指導補助者派遣	50
(6) 科学教育センター	50
(7) 児童・生徒の文化活動	52
(8) ICT教育	53
4. 研修・研究	55
(1) 研修	55
(2) 研究	57

5. 特別支援教育	59
(1) 就学・進学相談	59
(2) 特別支援学級	59
(3) 人的支援制度	62
(4) 連合行事	63
(5) 副籍制度	63
(6) 特別支援教育推進モデル校	63
6. 教育相談等	64
(1) 教育相談	64
(2) 不登校児童・生徒支援	66
7. 家庭・地域と連携した学校づくり	68
(1) 学校運営協議会、地域学校協働本部／ コミュニティ・スクール	68
(2) 学校支援ボランティア	68
8. 教育のための支援	70
(1) 就学援助	70
(2) 通学費補助制度	71
(3) 校外学習への補助事業	72
(4) 特別支援学級の就学奨励	73
9. 学校給食	74
(1) 指導目標	74
(2) 栄養管理	74
(3) 地場農作物の活用・食育	75
(4) 衛生管理	75
(5) 食物アレルギー対応	75
(6) 給食費	76
(7) 中学校給食利用促進	76
(8) 町田市学校給食問題協議会	77
10. 学校保健	78
(1) 定期健康診断	78
(2) 学校環境衛生の確保	82
(3) 町田市学校保健会	82
(4) 日本スポーツ振興センター 災害共済給付	82
(5) 新型コロナウイルス感染症への対応	82
11. 新たな学校づくり	83
(1) 適正規模・適正配置	83
(2) 新たな通学区域及び学校の統合	84
(3) 新たな学校の運用体制	86

【生涯学習】

1. 生涯学習	88
（1）生涯学習審議会	88
（2）社会教育委員	89
2. 歴史・文化財	90
（1）自由民権資料館	90
（2）考古資料室	92
（3）三輪の森ビジターセンター 郷土資料展示室	92
（4）文化財の保護	93
3. 生涯学習センター	99
（1）施設概要	99
（2）施設貸出	99
（3）学習活動の支援	100
（4）各種講座等の開催	103
（5）町田市生涯学習センター運営 協議会	105
（6）事業数及び参加人数 (2018～2022年度)	106
4. 図書館	107
（1）市立図書館のあゆみ	107
（2）市立図書館の概要	108
（3）貸出サービス	109
（4）移動図書館サービス	113
（5）リクエストサービス	113
（6）レファレンスサービス	114
（7）障がい者サービス	114
（8）視聴覚サービス	115
（9）児童サービス	115
（10）ヤングアダルトサービス	116
（11）ホームページ上でのサービス	116
（12）相互利用サービス	116
（13）行事	117
（14）町田市立図書館協議会	119
（15）町田市子ども読書活動推進計画	119
（16）町田市子ども読書活動推進 計画推進会議	119

5. 町田市民文学館	120
（1）施設概要	120
（2）施設内容	120
（3）利用案内	120
（4）各種事業	120

【資料編】

1. 歴代教育委員	127
2. 附属機関委員	128
3. 小・中学校配置図	130
4. 生涯学習部所管施設及び 主な文化財の配置図	132
5. 年表	135
6. 町田市子ども憲章	145
7. 問い合わせ先	146

教育委員会



1. 教育目標及び基本方針

教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、町田市子ども憲章の趣旨を踏まえて、教育目標及び基本方針を定めています。

教育目標は、教育委員会が育てようとする人間像と目指すべき社会を表すものです。基本方針は、教育目標を実現するための施策の指針であり、以下の4つを掲げています。

教育目標

夢や志をもち、未来を切り拓く町田っ子を育てる。
生涯にわたって自ら学び、互いに支え合うことができる地域社会を築く。

基本方針Ⅰ 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす

- ①新たな時代に必要な資質・能力を育みます。
- ②「生きる力」を町田ならではの取組により育みます。

基本方針Ⅱ 充実した教育環境を整備する

- ①一人ひとりの能力・可能性を育てます。
- ②学校のマネジメント力を強化します。
- ③将来を見据えた学習環境の整備を進めます。

基本方針Ⅲ 家庭・地域の教育力を高める

- ①地域による学校への「支援」から「連携・協働」へ活動を発展させます。
- ②保護者の学びや育ちを支援します。

基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する

- ①一人ひとりの学習段階に応じた支援を行います。
- ②学習を支える環境づくりを進めます。

2. 教育プラン

町田市教育委員会では、2014年に5年間の教育の方向を見据え、重点的に取り組んでいく計画をまとめた「町田市教育プラン」を策定し、教育施策を進めてきました。

策定から5年が経過し、この間、情報化の進展によるライフスタイル等の変化やグローバル化が進んだことに伴い、教育をめぐる環境は複雑化・多様化しています。

こうした状況を踏まえ、これまでの取組による成果や課題を振り返り、町田市が目指す教育の姿の実現に向けて、今後5年間の施策の方向性を示す「町田市教育プラン 2019-2023」を策定しました。

(1) 計画の構成

町田市教育プラン 2019-2023 は、町田市教育委員会の「教育目標」と「基本方針」を受け、それを実現するための施策、課題解決に向けて重点的に取り組む事業である重点事業からなります。

(2) 施策・重点事業の体系

町田市教育プラン 2019-2023 の施策・重点事業の体系は、以下のとおりです。

<基本方針Ⅰ 学ぶ意欲を育て「生きる力」を伸ばす>

施策	重点事業
1 確かな学力を育成する	1 町田市学力向上推進プランの策定及び推進 2 えいごのまちだ推進事業 3 ICTを活用した教育の推進 4 放課後学習の充実 5 科学教育の推進
2 豊かな心を育成する	1 いじめ防止対策の推進 2 キャリア教育の推進 3 「うたひびくまちだ」の推進
3 生涯を通じて健やかに過ごせる体を育成する	1 体力向上推進プランの改定及び推進 2 楽しく運動する機会の充実 3 食育の推進

<基本方針Ⅱ 充実した教育環境を整備する>

施策	重点事業
1 質の高い学習環境を整備する	1 教室におけるICT環境の整備 2 体育館空調設置の実施 3 学校図書館の機能強化 4 教育センターの機能拡充
2 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育を推進する	1 特別な支援を必要とする子どもに対する支援の充実 2 特別支援教室の整備 3 特別支援学級の整備
3 不登校対策を強化する	1 不登校初期支援の推進 2 適応指導教室の拡充
4 学校のマネジメント力を向上する	1 学校のマネジメント力の強化 2 学校を支える人員体制の構築 3 ICT等を活用した校務改善の推進
5 将来を見据えた学習環境をつくる	1 小・中学校の適正規模・適正配置の推進 2 学校施設の個別施設計画の策定

<基本方針Ⅲ 家庭・地域の教育力を高める>

施策	重点事業
1 とともに育つ学校と地域の協働体制を確立する	1 コミュニティ・スクールの推進 2 地域学校協働本部の設置 3 地域と連携した放課後活動の充実 4 多様な人材の活用の促進
2 家庭教育を支える環境を整備する	1 保護者向けの学習機会の充実 2 家庭教育支援の担い手育成・活動支援

<基本方針Ⅳ 生涯にわたる学習を支援する>

施策	重点事業
1 学びのきっかけとなる機会を提供する	1 学習情報の発信力の強化 2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進 3 子ども読書活動の推進 4 学校図書館との連携強化
2 学習を“広げる・深める”を支援する	1 地域の課題解決に向けた学習支援 2 町田の歴史情報の提供 3 「文学の扉」事業の推進
3 学習成果を活かす機会を充実する	1 市民提案型事業の推進 2 協働による研究・発表の推進 3 地域で活動するボランティアの養成・支援
4 学習を支える環境づくりを進める	1 支援が必要な人への学習機会の提供 2 本と出会う場所の創出 3 文化財の保存と活用環境の整備



3. 教育委員会

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体が教育、学術、文化に関する事務を処理するために、市長から独立した行政委員会として設置された合議制の執行機関です。

(1) 教育長及び教育委員

教育委員会は、教育長及び4人の委員で組織されています。

教育長は、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て任命します。教育長の任期は3年です。

委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が議会の同意を得て任命します。委員の任期は4年です。ただし、2015年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」附則第4条に基づき、委員の任期の満了の期日が特定の年に偏ることのないよう、施行の日から4年の間に任命される委員の任期は、1年以上4年以内で市長が定めることとなっています。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。(会議の主宰者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者)。

教育長職務代理者は、教育長に事故があるとき、または教育長が欠けたときに教育長の職務を代行します。

教育長及び教育委員 (2023年4月現在)

職名	氏名	任期
教育長	さかもと しゅういち 坂本 修一	2021.4.1～2024.3.31
教育長職務代理者	ごとう よしひで 後藤 良秀	2023.4.1～2027.3.31
委員	もりやま けんいち 森山 賢一	2022.4.1～2026.3.31
委員	いのうえ ゆな 井上 由奈	2020.4.1～2024.3.31
委員	せきね みさき 関根 美咲	2021.4.1～2025.3.31



坂本教育長



後藤委員



森山委員



井上委員



関根委員

(2) 教育委員会の開催

教育委員会の会議は、「町田市教育委員会会議規則」の定めるところにより、毎月1回定例会が開催されるほか、必要に応じて臨時会が開催されます。また、これらの会議とは別に、教育行政全般について協議するために協議会が開催されます。2022年度には、定例会12回、臨時会1回が開かれ、下表の議案が付議・可決されました。



2022年度 教育委員会会議への付議案件一覧

月日	会議名	付議案件
4/15	第1回定例会	議案第1号 町田市立中学校PTA連合会の役員への感謝状の贈呈について 臨時代理報告第1号 都費負担教職員の服務事故に係る処分内申の臨時代理の報告について
5/13	第2回定例会	議案第2号 町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について 議案第3号 第19期町田市立図書館協議会委員の委嘱及び解任について 議案第4号 第5期町田市民文学館運営協議会委員の委嘱及び解任について 臨時代理報告第2号 副校長の任命に係る内申の臨時代理の報告について
6/9	第3回定例会	請願第1号 中学校歴史教科書に対する請願 議案第5号 町田市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規定の一部を改正する規定について 議案第6号 第6期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について 臨時代理報告第3号 第33期町田市社会教育委員の委嘱の臨時代理の報告について
7/1	第4回定例会	議案第7号 (仮称) 町田市教育プラン2024-2028策定方針について 議案第8号 町田市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
8/5	第5回定例会	議案第9号 2022年度町田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(2021年度分)報告書について 議案第10号 2023年度使用教科用図書(小学校)の採択について 議案第11号 2023年度使用教科用図書(中学校)の採択について 議案第12号 2023年度使用教科用図書(特別支援学級)の採択について 議案第13号 第6期町田市生涯学習審議会委員の委嘱について
9/16	第6回定例会	議案第14号 教育長の権限に属する事務の一部を委任する規程の一部を改正する規程について 議案第15号 町田市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 議案第16号 町田市学校の統合に伴う学区外通学と費用負担等検討委員会委員の委嘱及び任命について 議案第17号 町田市学校給食問題協議会委員の委嘱及び任命について 議案第18号 学校支援ボランティアへの感謝状の被贈呈者の承認について 議案第19号 第6期町田市民文学館運営協議会委員の委嘱について
10/7	第7回定例会	議案第20号 町田市教育委員会会計年度任用職員の報酬に関する規程の一部を改正する規程について
11/4	第8回定例会	議案第21号 町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について 議案第22号 町田市立学校の学校徴収金事務取扱規程の一部を改正する規程について 議案第23号 町田市立図書館条例(案)について

12/22	第9回定例会	請願第2号 議案第24号 議案第25号 臨時代理報告第4号 臨時代理報告第5号	学校統廃合の見直しに関する請願 町田市教育委員会児童生徒表彰規程の一部を改正する規程について 町田市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規程の一部を改正する規程について 校長の任命（新任）に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて 校長の任命（特命担当）に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて
1/13	第10回定例会	議案第26号 議案第27号 議案第28号	町田市教育委員会児童生徒表彰について 町田市教育委員会を実施機関とする個人情報の保護に関する規則を廃止する規則について 町田市学校保健功労者の表彰及び感謝状の贈呈について
2/3	第11回定例会	議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 臨時代理報告第6号	「（仮称）町田市教育プラン2024-2028」の骨子（案）について 町田市教育委員会児童生徒表彰対象者の追加について 町田市立学校職員の兼業等及び教育公務員の教育に関する兼職等に関する事務取扱規程の一部を改正する規程について 校長、副校長の任命（転任・新任）に係る内申について 町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」の策定について 都費負担教職員の服務事故に係る処分内申の臨時代理の報告について
3/3	第12回定例会	議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号 議案第41号 議案第42号 議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47法	町田市教育委員会事務局の組織等に関する規則の一部を改正する規則について 町田市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について 市立学校職員の表彰及び感謝状の贈呈について 「町田市本町田地区小学校新たな学校づくり基本計画」の策定について 「町田市南成瀬地区小学校新たな学校づくり基本計画」の策定について 「町田市鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画」の策定について 「町田市鶴川西地区小学校新たな学校づくり基本計画」の策定について 「町田市南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画」の策定について 「町田市本町田地区小学校新たな学校づくり建設基本計画」の策定について 「町田市南成瀬地区小学校新たな学校づくり建設基本計画」の策定について 「町田市鶴川東地区小学校新たな学校づくり建設基本計画」の策定について 「町田市鶴川西地区小学校新たな学校づくり建設基本計画」の策定について 「町田市南第一小学校地区新たな学校づくり建設基本計画」の策定について 町田市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
3/31	第1回臨時会	議案第48号 議案第49号 議案第50号 臨時代理報告第7号	教育委員会職員の3月31日付け人事異動について 教育委員会職員の4月1日付け人事異動について 町田市教育委員会が管理する公の施設の指定管理者制度のガイドラインについて 副校長の任免（転任・新任）に係る内申の臨時代理の報告について

(3) 2022年度 教育長及び教育委員の主な活動状況

(2) で挙げた会議等のほか、以下のような活動を行い、教育委員会としての考えや思いを広め、また、さまざまな活動を称え激励し、さらに現場の状況や生の声を把握することにより、教育行政の一層の充実に努めています。ただし、2022年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため各行事の中止や縮小が相次ぎ、活動の機会も例年より少なめとなりました。

2022年度の活動内容	
儀式・表彰式、市議会、教育委員会連合会、校長会等への出席	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員の辞令交付式 ○町田市議会定例会本会議 ○東京都市町村教育委員会連合会の総会・理事会・研修会等 ○東京都市教育長会の会議 ○定例校長会・副校長会 ○総合教育会議 ○市長と教育長、教育委員との予算に関する懇談会 ○教育委員会児童生徒表彰式
学校への訪問	<ul style="list-style-type: none"> ○市教委訪問 ※1 (14校実施、1校中止) ○研究発表会 ※2 (6校) ○その他 (各校の周年記念式典)
市や学校の連合団体等が主催する研修会等への参加	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校教育研究会の研究発表会
P T Aや市民団体等との懇談	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校P T A連合会のブロック別会議・交流会 ○障がい児保護者団体との懇談会など
市や市民団体等が主催する文化・スポーツ等の行事・式典への参加	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校連合体育大会 ○中学校連合体育大会 ○中学校連合音楽会 (吹奏楽、合唱) ○中学校連合演劇発表会

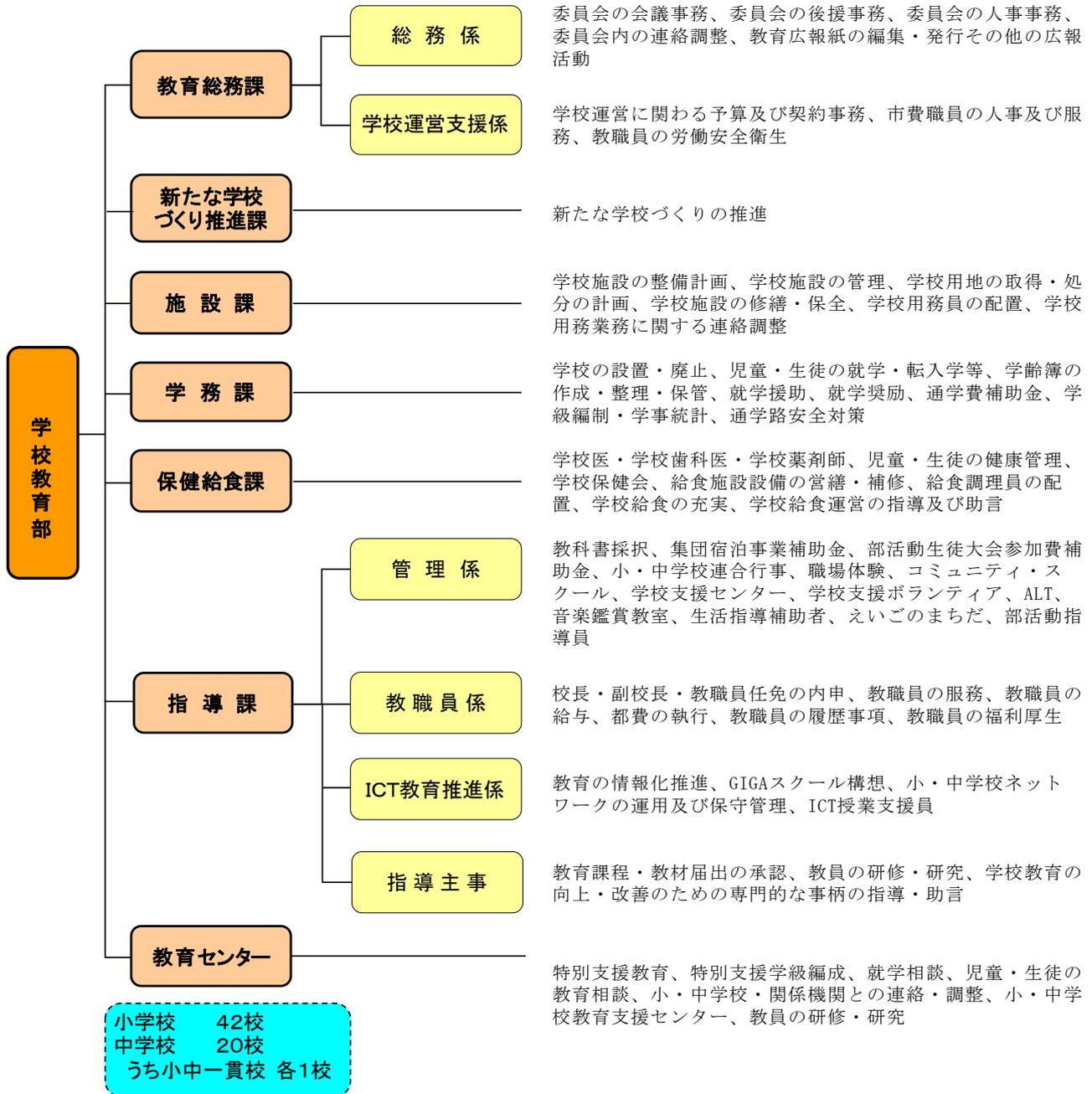
※上記の行事は、オンライン開催や書面開催で実施されたものも含まれます。

※1 市教委訪問 ・ 教育長以下、学校教育部の管理職が学校を訪問するもので、各学校が抱える教育上の諸課題について、その実態を把握し、解決の方途を見出すために実施するものです。全学級の授業参観や教職員との協議・懇談会等を通じて、児童・生徒の教育指導、指導内容・方法、教材・用具、施設・設備、教育環境、保健衛生等、広い視野から教育上の諸課題について話し合い、学校と市教委との連携を深めるねらいがあります。4年に1度は各校を訪問することになります。

※2 研究発表会 ・ 教育委員会が例示するテーマを参考にして、各学校が研究主題を決めて取り組むものです。ここ数年各学校の研究意欲は高く、研究推進校、研究校がその成果や知見を広く内外に公开发表しました。

(4) 教育委員会の組織と事務分掌

教育委員会事務局は、教育長の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属する事務を処理します。



市立学校に勤務する職員数（2023年5月1日現在） ※会計年度任用職員を除く

①教職員数（都費職員）

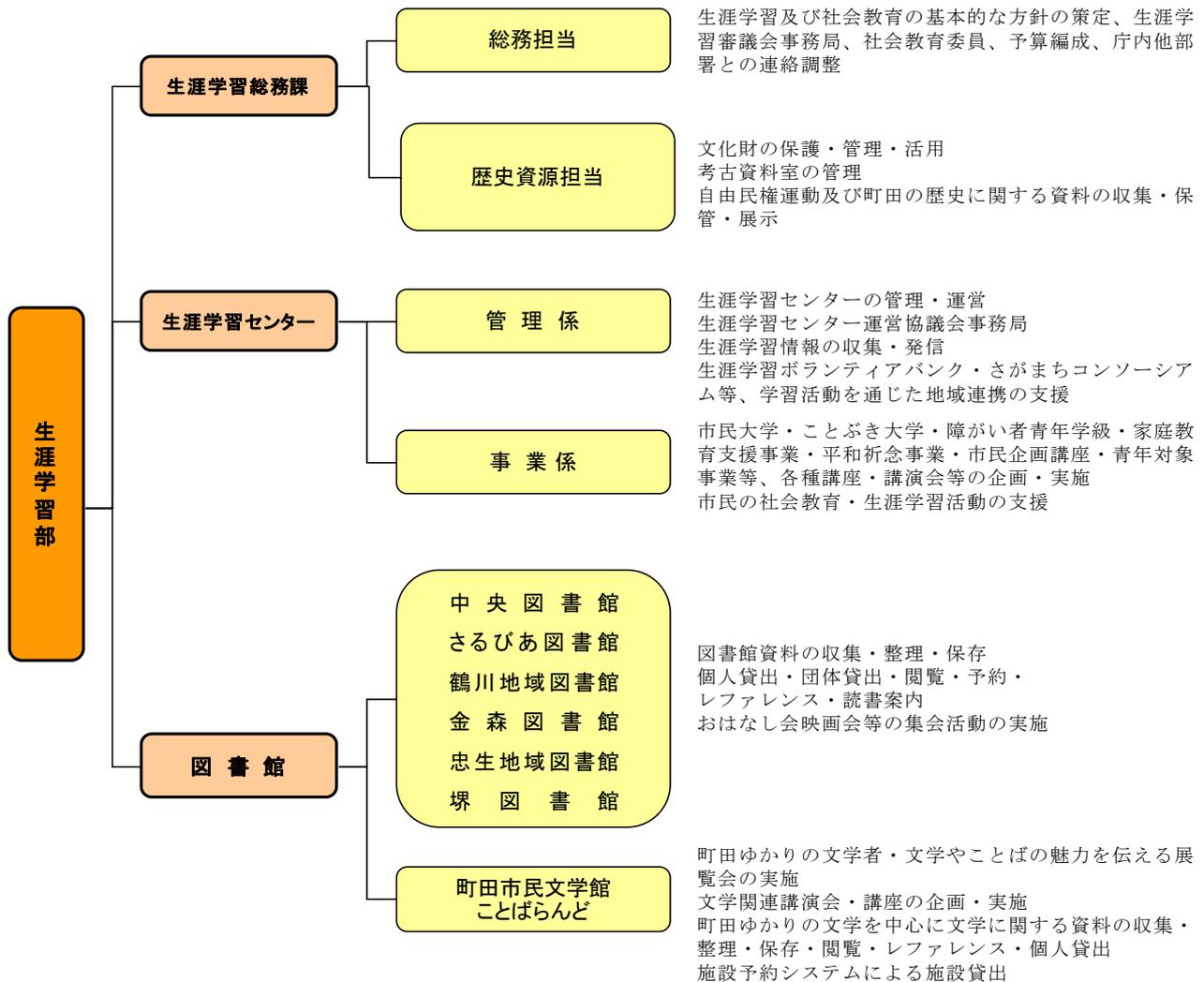
(人)

区分	教員						事務職員	栄養士	合計
	校長	副校長	教諭	栄養教諭	養護教諭	小計			
小学校	41	44	1,039	4	47	1,175	42	18	1,235
中学校	20	20	557	0	20	617	20	0	637
合計	61	64	1,596	4	67	1,792	62	18	1,872

②学校勤務職員数（市費職員）

（人）

区分	学校事務	一般用務	給食調理	栄養士	合計
小学校	12	11	28	18	69
中学校	7	5	0	0	12
合計	19	16	28	18	81





町田市役所10階 教育委員会
森野2-2-22

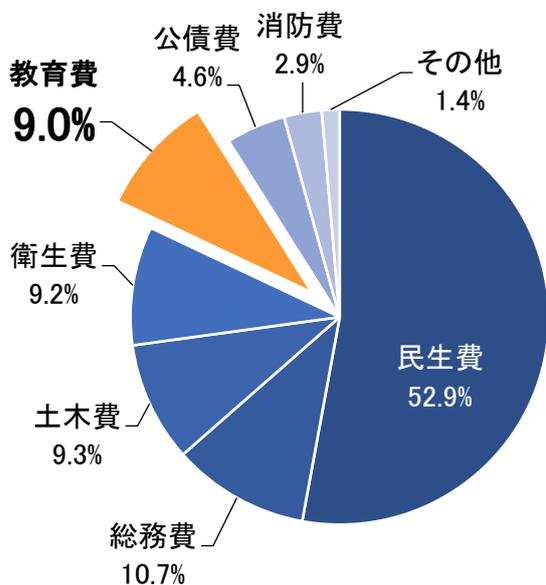


町田市教育センター
木曾東3-1-3

4. 教育予算

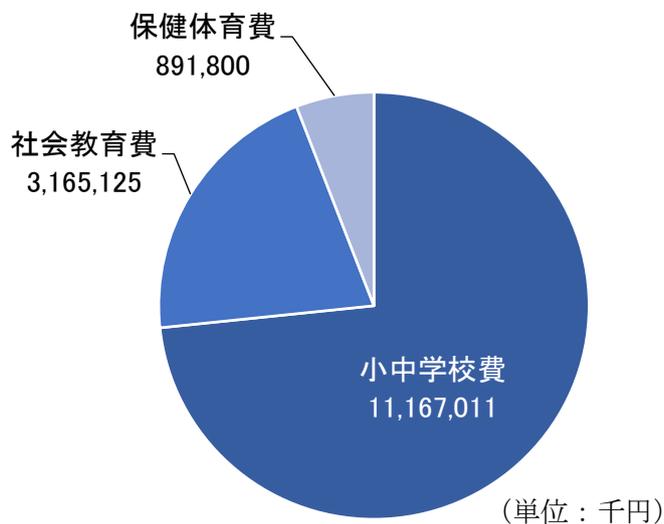
2023年度の一般会計当初予算歳出のうち、教育費は152億2393万6千円で、全体の9.0%の割合となっています。

一般会計当初予算歳出にみる教育費の割合



款	予算額 (千円)	比率
民生費	89,047,736	52.9%
総務費	17,871,095	10.7%
土木費	15,722,196	9.3%
衛生費	15,566,474	9.2%
教育費	15,223,936	9.0%
公債費	7,766,883	4.6%
消防費	4,909,618	2.9%
その他	2,318,543	1.4%
合計	168,426,481	100.0%

教育費当初予算歳出の内訳



款	予算額 (千円)	比率
小中学校費	11,167,011	73.3%
社会教育費	3,165,125	20.8%
保健体育費	891,800	5.9%
合計	15,223,936	100.0%



主な事業と予算(2023年度)

【学校教育】

(単位：千円)

事業	内容	予算額
教育の研究	研究校の研究への助成、小・中学校教育研究会への助成、国・都委託研究事業を実施します。	20,036
学校の管理運営	小学校42校、中学校20校の教材物品の購入費、警備の委託料、光熱水費などです。	1,824,636
学校の維持	小・中学校62校の施設・設備を維持するため、修繕・補修工事等を行います。	201,348
特別支援学級の運営	小学校には、固定制として知的障がい学級を20校、肢体不自由学級を1校、自閉症・情緒障がい学級を6校、通級制として弱視学級を1校、難聴学級を2校、言語障がい学級を2校、サポートルーム拠点校を18校、中学校には、固定制として知的障がい学級を10校、肢体不自由学級を1校、自閉症・情緒障がい学級を1校、サポートルーム拠点校を5校、難聴学級を1校設置しています。	55,536
就学の援助	小・中学校に在籍し、経済的理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、修学旅行費、給食費などを補助します。	366,916
特別支援学級在籍児童・生徒の保護者への補助	小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者に、学用品・通学用品費、給食費などを補助します。(保護者の所得により、補助の内容が変わります。)	53,429
通学費の援助	小・中学校に在籍し、自宅から学校までの距離が小学校1.5km・中学校2km以上で、公共交通機関で通学している児童・生徒の保護者に、定期代の2/3の金額を補助します。(区域外就学者、指定校変更者(特認地区を除く。)及び通学区域緩和制度利用者は対象になりません。)	9,816
集団宿泊事業	小学6年生、中学3年生の宿泊行事に対し、交通費の一部を補助し、看護師を派遣します。	64,660
健康診断	学校保健安全法に基づき、児童・生徒の健康診断を行います。	59,470
小学校給食	自校調理方式により小学校全校で学校給食を実施します。	1,923,317
中学校給食	給食を希望する生徒に、業者が調理し学校に配送する弁当形式の給食(弁当併用外注給食方式)を提供するため、調理・配送等の委託をします。中学校全員給食の導入に向け、施設及び体制の整備を進めます。	173,688
学校ネットワーク	学校ネットワークの保守管理や拡張整備、インターネット通信費、教育用パソコンの整備などを行います。	1,281,830
学校施設の整備	校舎の改修や設備の更新など既存施設の整備を進めるとともに、学校統合や老朽化による建替え工事に向けた準備を行います。	792,112
新たな学校づくり推進事業	未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるとともに、学校を地域の活動拠点として幅広く利用できる場所にします。	31,828

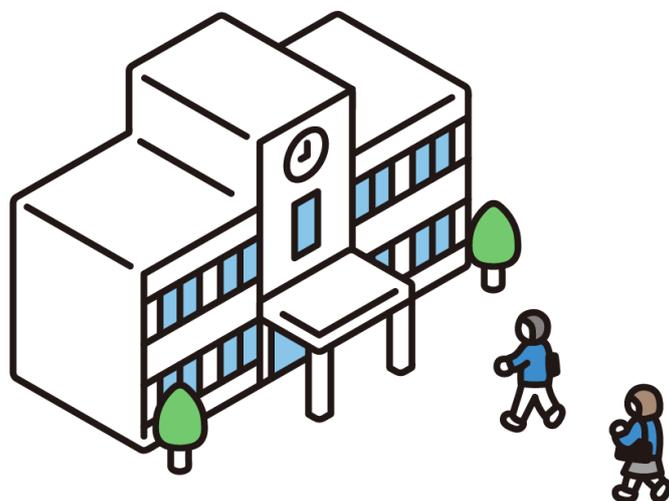
【生涯学習】

(単位：千円)

事業	内容	予算額
自由民権資料館	自由民権資料館の施設管理と、自由民権運動や町田市域の歴史に関する史料の収集・整理・保管・市民への公開を行います。また、企画展や講演会のほか、市民向け講座、図書の刊行を行います。	13,011
文化財の保護	町田市固有の文化財の保護・維持・管理・公開、高ヶ坂石器時代遺跡の整備、「町田デジタルミュージアム」の活用や考古・歴史・民俗資料に関するアウトリーチ事業などを行います。	63,081
生涯学習センターの管理	生涯学習センターの施設管理と、学習室、ホール、音楽室などの施設の貸出しを行います。	97,736
団体活動の援助	市民団体の提案による地域課題解決のための講座を開催するほか、学習活動に関して市民とボランティアの橋渡しなどを行います。	584
学校の教室開放	市民の生涯学習の場として、小学校3校、中学校2校の特別教室を市民団体に開放します。	17,434
公民館事業	あらゆる世代の市民を対象に、年間を通じて幅広いテーマの講座や講演会、イベントなどを開催します。	483
市民大学事業	市民一人一人が創造的で充実した人生を送ることができるように、また、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加してもらえるように、各種の講座事業を実施します。	2,426
家庭教育支援事業	家庭教育を支える担い手となる人材や団体の育成及び現役の子育て世代を対象とした講座等を実施します。	354
障がい者青年学級	主に知的障がい者を対象に、音楽、運動、演劇などのグループ活動を通じた社会参加や学習活動の場を提供します。	6,345
ことぶき大学事業	60歳以上の市民を対象に、音楽、歴史、文学など、幅広い分野の連続講座を実施します。	465
新たな学びの支援事業	新たに生じる社会的課題への対応を学ぶ講座や、デジタル初心者向け体験講座を実施します。	2,326
図書館の管理運営	中央図書館、さるびあ図書館、鶴川駅前図書館、鶴川図書館、金森図書館、忠生図書館、木曾山崎図書館、堺図書館の施設管理と、図書などの貸出・閲覧を行います。また、図書館システムの維持管理を行います。	513,219
文学館の管理	町田市民文学館ことばらんの施設管理及び施設の貸出しを行います。	28,562
文学館の事業	年4回の展覧会や講演会、講座などを開催します。また、町田ゆかりの作家に関わる資料等を収集するとともに資料の貸出・閲覧を行います。	14,482



学校教育



1. 市立小・中学校の概要

2023年5月1日現在、町田市には42校の市立小学校と20校の市立中学校（うち小中一貫校1校）があります。

学校一覧、学級編制、児童・生徒数及び学級数、通学区域並びに通学区域緩和制度については、次のとおりです。

(1) 学校一覧

① 小学校

(2023年5月1日現在)

No	学校名	ホームページ	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名
1	町田第一小学校		中町1-20-30	042-722-3105	明6.5.1	6月11日	佐野 友隆
2	町田第二小学校		原町田4-26-40	042-722-3316	昭27.4.1	6月25日	永井 晋
3	町田第三小学校		本町田1212	042-722-3329	昭27.4.1	6月10日	若月 雅裕
4	町田第四小学校		森野2-21-28	042-722-3727	昭30.4.1	6月15日	山本 正則
5	町田第五小学校		玉川学園4-14-7	042-725-8178	昭38.4.1	6月1日	野村 洋介
6	町田第六小学校		南大谷1260	042-722-3659	昭40.4.1	6月1日	薄井 智美
7	南大谷小学校		南大谷811-1	042-725-2551	昭49.4.1	6月10日	鶴岡 武臣
8	藤の台小学校		藤の台3-1-1	042-726-1005	昭48.4.1	6月1日	長瀬 泰一郎
9	本町田東小学校		本町田3350	042-722-8193	昭45.4.1	6月22日	望月 伸悟
10	本町田小学校		本町田2032	042-721-5561	平14.4.1	6月24日	杉本 勉

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
11	南第一小学校		南町田 1-10-1	042-795-2274	明 6. 6. 10	6月10日	安東 深雪
12	南第二小学校		成瀬 7-11-1	042-727-0805	明 6. 6. 1	6月1日	隅田 克思
13	南第三小学校		金森東 1-2-1	042-722-2663	昭 33. 4. 1	6月2日	工藤 成
14	南第四小学校		金森東 3-21-1	042-796-1326	昭 43. 4. 1	5月21日	貝原 俊明
15	つくし野小学校		つくし野 2-21-11	042-795-3295	昭 47. 4. 1	5月27日	山中 朗
16	小川小学校		小川 3-10-1	042-795-0002	昭 50. 4. 1	6月9日	安部 貴史
17	成瀬台小学校		成瀬台 2-5-2	042-723-3001	昭 50. 4. 1	6月10日	奥 明廣
18	鶴間小学校		鶴間 4-17-1	042-796-1951	昭 52. 4. 1	6月9日	浦木 義尚
19	高ヶ坂小学校		高ヶ坂 6-7-1	042-725-4295	昭 53. 4. 1	6月1日	岩崎 直美
20	成瀬中央小学校		成瀬 2-8	042-728-6020	昭 54. 4. 1	6月10日	坂西 圭子
21	南成瀬小学校		南成瀬 3-6	042-726-1080	昭 55. 4. 1	6月16日	吉成 美紀
22	南つくし野小学校		南つくし野 2-4-8	042-796-1950	昭 55. 4. 1	6月10日	平田 勇治

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
23	鶴川第一小学校		野津田町 1290	042-735-1234	明 41. 4. 1	10月6日	小林 繁
24	鶴川第二小学校		能ヶ谷 7-24-1	042-735-5498	昭 39. 5. 1	5月1日	鈴木 明子
25	鶴川第三小学校		鶴川 6-5	042-735-2127	昭 43. 1. 8	10月2日	鯨坂 映子
26	鶴川第四小学校		鶴川 3-22	042-735-2868	昭 46. 4. 1	6月20日	悴田 隆良
27	金井小学校		金井ヶ丘 1-30-1	042-735-0010	昭 53. 4. 1	6月1日	三瓶 昌信
28	大蔵小学校		大蔵町 286	042-734-2321	昭 55. 4. 1	6月16日	山崎 聡
29	三輪小学校		三輪町 330-1	044-988-5214	昭 57. 4. 1	6月7日	荻間 順子
30	忠生小学校		忠生 3-10-2	042-791-1021	大元. 9. 1	6月13日	三好 浩一
31	小山田小学校		上小山田町 614	042-797-1824	昭 27. 5. 20	5月20日	小澤 新也
32	忠生第三小学校		木曾東 3-11-3	042-791-0721	昭 37. 4. 1	6月12日	高綱 美穂
33	山崎小学校		忠生 2-15-26	042-793-2004	昭 55. 4. 1	6月10日	小澤 智幸
34	小山田南小学校		小山田桜台 2-7	042-797-4541	昭 59. 4. 1	5月30日	清水 淳

No	学校名	ホームページ	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名
35	木曾境川小学校		木曾西 1-9-1	042-791-2086	平 13. 4. 1	11月1日	新沼 聡
36	七国山小学校		山崎町 1314-2	042-791-2171	平 15. 4. 1	6月23日	山本 美紀
37	函師小学校		函師町 239-19	042-789-6361	平 21. 4. 1	1月30日	米山 哲也
38	小山小学校		小山町 944	042-797-2733	明 6. 5. 1	5月1日	土田 昇
39	小山ヶ丘小学校		小山ヶ丘 5-37	042-770-6251	平 17. 4. 1	11月12日	大川 優
40	小山中央小学校		小山ヶ丘 3-7-1	042-798-0670	平 22. 4. 1	1月29日	野末 直美
41	相原小学校		相原町 1673	042-771-2341	明 7. 7. 20	6月20日	百田 明弘
42	大戸小学校 (小中一貫ゆくのき学園)		相原町 3765-3	042-782-9091	昭 58. 4. 1	6月6日	鈴木 元

② 中学校

(2023年5月1日現在)

No	学校名	ホームページ	所在地	電話	開校年月日	開校記念日	校長名
1	町田第一中学校		中町 1-27-5	042-722-2420	昭 22. 4. 1	5月26日	風間 茂
2	町田第二中学校		南大谷 1327	042-722-1101	昭 32. 4. 1	5月6日	高橋 健志

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
3	町田第三中学校		本町田 1853	042-722-6095	昭 43. 4. 1	5 月 27 日	大石 眞二
4	南大谷中学校		南大谷 985-1	042-723-5567	昭 50. 4. 1	5 月 27 日	小島 千恵
5	南中学校		金森 3-27-1	042-796-2248	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	薄井 忍
6	つくし野中学校		南つくし野 2-14-2	042-795-0323	昭 50. 9. 1	9 月 30 日	柳田 拓史
7	成瀬台中学校		成瀬台 2-5-1	042-728-6030	昭 54. 4. 1	5 月 26 日	福田 秀樹
8	南成瀬中学校		南成瀬 7-7-1	042-729-3441	昭 57. 4. 1	6 月 1 日	杉浦 元一
9	鶴川中学校		小野路町 1905-1	042-735-2405	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	鈴木 英顕
10	鶴川第二中学校		鶴川 6-4	042-734-4343	昭 48. 4. 1	6 月 1 日	花田 英樹
11	薬師中学校		金井 1-20-1	042-725-5002	昭 46. 4. 1	6 月 1 日	矢島 志津香
12	真光寺中学校		真光寺 3-8-1	042-734-4605	昭 55. 4. 1	5 月 1 日	矢島 加都美
13	金井中学校		金井 6-15-1	042-734-0259	昭 59. 4. 1	6 月 1 日	仙北屋 正樹
14	忠生中学校		忠生 3-14-1	042-791-0821	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	高橋 博幸

No	学 校 名	ホーム ページ	所 在 地	電 話	開 校 年月日	開 校 記念日	校 長 名
15	山崎中学校		山崎町 1445	042-793-1021	昭 54. 4. 1	6 月 2 日	栗原 健次
16	木曾中学校		木曾西 2-4-9	042-792-3081	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	梶野 明信
17	小山田中学校		小山田桜台 1-12	042-797-4545	昭 59. 4. 1	6 月 25 日	岩田 哲生
18	小山中学校		小山ヶ丘 1-2-4	042-798-1251	平 24. 4. 1	1 月 11 日	土屋 敏彦
19	堺中学校		相原町 752	042-771-2348	昭 22. 4. 1	5 月 1 日	工藤 憲治
20	武蔵岡中学校 (小中一貫ゆくのき学園)		相原町 3865	042-782-9155	昭 58. 4. 1	6 月 6 日	鈴木 元

(2) 学級編制

小・中学校の学級編制については、毎年度、4月1日を基準日として、教育委員会が定める「学級編制基準」に基づき、行います。

町田市では、1985年度まで小・中学校全校において全学年を「45人学級」で編制していましたが、小学校においては1986年度から、中学校においては1989年度から、それぞれ第1学年を「40人学級」とし、1991年度からは、小・中学校の全学年を「40人学級」で編制することとしました。

以後、この「40人学級」での編制が続きましたが、2011年4月の「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の改正に伴い、東京都教育委員会の「学級編制基準」が改正され、2011年度から、小学校第1学年においては「35人学級」編制としました。

また、2012年度から小学校第2学年、2013年度から中学校第1学年においても「35人学級」編制としました。

さらに2022年度以降は小学校第3学年が、2023年度以降は小学校第4学年が「35人学級」編成に移行しました。今後も段階的に移行を進めていきます。

(3) 児童・生徒数及び学級数

市制が施行された1958年は、人口60,957人、小学校12校で児童数8,766人、中学校6校で生徒数3,460人でした。その後、高度経済成長期を迎え、都心から郊外へと人口移動がみられる中で、町田市は都心から比較的近距离であり、交通の利便性のあるベッドタウンとして注目され発展しました。とりわけ1960年代後半から1980年代前半にかけては、大規模集合住宅が相次いで建設され、急激な人口増加を生み、児童・生徒数は年々増え続け、児童数は1980年に36,928人(41校)、生徒数は1985年に17,689人(20校)と、それぞれピークに達しました(児童・生徒総数のピークは1982年の51,769人)。

その後、出生率の低下等により、児童・生徒数は減少傾向となりましたが、マンション建設や宅地開発等により、児童数は2001年度、生徒数は2006年度から再び増加傾向となりました。さらに、区画整理事業による市内周縁部の開発等により、地域によっては急激に児童・生徒数が増加してきました。

しかし、児童数は2011年度以降再び減少傾向に転じ、生徒数も、2017年度から減少傾向にあります。

2023年度の学級数及び児童・生徒数は、5月1日現在、小学校においては、通常の学級の学級666学級、児童数19,957人、特別支援学級76学級、児童数527人となっており、中学校においては、通常の学級285学級、生徒数9,883人、特別支援学級36学級、生徒数245人となっています。



2023年5月1日 児童・生徒数/学級数（通常の学級）

2023年5月1日	児童・生徒数/学級数	児 童 ・ 生 徒 数							学 級 数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童・生徒数/学級数（通常の学級）	1 町田第一小学校	126	106	107	114	100	137	690	4	4	4	4	3	4	23
	2 町田第二小学校	67	65	70	53	68	55	378	2	2	2	2	2	2	12
	3 町田第三小学校	75	73	82	61	77	67	435	3	3	3	2	2	2	15
	4 町田第四小学校	96	78	87	103	77	96	537	3	3	3	3	2	3	17
	5 町田第五小学校	63	104	84	104	93	86	534	2	3	3	3	3	3	17
	6 町田第六小学校	65	55	63	37	46	43	309	2	2	2	2	2	2	12
	7 南大谷小学校	104	115	88	91	92	97	587	3	4	3	3	3	3	19
	8 藤の台小学校	52	75	54	74	74	57	386	2	3	2	3	2	2	14
	9 本町田東小学校	32	28	39	32	44	30	205	1	1	2	1	2	1	8
	10 本町田小学校	60	65	61	56	76	51	369	2	2	2	2	2	2	12
	11 南第一小学校	104	128	106	111	117	105	671	3	4	4	4	3	3	21
	12 南第二小学校	59	50	51	56	53	56	325	2	2	2	2	2	2	12
	13 南第三小学校	56	57	66	63	79	67	388	2	2	2	2	2	2	12
	14 南第四小学校	98	89	95	77	103	74	536	3	3	3	3	3	2	17
	15 つくし野小学校	58	42	70	67	63	55	355	2	2	2	2	2	2	12
	16 小川小学校	60	70	72	72	67	77	418	2	2	3	3	2	2	14
	17 成瀬台小学校	90	99	102	106	106	118	621	3	3	3	3	3	3	18
	18 鶴間小学校	100	100	109	95	89	107	600	3	3	4	3	3	3	19
	19 高ヶ坂小学校	49	52	48	58	58	53	318	2	2	2	2	2	2	12
	20 成瀬中央小学校	59	71	59	57	59	52	357	2	3	2	2	2	2	13
	21 南成瀬小学校	51	60	54	47	64	69	345	2	2	2	2	2	2	12
	22 南つくし野小学校	129	142	146	127	136	98	778	4	5	5	4	4	3	25
	23 鶴川第一小学校	96	130	107	111	123	123	690	3	4	4	4	4	4	23
	24 鶴川第二小学校	77	76	75	83	83	76	470	3	3	3	3	3	2	17
	25 鶴川第三小学校	47	59	75	77	62	61	381	2	2	3	3	2	2	14
	26 鶴川第四小学校	60	71	80	65	79	91	446	2	3	3	2	2	3	15
	27 金井小学校	77	91	84	83	99	96	530	3	3	3	3	3	3	18
	28 大蔵小学校	97	104	97	114	101	135	648	3	3	3	4	3	4	20
	29 三輪小学校	71	81	67	74	94	85	472	2	3	2	3	3	3	16
	30 忠生小学校	68	67	83	57	58	59	392	2	2	3	2	2	2	13
	31 小山田小学校	25	37	28	36	44	44	214	1	2	1	2	2	2	10
	32 忠生第三小学校	90	100	105	98	89	109	591	3	3	3	3	3	3	18
	33 山崎小学校	56	43	65	66	53	56	339	2	2	2	2	2	2	12
	34 小山田南小学校	81	91	77	88	87	89	513	3	3	3	3	3	3	18
	35 木曾境川小学校	84	56	63	80	70	78	431	3	2	2	3	2	2	14
	36 七国山小学校	77	73	70	78	85	103	486	3	3	2	3	3	3	17
	37 図師小学校	69	86	83	84	100	79	501	2	3	3	3	3	2	16
	38 小山小学校	98	115	107	132	110	130	692	3	4	4	4	3	4	22
	39 小山ヶ丘小学校	124	159	123	129	144	161	840	4	5	4	4	4	5	26
	40 小山中央小学校	108	131	107	116	121	119	702	4	4	4	4	4	3	23
	41 相原小学校	47	55	64	59	66	62	353	2	2	2	2	2	2	12
	42 小中一貫ゆくのき学園(大戸小学校)	16	17	28	23	19	21	124	1	1	1	1	1	1	6
計	3,121	3,366	3,301	3,314	3,428	3,427	19,957	105	117	115	115	107	107	666	
1 町田第一中学校	242	251	235				728	7	7	6				20	
2 町田第二中学校	142	146	163				451	5	4	5				14	
3 町田第三中学校	136	145	125				406	4	4	4				12	
4 南大谷中学校	165	161	164				490	5	5	5				15	
5 南中学校	228	247	225				700	7	7	6				20	
6 つくし野中学校	274	238	237				749	8	6	6				20	
7 成瀬台中学校	145	157	144				446	5	4	4				13	
8 南成瀬中学校	164	148	164				476	5	4	4				13	
9 鶴川中学校	211	161	206				578	6	5	6				17	
10 鶴川第二中学校	209	246	268				723	6	7	7				20	
11 薬師中学校	97	109	99				305	3	3	3				9	
12 真光寺中学校	82	78	86				246	3	2	3				8	
13 金井中学校	165	135	144				444	5	4	4				13	
14 忠生中学校	221	245	218				684	6	7	6				19	
15 山崎中学校	101	101	106				308	3	3	3				9	
16 木曾中学校	97	105	107				309	3	3	3				9	
17 小山田中学校	124	166	149				439	4	5	4				13	
18 小山中学校	249	279	243				771	8	7	7				22	
19 堺中学校	210	183	174				567	6	5	5				16	
20 小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡中学校)	11	29	23				63	1	1	1				3	
計	3,273	3,330	3,280				9,883	100	93	92				285	

2023年5月1日 児童・生徒数/学級数（特別支援学級）

		種別	児童・生徒数							学級数	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
2023年5月1日現在 児童・生徒数/学級数 (特別支援学級)	1	町田第一小学校	知的	1	2	7	2	2	3	17	3
		情緒	4	3	5	4	2	3	21	3	
	2	町田第二小学校	知的	3	2	3	5	5	5	23	3
	5	町田第五小学校	知的	1	1	1	1	0	1	5	1
	6	町田第六小学校	肢体	2	1	3	2	1	3	12	2
	7	南大谷小学校	知的	2	2	5	5	5	8	26	4
	8	藤の台小学校	知的	1	3	3	3	4	7	21	3
	10	本町田小学校	知的	4	4	5	6	5	5	29	4
			情緒	6	4	8	8	5	6	37	5
	12	南第二小学校	知的	4	4	5	3	4	4	24	3
	14	南第四小学校	知的	1	7	2	2	5	6	23	3
			情緒	2	4	3	3	4	1	17	3
	22	南つくし野小学校	知的	2	1	4	3	2	4	16	2
	24	鶴川第二小学校	知的	3	0	1	3	5	0	12	2
	26	鶴川第四小学校	知的	2	3	3	3	6	3	20	3
			情緒	1	2	4	6	5	4	22	3
	27	金井小学校	知的	6	1	2	4	5	5	23	3
	30	忠生小学校	知的	1	2	2	3	4	4	16	2
			情緒	1	0	0	2	0	8	11	2
	34	小山田南小学校	知的	3	2	3	5	7	4	24	3
	35	木曾境川小学校	知的	3	2	2	3	2	3	15	2
	36	七国山小学校	知的	2	4	2	4	5	6	23	3
	38	小山小学校	知的	2	3	5	5	7	3	25	4
	39	小山ヶ丘小学校	知的	2	4	2	1	5	4	18	3
	40	小山中央小学校	知的	1	3	2	2	2	4	14	2
			情緒	1	3	3	4	0	1	12	2
	41	相原小学校	知的	2	2	3	2	7	4	20	3
	計			63	69	88	94	104	109	527	76
	1	町田第一中学校	知的	6	11	8				25	4
			肢体	1	2	0				3	1
3	町田第三中学校	情緒	7	8	0				15	2	
4	南大谷中学校	知的	6	3	8				17	2	
5	南中学校	知的	7	7	4				18	3	
6	つくし野中学校	知的	8	5	7				20	3	
7	成瀬台中学校	知的	5	4	2				11	2	
9	鶴川中学校	知的	3	8	8				19	3	
11	薬師中学校	知的	8	8	7				23	3	
14	忠生中学校	知的	14	23	10				47	6	
15	山崎中学校	知的	6	5	8				19	3	
19	堺中学校	知的	9	11	8				28	4	
計			80	95	70				245	36	

2023年5月1日 児童数/学級数（通級指導学級等）

	種別	児 童 数							学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
町田第一小学校	特別支援教室	8	18	6	7	2	6	47	
町田第二小学校	特別支援教室	7	3	7	3	5	2	27	
町田第三小学校	特別支援教室	5	8	4	4	5	2	28	
町田第四小学校	特別支援教室	3	5	9	18	7	5	47	
町田第五小学校	特別支援教室		4	1	8	3	1	17	
町田第六小学校	特別支援教室	5	5	3	4		2	19	
南大谷小学校	特別支援教室	8	9	11	6	3	5	42	
藤の台小学校	特別支援教室	1	4	5	7	4	2	23	
本町田東小学校	特別支援教室	1	4	4	2	6		17	
	弱 視			1	1	3	3	8	1
	難 聴	1		1		3	2	7	1
	言 語	16	12	7	2			37	2
本町田小学校	特別支援教室	5	5	5	4	9		28	
南第一小学校	特別支援教室	4	6	10	2	3	4	29	
南第二小学校	特別支援教室	4	4	8	1	3	2	22	
南第三小学校	特別支援教室	6	10	7	6	8	5	42	
南第四小学校	特別支援教室	12	5	5	6	4	8	40	
つくし野小学校	特別支援教室	3	1	5	6	2	1	18	
小川小学校	特別支援教室	3	10	8	9		3	33	
成瀬台小学校	特別支援教室	4	6	8	6	1	5	30	
鶴間小学校	特別支援教室	7	7	2	3			19	
高ヶ坂小学校	特別支援教室	3	10	2	2	9	2	28	
成瀬中央小学校	特別支援教室	6	3	6	2	7	5	29	
	言 語	9	7	9	2	4	1	32	2
南成瀬小学校	特別支援教室	3	5	14	4	11	9	46	
南つくし野小学校	特別支援教室	4	16	10	9	7	2	48	
鶴川第一小学校	特別支援教室	2	2	6	9	5	1	25	
鶴川第二小学校	特別支援教室	2	2	2	4	2	1	13	
鶴川第三小学校	特別支援教室		4	8	1	3	5	21	
鶴川第四小学校	特別支援教室	6	3	8	4	3	2	26	
金井小学校	特別支援教室	3	4	4	3	4	1	19	
大蔵小学校	特別支援教室	6	7	5	11	9	5	43	
三輪小学校	特別支援教室	1	2	2	7	6	4	22	
忠生小学校	特別支援教室	5	3	6	4	2	1	21	
小山田小学校	特別支援教室		3	2		1	3	9	
忠生第三小学校	特別支援教室	8	12	9	16	6	17	68	
山崎小学校	特別支援教室	4	5	17	11	4	5	46	
	難 聴		1		1	2	1	5	1
小山田南小学校	特別支援教室	1	7	7	4	5		24	
木曾境川小学校	特別支援教室	4	6	9	11	3	1	34	
七国山小学校	特別支援教室	7	7	13	4	2	8	41	
函師小学校	特別支援教室	5	6	11	7	6	4	39	
小山小学校	特別支援教室	5	4	11	11	8	5	44	
小山ヶ丘小学校	特別支援教室	6	5	8	5	1	1	26	
小山中央小学校	特別支援教室	5	10	9	8	12	6	50	
相原小学校	特別支援教室	5	5	4		2		16	
大戸小学校	特別支援教室	3	2	7		1		13	
	計	206	267	306	245	196	148	1,368	

2023年5月1日現在 児童数/学級数
(通級指導学級等)

2023年5月1日 生徒数/学級数（通級指導学級等）

	種別	生徒数							学級数	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
2023年5月1日現在 （通級指導学級等） 生徒数/学級数	町田第一中学校	特別支援教室	8	5	7				20	1
		難聴	2	3	3				8	
		特別支援教室	3	5	11				19	
	町田第二中学校	特別支援教室	11	7	8				26	
	南大谷中学校	特別支援教室	4	9	1				14	
	南中学校	特別支援教室	9	19	9				37	
	つくし野中学校	特別支援教室	7	8	2				17	
	成瀬台中学校	特別支援教室	4	10	3				17	
	南成瀬中学校	特別支援教室	8	6	3				17	
	鶴川中学校	特別支援教室	9	5	3				17	
	鶴川第二中学校	特別支援教室	5	10	2				17	
	薬師中学校	特別支援教室	3	6	6				15	
	真光寺中学校	特別支援教室	1	10	4				15	
	金井中学校	特別支援教室	2	4	1				7	
	忠生中学校	特別支援教室	9	4	11				24	
	山崎中学校	特別支援教室	4	6	4				14	
	木曾中学校	特別支援教室	4	10	6				20	
	小山田中学校	特別支援教室	2	5	6				13	
	小山中学校	特別支援教室	10	13	14				37	
	堺中学校	特別支援教室	1	5	8				14	
武蔵岡中学校	特別支援教室	0	4	3				7		
	計	106	154	115				375		

※1・・・種別欄の「特別支援教室」は、情緒障がい等のある児童・生徒を対象とし、各学校に指導を行うための教室を設置し、教員が児童・生徒の在籍校を巡回して指導を行うものです。町田市では、2021年度に全ての小・中学校に設置が完了しました。なお、特別支援教室については、学級数としてのカウントを行わないため、学級数に斜線を引いています。

※2・・・通級指導学級等の在籍児童・生徒は、平常は通常の学級で勉強し、特定の時間だけ、通級指導学級等で指導を受けているため、学級編制上は通常の学級の人数としてカウントされます。

児童・生徒数・学級数の推移（通常の学級）

（各年5月1日現在）

年度	小 学 校			中 学 校			合 計		
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	学級数	児童・生徒数
1989	44	721	24,855	20	370	14,763	64	1,091	39,618
1990	44	719	24,162	20	355	13,520	64	1,074	37,682
1991	44	711	23,376	20	350	12,912	64	1,061	36,288
1992	44	698	22,699	20	333	12,221	64	1,031	34,920
1993	44	681	22,171	20	313	11,512	64	994	33,683
1994	44	672	21,605	20	303	11,047	64	975	32,652
1995	44	655	20,968	20	291	10,554	64	946	31,522
1996	44	638	20,104	20	291	10,420	64	929	30,524
1997	44	613	19,444	20	281	10,110	64	894	29,554
1998	44	613	19,062	20	275	9,892	64	888	28,954
1999	44	604	18,747	20	262	9,471	64	866	28,218
2000	44	600	18,675	20	257	9,182	64	857	27,857
2001	43	603	18,831	20	252	8,893	63	855	27,724
2002	41	616	19,411	20	247	8,725	61	863	28,136
2003	39	628	20,013	20	241	8,453	59	869	28,466
2004	39	639	20,582	20	240	8,287	59	879	28,869
2005	40	656	21,418	20	236	8,215	60	892	29,633
2006	40	669	21,973	20	242	8,393	60	911	30,366
2007	40	686	22,572	20	244	8,660	60	930	31,232
2008	40	696	23,111	20	255	9,091	60	951	32,202
2009	41	710	23,398	20	259	9,235	61	969	32,633
2010	42	715	23,687	20	265	9,444	62	980	33,131
2011	42	720	23,554	19	272	9,732	61	992	33,286
2012	42	735	23,407	20	281	10,076	62	1,016	33,483
2013	42	726	23,259	20	291	10,398	62	1,017	33,656
2014	42	724	23,020	20	294	10,576	62	1,018	33,596
2015	42	712	22,740	20	301	10,696	62	1,013	33,436
2016	42	714	22,476	20	301	10,700	62	1,015	33,176
2017	42	708	22,347	20	293	10,395	62	1,001	32,742
2018	42	695	21,957	20	290	10,263	62	985	32,220
2019	42	684	21,538	20	286	10,078	62	970	31,616
2020	42	674	21,064	20	289	10,103	62	963	31,167
2021	42	661	20,727	20	289	10,036	62	950	30,763
2022	42	671	20,451	20	285	9,999	62	956	30,450
2023	42	666	19,957	20	285	9,883	62	951	29,840

児童・生徒数・学級数の推移（特別支援学級）

（各年5月1日現在）

年度	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学級数	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童・生徒数
1989	29	116	14	87	43	203
1990	30	113	13	67	43	180
1991	30	120	13	63	43	183
1992	30	123	14	61	44	184
1993	31	130	12	62	43	192
1994	35	123	12	62	47	185
1995	36	119	16	66	52	185
1996	36	139	16	68	52	207
1997	38	145	15	64	53	209
1998	36	152	15	67	51	219
1999	37	146	17	77	54	223
2000	38	160	21	86	59	246
2001	39	160	20	93	59	253
2002	31	167	15	85	46	252
2003	36	199	15	81	51	280
2004	37	222	16	98	53	320
2005	41	246	17	104	58	350
2006	44	268	22	125	66	393
2007	51	299	20	120	71	419
2008	48	302	23	148	71	450
2009	48	312	27	179	75	491
2010	51	320	30	209	81	529
2011	51	314	34	221	85	535
2012	51	318	31	205	82	523
2013	52	331	30	197	82	528
2014	53	332	29	184	82	516
2015	55	347	30	192	85	539
2016	65	402	29	202	94	604
2017	67	434	32	213	99	647
2018	64	451	31	212	95	663
2019	70	489	32	219	102	708
2020	73	509	35	237	108	746
2021	77	517	35	232	112	749
2022	75	508	37	253	112	761
2023	76	527	36	245	112	772

(4) 通学区域

小・中学校では、住所により通学する学校（指定校）が定められています。これは、市内に小学校または中学校が2校以上あるときには、就学すべき学校を指定しなければならないとする学校教育法施行令第5条第2項の規定を根拠としています。この指定された学校に通学すべき地域を通学区域といいます。

(5) 通学区域緩和制度

通学区域緩和制度（2013年度から名称変更）は、入学に際し、保護者やお子さんが通学区域により指定された学校（指定校）以外の小・中学校への入学を希望できる制度です。希望できる対象学年は、翌年度に入学する新小学1年生、新中学1年生で、2年生以上の児童・生徒は対象になりません。

町田市では2004年4月入学者から、通学区域緩和制度の前身である学校選択制度を実施していましたが、2011年7月に「町田市立学校選択制度等検討委員会」を発足し、制度の在り方について再検討を行いました。

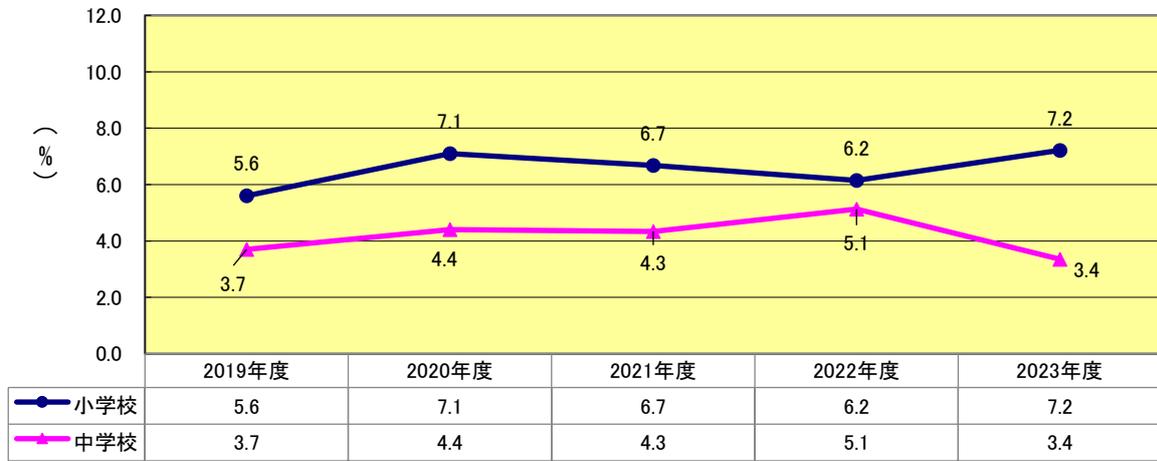
その結果、児童の通学上の安全を確保するために、小学校については、入学希望校を居住地に関わらず自由に選択できる自由選択制から、指定校の隣接校もしくは通学距離が片道1.5km未満の学校とする隣接区域選択制への変更等を行い、名称を現在の「通学区域緩和制度」に改め、2013年度入学者から運用を開始しています。

2004年度の制度発足以来、多くの児童・生徒がこの制度により希望の小・中学校に入学しています。

入学児童・生徒数と通学区域緩和制度（旧学校選択制度）利用者数（人）（各年度入学時点）

区分		年度				
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
新小学 1年生	入学児童数	3,368	3,263	3,263	3,349	3,105
	うち制度利用者数	187	233	218	206	224
新中学 1年生	入学生徒数	3,354	3,367	3,255	3,314	3,250
	うち制度利用者数	124	147	141	170	109

通学区域緩和制度利用率の推移



2. 教育環境

子どもたちの学校生活や学習活動をより充実させるため、学校施設や学校図書館などの教育環境の整備を進めています。

(1) 学校施設

① 学校施設一覧

(2023年5月1日現在)

小学校	体育館		25mプール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一小学校	平 14. 9	1,259	平 14. 9	10	11,698	4,958	645	5,603	28	14
町田第二小学校	昭 48. 3	668	昭 44. 7	11	10,312	4,330	74	4,404	15	13
町田第三小学校	昭 49. 11	684	昭 46. 7	12	13,892	4,823	406	5,229	15	15
町田第四小学校	昭 49. 6	691	昭 44. 7	13	15,677	5,490	85	5,575	17	21
町田第五小学校	昭 48. 3	681	昭 44. 7	9	12,426	5,314	46	5,360	21	15
町田第六小学校	昭 47. 3	701	昭 44. 7	10	15,702	5,559	151	5,710	15	16
南大谷小学校	昭 51. 9	706	昭 49. 7	10	14,099	5,258	192	5,450	22	12
藤の台小学校	昭 49. 11	726	昭 48. 7	10	13,322	5,835	92	5,927	19	17
本町田東小学校	昭 49. 5	736	昭 46. 7	10	16,771	5,706	17	5,723	8	23
※ ¹ 本町田小学校	(昭 53. 6)	659	(昭 52. 6)	10	17,509	5,746	172	5,918	21	15
南第一小学校	昭 46. 2	675	昭 57. 3	10	13,650	5,687	55	5,742	21	12
南第二小学校	昭 53. 7	743	昭 54. 3	10	16,500	5,956	62	6,018	15	14
南第三小学校	昭 49. 9	723	昭 52. 6	10	11,531	4,964	79	5,043	12	20
南第四小学校	昭 48. 10	678	昭 44. 7	10	15,825	5,323	331	5,654	21	16
つくし野小学校	昭 48. 3	668	昭 46. 7	10	15,197	4,156	106	4,262	12	11
小川小学校	昭 52. 8	703	昭 50. 7	10	16,076	5,776	51	5,827	14	21
成瀬台小学校	昭 52. 7	703	昭 50. 6	10	16,513	6,483	85	6,568	18	21
鶴間小学校	昭 53. 7	710	昭 52. 6	10	19,916	5,115	361	5,476	21	11
高ヶ坂小学校	昭 54. 5	683	昭 53. 6	10	18,639	3,656	948	4,604	12	11
成瀬中央小学校	昭 55. 3	682	昭 54. 6	10	16,509	4,720	169	4,889	13	9
南成瀬小学校	昭 55. 5	780	昭 55. 6	10	16,228	6,139	13	6,152	12	23
南つくし野小学校	昭 55. 3	694	昭 55. 5	10	14,653	6,166	13	6,179	29	10
鶴川第一小学校	平 31. 3	1198	昭 44. 8	10	19,362	7,450	0	7,450	25	18
鶴川第二小学校	昭 48. 2	668	昭 41. 6	10	21,571	5,442	1,110	6,552	20	17
鶴川第三小学校	昭 49. 11	724	昭 44. 8	10	19,828	6,846	27	6,873	15	33
鶴川第四小学校	昭 49. 12	724	昭 46. 7	10	19,829	6,634	91	6,725	23	19
金井小学校	昭 53. 5	708	昭 53. 7	10	16,072	5,361	71	5,432	20	11
大蔵小学校	昭 55. 3	695	昭 55. 7	10	19,223	5,394	1,119	6,513	20	18
三輪小学校	昭 57. 7	725	昭 57. 7	10	13,812	4,364	662	5,026	16	14

小学校	体育館		25mプール		校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
※ ² 忠生小学校	昭 47. 3	668	昭 45. 9	10	14,228	5,234	1,391	6,625	21	20
小山田小学校	昭 55.11	888	昭 55.10	10	18,617	4,157	782	4,939	10	13
忠生第三小学校	昭 51. 6	689	昭 44. 7	10	13,138	5,586	82	5,668	18	20
山崎小学校	昭 55. 3	732	昭 55. 6	10	16,299	5,236	141	5,377	12	14
小山田南小学校	昭 59. 3	710	昭 59. 5	10	17,833	6,321	670	6,991	21	18
※ ¹ 木曾境川小学校	(昭 53. 5)	681	(昭 52. 6)	10	16,735	5,501	225	5,726	17	14
※ ¹ 七国山小学校	(昭 51. 3)	653	(昭 51. 6)	10	22,772	4,914	1,294	6,208	24	13
函師小学校	平 21. 3	1,161	平 21. 3	11.4	20,542	7,043	0	7,043	19	21
小山小学校	昭 51. 9	714	昭 53. 6	10	20,716	6,433	301	6,734	26	17
小山ヶ丘小学校	平 17. 3	1,045	平 17. 3	10	15,743	8,402	0	8,402	28	18
小山中央小学校	平 22. 2	1,101	平 22. 2	11.2	29,125	8,236	756	8,992	28	21
相原小学校	昭 48. 3	668	昭 61. 5	10	13,246	5,965	33	5,998	14	20
※ ³ 大戸小学校	昭 58. 4	753	昭 58. 5	10	26,738	5,436	0	5,436	9	19

※¹ 学校適正規模適正配置事業による統合校です。()内は、統今年月ではなく、旧施設が完成した年月です。

※² 忠生第一小学校は、2011年9月1日から、校名を忠生小学校に変更しました。

※³ 大戸小学校は小中一貫校(大戸小学校と武蔵岡中学校をあわせて「ゆくのき学園」)として整備したため、大戸小学校の教室数には中学校で使用している教室も含まれます。

(2023年5月1日現在)

中学校	体育館		25mプール		校地 面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨外	合計	普通	特別
町田第一中学校	平 4. 8	1,366	平 4. 8	11	15,112	11,830	106	11,936	27	30
町田第二中学校	昭 57. 3	976	昭 43. 8	11	17,684	6,562	208	6,770	14	26
町田第三中学校	昭 47. 3	702	昭 44.12	11	14,196	5,470	78	5,548	14	22
南大谷中学校	昭 51. 7	944	昭 50. 6	11	19,026	6,263	92	6,355	14	20
南中学校	平 11. 2	1,924	平 11. 2	11	24,928	7,099	94	7,193	23	23
つくし野中学校	昭 51. 6	983	昭 51. 7	11	16,527	7,676	141	7,817	25	23
成瀬台中学校	昭 54. 5	992	昭 54. 6	11	16,502	8,231	143	8,374	15	28
南成瀬中学校	昭 57. 3	1,084	昭 57. 3	11	19,962	6,667	0	6,667	13	26
鶴川中学校	平 14. 1	1,293	平 14. 1	11	19,656	10,821	82	10,903	19	26
鶴川第二中学校	昭 48.10	772	昭 48. 8	11	16,520	7,490	146	7,636	20	20
薬師中学校	昭 47. 3	710	昭 46. 7	11	20,048	6,539	83	6,622	13	21
真光寺中学校	昭 55. 5	947	昭 55. 6	11	17,940	6,179	148	6,327	8	19
金井中学校	昭 59. 5	1,048	昭 59. 5	11	20,323	5,385	213	5,598	13	17

中学校	体育館		25m プール		校地 面積 (㎡)	校舎面積(㎡)			教室数	
	建築年月	面積 (㎡)	建築年月	幅 (m)		鉄筋	鉄骨 外	合計	普通	特別
忠生中学校	平 5. 8	2,206	平 5. 8	11	22,021	7,966	86	8,052	26	22
山崎中学校	昭 54. 5	1,005	昭 54. 6	11	22,042	6,813	160	6,973	14	20
木曾中学校	昭 58. 3	1,031	昭 58. 5	11	21,613	6,455	0	6,455	10	20
小山田中学校	昭 59. 3	1,085	昭 59. 3	11	21,274	5,312	949	6,261	13	21
小山中学校	平 24. 2	1,231	平 24. 2	13	26,148	9,361	0	9,361	22	25
堺中学校	平 20. 2	1,234	平 20. 2	11	14,907	7,600	66	7,666	20	19
武蔵岡中学校	昭 58. 5	904	昭 58. 5	11	29,574	3842	0	3,842	0	11

② 学校施設の整備

小・中学校の耐震補強工事が 2010 年度に完了し、学校施設の耐震化率は 100%になりました。2011 年度以降は、学習環境の改善を目的として、トイレ改修や航空機騒音軽減のための施設の防音化、普通教室や特別教室への空調機設置を進めるとともに、防災機能の強化を目的として、体育館等の高所に設置された設備等の落下防止を進めてきました。2019 年度からは、児童・生徒の熱中症対策と教育環境の改善及び避難施設の環境整備を図るため、体育館に空調設備を設置するとともに、避難施設の機能向上を図るため、非常用発電設備等の設置や体育館アリーナ照明の LED 化を進め、2021 年度に小中学校全 62 校への設置が完了しました。

改築事業では、2019 年度に鶴川第一小学校、2021 年度に町田第一中学校（校舎）で事業が完了し、2022 年度からは新たな学校づくり推進計画及び町田市立学校個別施設計画学校整備計画編に基づき、学校統合や老朽化した校舎等の建替えに向けた準備を進めています。

改修事業では、施設の老朽化対策を目的に、2019 年度から 2022 年度にかけて、校舎外壁や屋上防水等の校舎外回りを中心とした中規模改修工事を小・中学校 2 学校で実施しました。また、2021 年度から 2 カ年にわたり、施設の防音化対策の一環として中学校 1 校で老朽化した空調設備の更新工事を行いました。

加えて、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数標準に関する法律」の一部改正により 40 人学級から 35 人学級への対応が必要となったため、小学校 1 校で校舎の増築工事を実施しました。

2022 年度 主な整備実績

工事内容	小学校	中学校
中規模改修工事	鶴間小学校	成瀬台中学校
空調更新工事(復旧防音工事)		町田第二中学校
校舎増築工事	町田第一小学校	

③ 学校施設増改築のあゆみ

※建築面積とは保有面積のことであり、数値は建築時のものです。

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室												
町田第一小学校	昭44.7	給(140) 3,947㎡	26	4	平14.9	1,032㎡	0	3	令5.3	608㎡	4	1				
町田第二小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭45.8	給(144) 1,600㎡	9	1	昭47.9	370㎡	訪問学級	2	昭55.8	911㎡	4	
町田第三小学校	昭41.3	747㎡	4	2	昭43.7	571㎡	6	0	昭45.10	給(146) 1,782㎡	10	1	昭49.11	1,857㎡	7	4
町田第四小学校	昭46.5	1,244㎡	11	0	昭47.9	給(200) 1,236㎡	5	0	昭48.1	1,826㎡	11	4	昭49.6	1,198㎡	5	3
町田第五小学校	昭42.3	630㎡	6	0	昭45.6	604㎡	3	3	昭51.8	2,907㎡	12	3	昭52.12	給(271) 1,139㎡	6	2
町田第六小学校	昭40.3	1,819㎡	12	3	昭41.12	659㎡	3	0	昭42.9	給(151) 451㎡	5	0	昭44.6	941㎡	8	0
南大谷小学校	昭48.12	給(293) 3,820㎡	20	4	昭51.9	1,438㎡	5	3								
藤の台小学校	昭48.3	給(347) 4,007㎡	22	5	昭49.11	1,578㎡	7	4	昭51.6	370㎡	4	0				
本町田東小学校	昭45.7	2,349㎡	12	3	昭46.3	1,311㎡	9	1	昭48.7	1,368㎡	11	0	昭49.5	678㎡	0	4
本町田小学校	昭52.5	給(344) 5,918㎡	18	11												
南第一小学校	昭41.3	1,820㎡	10	4	昭44.2	507㎡	6	0	昭45.8	909㎡	8	0	昭54.9	給(265) 2,626㎡	4	4
南第二小学校	昭53.7	給(307) 6,018㎡	25	6												
南第三小学校	昭46.3	1,185㎡	11	0	昭47.8	給(204) 488㎡	3	0	昭48.5	889㎡	5	1	昭49.9	2,402㎡	8	5
南第四小学校	昭42.2	766㎡	4	2	昭42.10	1,260㎡	11	0	昭44.10	給(144) 960㎡	4	1	昭48.3	1,385㎡	7	2
つくし野小学校	昭46.3	1,147㎡	6	1	昭47.3	給(163) 1,511㎡	9	2	昭49.10	1,711㎡	11	3				
小川小学校	昭50.3	3,025㎡	13	3	昭51.6	1,029㎡	7	0	昭52.8	666㎡	0	4	昭53.8	1,149㎡	8	3
成瀬台小学校	昭50.3	2,771㎡	11	3	昭51.5	1,846㎡	11	1	昭52.7	666㎡	0	4	昭53.8	1,413㎡	15	0
鶴間小学校	昭52.3	3,814㎡	15	5	昭53.7	1,554㎡	6	0	昭62.2	給(223)						
高ヶ坂小学校	昭53.5	3,799㎡	12	5	昭55.3	給(181)			平3.3	424㎡	0	1				
成瀬中央小学校	昭54.5	給(333) 5,088㎡	20	5												
南成瀬小学校	昭55.5	給(255) 6,127㎡	25	9												
南つくし野小学校	昭55.5	給(254) 6,461㎡	26	8												

学 校 名	1 期			2 期			3 期			4 期			5 期			
	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室	年月	建築面積	普通 教室	特別 教室
鶴川第一小学校	平28.3	7,367㎡	26	15	平30.3	給(485)										
鶴川第二小学校	昭48.10	1,738㎡	13	1	昭49.11	1,875㎡	10	2	昭51.6	1,730㎡	3	3	平20.3	1,119㎡	4	2
鶴川第三小学校	昭42.9	2,268㎡	12	2	昭44.11	874㎡	8	0	昭47.3	1,858㎡	7	4	昭49.11	1,983㎡	8	6
鶴川第四小学校	昭46.3	3,308㎡	20	3	昭48.3	給(238) 1,665㎡	8	3	昭49.12	666㎡	0	4	昭50.6	1,178㎡	8	0
金井小学校	昭53.3	給(293) 5,432㎡	24	5												
大蔵小学校	昭55.5	給(252) 5,554㎡	25	5	平17.11	132㎡	0	1	平19.3	443㎡	4	2	平19.3	891㎡	4	2
三輪小学校	昭57.7	給(256) 4,349㎡	15	6	昭4.2	662㎡	4	1								
忠生小学校	昭42.1	1,406㎡	14	0	昭43.7	1,245㎡	4	2	昭45.6	781㎡	5	1	昭48.7	1,803㎡	6	4
小山田小学校	昭55.11	給(220) 4,157㎡	11	5	昭63.3	179㎡	2	0	平18.3	498㎡	2	2				
忠生第三小学校	昭49.11	2,626㎡	20	0	昭52.12	給(250) 2,882㎡	10	7								
山崎小学校	昭55.5	給(257) 5,377㎡	21	6												
小山田南小学校	昭59.3	給(244) 4,845㎡	18	5	昭60.3	1,688㎡	9	2	昭62.3	406㎡	2	1				
木曾境川小学校	平14.3	給(428) 6,407㎡	13	11												
七国山小学校	平16.3	給(395) 6,273㎡	20	9												
図師小学校	平21.3	給(394) 7,043㎡	17	19												
小山小学校	昭51.9	給(257) 5,237㎡	23	6	昭57.3	1,303㎡	8	2	平31.4	181㎡	2	0				
小山ヶ丘小学校	平17.3	給(505) 8,402㎡	26	15												
小山中央小学校	平22.2	給(485) 8,236㎡	22	17	平29.4	756㎡	4	1								
相原小学校	昭44.3	900㎡	8	0	昭46.3	488㎡	6	0	昭51.6	2,192㎡	10	4	昭52.12	給(389) 2,439㎡	6	3
大戸小学校	昭58.5	給(251) 4,967㎡	18	6	平5.12	473㎡	2	0								

学 校 名	6期		
	年月	建築面積	普通 教室
南第四小学校	平15.3	給(88) 167㎡	
忠生小学校	平16.3	給(93) 1,338㎡	6

学校名	1期			2期			3期			4期			5期			
	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室	年月	建築面積	普通教室	特別教室
町田第一中学校	令4.1 (改築)	11,936㎡	31	28												
町田第二中学校	昭47.12	1,445㎡	9	1	昭49.1	2,041㎡	14	3	昭50.12	3,052㎡	1	13				
町田第三中学校	昭43.3	2,981㎡	12	8	昭46.3	749㎡	6	0	昭47.3	683㎡	0	4	昭49.5	1,021㎡	6	2
南大谷中学校	昭50.3	4,289㎡	18	7	昭51.7	784㎡	0	4	昭51.9	1,344㎡	7	0				
南中学校	昭43.8	762㎡	9	0	昭46.3	1,226㎡	6	2	昭47.3	2,116㎡	13	1	昭52.9	2,605㎡	4	9
つくし野中学校	昭50.7	4,643㎡	17	8	昭53.8	2,164㎡	10	4	昭61.1	1,010㎡	3	3				
成瀬台中学校	昭54.5	5,987㎡	23	10	昭56.5	1,242㎡	10	1	昭61.5	1,145㎡	0	5				
南成瀬中学校	昭57.3	6,700㎡	30	9												
鶴川中学校	平13.1	5,369㎡	13	18	平29.4	82㎡	1	0								
鶴川第二中学校	昭48.3	3,123㎡	15	3	昭48.10	818㎡	0	4	昭50.7	1,355㎡	8	2	昭57.3	2,269㎡	7	4
栗師中学校	昭46.3	3,378㎡	12	7	昭47.3	692㎡	0	4	昭50.7	1,026㎡	7	1	昭55.3	1,492㎡	12	0
真光寺中学校	昭55.5	6,327㎡	21	10												
金井中学校	昭59.5	5,403㎡	15	9	平30.4	181㎡	2	0								
忠生中学校	昭48.7	2,146㎡	11	4	昭49.11	4,439㎡	12	10	昭56.5	1,225㎡	10	0				
山崎中学校	昭54.5	6,103㎡	22	9	昭62.3	870㎡	0	3								
木曾中学校	昭58.5	6,487㎡	20	10												
小山田中学校	昭59.3	4,499㎡	13	8	昭60.3	748㎡	3	2	昭62.3	397㎡	0	2	昭63.3	207㎡	2	0
小山中学校	平24.2	9,361㎡	24	26												
堺中学校	昭47.11	1,437㎡	12	0	昭48.8	2,096㎡	6	7	昭55.5	2,308㎡	4	3	昭50.2	292㎡		格枝室
武蔵岡中学校	昭58.5	3,133㎡	9	5	平4.1	848㎡		2								

(2) 学校図書館

学校図書館は、自由な読書活動の場として、学びの場として、子どもの成長を支える重要な拠点です。学校図書館をよりよいものとし、子どもたちの読書環境を充実させることで、豊かな知性や感性を養い「生きる力」をはぐくんでいきます。

① 町田市取組

・学校図書指導員の配置

学校図書館の充実を図るため、全校に学校図書指導員（2013年度に学校図書ボランティアから名称変更）を配置しています。学校図書指導員は、蔵書管理、図書館の環境整備、教育指導支援（読み聞かせ、ブックトーク、委員会支援、調べ学習支援など）等を行っています。

・教員等の研修の充実

2022年度は、学校図書館の充実に向けた知識を深めるための研修を年3回実施しました。対象は、司書教諭、学校図書館担当教諭及び学校図書指導員です。市立図書館との連携方法、図書の選書の方法、図書貸し出し支援に使うソフトの解説、大学の先生を講師として招いた専門的な研修などを通じて、学校図書館で役立つ知識を深めました。



ワークショップの様子

・市立図書館との連携

児童・生徒や学校の多様なニーズに応えるため、市立図書館では学校図書館支援貸出を実施し、市立図書館に所蔵している資料を貸し出して、学校図書館をサポートしています。

また、児童・生徒が図書館に行って調べ学習をしたり、市立図書館職員を学校に招き、授業で読み聞かせやブックトークをしたり、市立図書館の豊富な蔵書や知識・技能を有効活用しています。



小学校の学校図書館



中学校の学校図書館

② 学校図書館蔵書状況

文部科学省は、学校図書館の蔵書の充実を図るため、1993年に学校図書館図書標準を策定し、学級数に応じて整備すべき蔵書数を定めました。

教育委員会では、2013年度に「町田市立学校図書館蔵書整備計画作成指針」を策定し、各校で学校図書館図書標準の蔵書数を満たすよう計画的に蔵書の整備を進めています。2020年度末には全ての小・中学校で学校図書館図書標準の蔵書数を達成し、2021年度末及び2022年度末もこの状態を継続しています。

今後も学校図書館の蔵書数を計画的に整備するとともに、「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させます。



3. 町田市の特色ある取組

(1) 小・中学校間の連携

町田市では、学力向上の取組みや心身の発達に応じたきめ細やかな指導を行うため、小・中学校間の連携を推進し、小中学校の9年間を見通した教育活動の連続性を確保しています。

① 小中一貫（連携）教育推進地区の指定

町田市では、2013年に小・中学校全62校を対象に、各中学校と、その中学校が進学先となる小学校をあわせたブロックである「小中一貫（連携）教育推進地区」を指定しました。この地区内の小・中学校が連携し、9年間を見通した、生活指導や学力向上の取組や、教員及び児童・生徒の交流などを行っています。

小中一貫（連携）教育推進地区一覧

地区	中学校	小学校			
		小学校	小学校	小学校	小学校
1	町田第一中学校	町田第一小学校	町田第三小学校	町田第四小学校	
2	町田第二中学校	町田第二小学校	町田第六小学校	高ヶ坂小学校	
3	町田第三中学校	本町田小学校	忠生第三小学校		
4	南大谷中学校	町田第五小学校	南大谷小学校		
5	南中学校	南第一小学校	南第三小学校	南第四小学校	
6	つくし野中学校	つくし野小学校	小川小学校	鶴間小学校	南つくし野小学校
7	成瀬台中学校	成瀬台小学校	成瀬中央小学校		
8	南成瀬中学校	南第二小学校	南成瀬小学校		
9	鶴川中学校	鶴川第一小学校	大蔵小学校		
10	鶴川第二中学校	鶴川第二小学校	鶴川第三小学校	三輪小学校	
11	薬師中学校	藤の台小学校	本町田東小学校		
12	真光寺中学校	鶴川第四小学校			
13	金井中学校	金井小学校			
14	忠生中学校	忠生小学校	山崎小学校	函師小学校	
15	山崎中学校	七国山小学校			
16	木曾中学校	木曾境川小学校			
17	小山田中学校	小山田小学校	小山田南小学校		
18	小山中学校	小山小学校	小山中央小学校		
19	堺中学校	小山ヶ丘小学校	相原小学校		
20	武蔵岡中学校	大戸小学校			

② 小中一貫町田っ子カリキュラム

小中学校の9年間を見通した教育を推進するため、「道徳・規範教育」、「健康教育（食育）」、「キャリア教育」の領域について「小中一貫町田っ子カリキュラム」を作成し、どの小・中学校でも効果的な学習ができるよう取り組んでいます。

小中一貫町田っ子カリキュラム（道徳・規範教育・キャリア教育・健康教育（食育））の内容

	基礎期 (小学校1・2年 3・4年)	充実期 (小学校5・6年、 中学校1年)	発展期 (中学校2・3年)
小中一貫町田っ子カリキュラム 「道徳・規範教育」	ルール定着期	基礎的な教養期	実践・発展期
小中一貫町田っ子カリキュラム 「キャリア教育」	働く大人の姿に触れる学習期	働く意味・意義を考える学習期	適性や進路を考える学習期
小中一貫町田っ子カリキュラム 「健康教育（食育）」	基礎となる体験の充実期	体験の充実と知識の習得期	学んだことの実践期

③ 「えいごのまちだ」事業

「えいごのまちだ」事業では、子どもたちが英語に慣れ親しみ、英語に触れることのできる環境を整え、英語によるコミュニケーションを積極的に図る態度やコミュニケーション能力の育成を目指し、教員の英語の授業を支援する「Machida English Promotion Staff (MEPS)」や外国語指導助手 ALT の配置、全小学校において5年生がスヌーピーミュージアムとまちライブラリーで英語に親しむ校外学習及び「放課後英語教室」の実施、英語の4技能検定 GTEC（ジーテック）の全中学校での実施など、町田ならではの英語教育を推進しています。

併せて、習得した知識及び技能を活用して、考えや気持ちを伝え合う体験を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う言語活動中心の授業改善の推進にも取り組んでいます。

(2) 学力向上

町田市では、小・中学校に通う児童・生徒の学力状況を分析し、その実態に沿った学力向上策を検討・提案する組織として、2013年度から「町田市学力向上推進委員会」を設置し、全市的に学力向上策に取り組んでいます。また、同一地域の小・中学校が連携して、地域ごとの学力上の課題を解決するための学力向上策にも継続して取り組んでいます。

2015年3月	「町田市学力向上推進プラン（第1次）」の策定
5月	「第1回 町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒教職員、保護者、学校関係者、一般市民へ「町田市学力向上推進プラン（第1次）」の周知 ⇒学力向上に向けた取組及び成果の報告
2017年5月	「町田市学力向上推進プラン（第2次）」の策定 「第2回 町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒一般市民へ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた町田市の学力の取組について説明
2019年1月	「第3回町田市学力向上推進フォーラム」の実施 ⇒教職員、保護者へ学力向上に向けた取組及び成果の報告
3月	「町田市学力向上推進プラン（第3次）」の策定 ⇒「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「授業をデザインする8つの取組」の設定
4月	「家庭学習推進の手引き」の改訂 ⇒小学校の教職員、保護者、児童に配布
2021年4月	「指導力向上リーフレット」「町田市スタンダード授業観察シート」の作成 ⇒授業改善を図るため小中学校の教職員に配布
2021年5月	「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」「町田市スタンダード授業改善シート」の作成 ⇒授業改善に向けての参考資料及び学校や個人の授業力に関する実態把握として活用するため小中学校の教職員に配布
6月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知 ⇒2021年3月に市内小中学校教員を対象に実施 ⇒各学校の授業改善推進プランに活用
2022年3月	「町田市学力向上推進プラン（第4次）」の策定 ⇒学力調査や授業の実態等から分析した町田市の学力と実態と、町田市の取組
2022年4月	「町田市スタンダード授業改善シート」及び「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」の周知
2022年5月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知⇒2022年3月実施
2023年3月	「町田市スタンダード授業改善シート」を活用した調査結果の周知⇒2023年1月に実施

① 町田市学力向上推進委員会及び学力向上検討委員会の設置

2013年度～ 2018年度	「町田市学力向上推進委員会」を設置 ⇒小・中学校校長会の代表や教育委員会の職員で構成 ⇒学識経験者を顧問に迎え、小・中学校に通う児童・生徒の学力向上に向け学力向上策の検討・提案
2019年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「指導力向上リーフレット」及び「町田市スタンダード授業観察シート」、「家庭学習等のすすめ（中学校版）」の検討・提案
2020年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「『主体的・対話的で深い学び』の視点に立った授業実践集」及び「町田市スタンダード授業改善シート」を検討・作成
2021年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「町田市学力向上推進プラン（第4次）」及び「学力向上 MNE チャンネル」の検討・作成
2022年度	「学力向上検討委員会」を設置 ⇒「学力向上 MNE チャンネル」の検討・作成

② 研究指定校（指定期間：2年間）

研究指定校は、教育委員会から受けた学校が、学力向上、体力向上、特別の教科道徳、その他の教育課題に関わる実践的な研究を2年間行い、2年次に行う研究指定校研究発表会で、その成果を広く市内小・中学校に発表します。

2021年度	2022年度
<ul style="list-style-type: none"> ・小山小学校：総合的な学習の時間・生活科の学習を通じた豊かな心の育成 ・忠生中学校：健やかな体の育成を目指した取組 	
2022年度	2023年度
<ul style="list-style-type: none"> ・七国山小学校：豊かな心の育成（hyper-QUの取組を含む） ・忠生小学校：豊かな心の育成（hyper-QUの取組を含む） ・大蔵小学校：豊かな心の育成（多層指導モデルMIMを活用した研究を含む） ・南第一小学校：キャリア教育に関する研究 	
2023年度	2024年度
<ul style="list-style-type: none"> ・町田第六小学校：学力向上に関する研究 ・小中一貫ゆくのき学園：キャリア教育に関する研究 	

③ 学力向上重点校（指定期間：2年間）

学力向上重点校は、基礎学力の定着を目指した取組を推進する学校が指定を受けて研究活動を行っています。2年次に研究の成果として、電子データによる普及を行い、広く市内小・中学校に研究成果を周知します。

2022年度	2023年度
・小山田小学校：既習事項を課題解決に生かすこと目指した授業力向上（算数科） ・町田第三中学校：特別支援教育の視点に立った授業改善と基礎基本や学習習慣の定着	

④ デジタル教科書×「navima」実証校（指定期間：2年間）

デジタル教科書×「navima」実証校は、教育現場におけるデジタル教育ツールの活用促進に関すること、児童・生徒にとって学習効果のあるデジタル教育コンテンツの検討に関すること、児童・生徒が自ら意欲的に学び、学力を伸ばすことができるICTの活用方法を見出すことなどを目的に、先行実証します。

2021年度	2022年度
・町田第三小学校	・町田第六小学校 ・藤の台小学校

（3）体力向上

町田市では、児童・生徒の体力の向上に向けて、次の取組を実施しています。

① 学校の取組

○「体育科」「保健体育科」の授業改善

以下の取組を通して、運動が苦手な子どもも体を動かす楽しさを味わい、自分の体のことをきちんと理解できる授業づくりを目指し、全小中学校で取組を工夫しています。

- ・意欲や技能を高める「ウォーミングアップ」の工夫
- ・9年間を見通した「体づくり運動」の充実
- ・ゴール型ゲーム「町田ボール」の実践（小学校）
- ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善

○授業以外の工夫

朝の時間や休み時間、部活動等を利用して、体を楽しく動かす活動の推進や場の工夫を行います。子どもたちが運動・スポーツに親しめるような環境づくりを通して、運動の楽しさを授業以外の活動でも体感してもらい、運動の日常化を図ります。

○健康教育の推進

子どもたちが、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成する保健教育を進めていきます。また、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育んでいくための基礎を身に付けられるようにします。

・保健教育の推進

運動領域と保健領域を関連させた指導、各教科等の特質を生かした横断的な指導など

・食育の推進

町田市立小・中学校朝食レシピコンテストの実施など

② 町田市小学校連合体育大会

体力の向上や豊かなスポーツライフの実現を図ることを目的として、2019年度は、2020年度から小学校連合体育大会の全校実施に向けた、プレ大会（14校参加）を実施いたしました。なお、2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み、小学校20校で実施いたしました。2022年度は、小学校全42校で実施をしました。

2022年度 町田市小学校連合体育大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10月13日 10月14日	町田 GION スタジアム	市立小学校	各小学校の6年生

③ 町田市中学校連合体育大会

生徒にスポーツ実践の機会を与え、体力、技能の向上や、心身ともに健康な生徒の育成を目指し、スポーツ交流を通じて各学校間の親睦を図ることを目的として、町田市中学校連合体育大会を開催しています。2022年度は、中学校全20校で実施をしました。

2022年度 町田市中学校連合体育大会実施状況

開催日	場所	参加校	参加者
10月4日	町田 GION スタジアム	市内中学校（私立学校を含む）	各中学校の選抜選手

④ 体力向上パワーアップ DAY

子どもたちが生涯を通じて運動に親しむきっかけを作るため、町田市を6地区に分けて、地区ごとに「体力向上パワーアップ DAY」を開催しています。

2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
第1地区	中止	中止	第2地区	第3地区	第4地区	第5地区	第6地区

※2022年度は、下記のとおり実施しました。

- 実施地区 第2地区（本町田小学校、忠生小学校、忠生第三小学校、山崎小学校、木曾境川学校、七国小学校、函師小学校）
- 日 時 2023年2月11日（土）
- 会 場 忠生第三小学校 体育館
- 内 容 様々な運動体験（FC町田ゼルビアとのボール遊び）

※2023年度は、下記のとおり実施する予定です。

- 実施地区 第3地区
- 日 時 2023年11月11日（土）
- 会 場 大蔵小学校
- 内 容 様々な運動体験（FC町田ゼルビアとのボール遊び）

(4) 防災教育

小・中学校では、月1回の避難訓練日を教育課程に位置付け、学校生活のあらゆる時間帯での地震・火災等を想定して避難の方法や行動の仕方を確実に身に付けさせるための訓練を行っています。

また、9月1日の「防災の日」には、小学校では保護者への引き渡し訓練、中学校では下校計画に基づいて帰路の安全を確認の上、帰宅方面別に集団下校等を行っています。

授業においては、防災教育デジタル教材「防災ノート～災害と安全～」(東京都教育委員会作成)などを活用した防災教育を行っています。また、安全教育プログラムに基づき危険を予測し回避する能力の育成や、緊急地震速報発令時の対応、首都直下地震等の様々な災害に対する備えや対応などについても学習しています。

2021年度からは、学校安全計画を作成し、安全指導と安全教育を系統的に進めています。

(5) 生活指導補助者派遣

小学校に入学したばかりの新1年生がスムーズに学校生活に慣れることができるように、約2ヶ月間、学級担任の補助者として生活指導補助者を派遣しています。登下校の指導、学校での約束事や学習規律の徹底、清掃・給食・安全指導補助など、学級担任と打ち合わせを行いながら必要な指導の補助を行います。

2021年度から東京都事業スクール・サポート・スタッフ(学校生活支援型)配置モデル事業の導入に伴い、3月まで継続した補助が可能となりました。

(6) 科学教育センター

児童・生徒の科学的態度・能力・技術の向上や創造力の育成を目的に、小学5年生、中学2年生から希望を募り、主に土曜日に研究活動を行っています。

運営は小・中学校の校長会が行い、理科専門の教員や外部指導者が実験等の指導をしています。

2022年度に実施した講座の回数は、小学校科学教育センターは全11回、中学校科学教育センターは、全10回でした。

なお、2022年度に参加した児童・生徒の人数は、小学生44名、中学生25名でした。

2022年度 第63回町田市小学校科学教育センター開催実績(44名参加)

No.	日程	内容	会場
第1回	4月23日	開講式・オリエンテーション	教育センター
第2回	5月14日	A組：自由研究①(60分) ⇒基礎研究①(60分) B組：基礎研究①(60分) ⇒自由研究①(60分) 科学講座 講師 中村 雄一 先生	教育センター

No.	日程	内容	会場
第3・4回	6月25日	川の生き物観察 フィールドワーク（午前） ⇒ 採集生物観察（午後） 講師 篠田 康昌 先生	大地沢青少年センター
第5回	7月30日	基礎研究②（120分） サレジオ高専 科学講座（訪問）	サレジオ工業高等専門学校
第6回	8月27日	発展研究①（60分） 自由研究②（60分） リビングロボット 「歩くメカトロウィーゴ」 （プログラミング学習）	教育センター
第7回	9月17日	発展研究②（60分） 自由研究③（60分） オリンパス「光の不思議」	教育センター
第8回	10月22日	発展研究③（60分） 自由研究④（60分） 東京高専「まがきの研究」	教育センター
第9回	11月19日	自由研究④（120分）	教育センター
第10回	12月10日	自由研究発表会（各組毎）（120分）	教育センター
第11回	2月25日	閉講式	教育センター



中学校科学教育センターの実施風景

2022年度 第60回町田市中学校科学教育センター開催実績（25名参加）

No.	日程	内容	会場
第1・2回	7月23日	開講式 運動の実験等	武蔵岡中学校
第3回	8月2日	免疫の実験：協和キリン	町田第一中学校
第4回	8月6日	地質学実験	山崎中学校
第5回	8月27日	恩田川の水質調査	南大谷中学校
第6回	9月3日	超低温の世界	南成瀬中学校
第7回	10月1日	エッグドロップチャレンジ	堺中学校
第8回	11月12日	カエルの解剖	南中学校
第9回	12月3日	光の性質	つくし野中学校
第10回	12月17日	閉講式	教育センター

（7）児童・生徒の文化活動

児童・生徒は学習活動や部活動等の時間における文化活動を通して、日々自己を磨き、高める活動を行っています。そして、その成果を遺憾なく発揮し、活躍しています。

① 連合行事の開催

児童・生徒が日頃の活動成果を発表する場として次のような連合行事を開催しました。

連合行事（2022年度の実施内容）

行事名		実施日	場所
小学校	音楽会	12月13～15日	パルテノン多摩 大ホール
中学校	音楽会（吹奏楽）	7月21日	相模女子大学グリーンホール
	音楽会（合唱）	11月8日	川崎市麻生市民館
	演劇発表会	10月30日	ひなた村

② 町田市公立小・中学校作品展

毎年1月～2月に国際版画美術館で、日頃の学習活動の成果を発表しています。小学校については書写と図画工作、中学校については美術作品を展示しています。

(8) ICT教育

「ICT」とは、略称で、情報通信技術を意味します。

町田市では、町田市5ヵ年計画 22-26 の中で、『ICT教育の充実』を重点事業に掲げています。2022年度は、GIGAスクール構想に基づき整備した一人一台のタブレット端末を中心に、デジタル教科書や学習支援コンテンツ等を活用し、ICT教育を推進してきました。

教育におけるICTの活用は、児童・生徒の学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や新学習指導要領で重要視されている「主体的・対話的で深い学び」を実現する上で効果的であり、確かな学力の育成につながるものです。また、ICTを活用することによって、一人一人の児童・生徒の能力や特性に応じた「個別最適化」された学びや、児童・生徒が教え合い学び合う中で考えを広げ深めていく「協働的な学び」を実現します。

2017年度 2018年度	町田市 ICT 活用教育推進モデル校（小山ヶ丘小学校・堺中学校） ⇒ICT 機器の導入・ICT を活用した授業実践
2019年度	町田発未来型教育実証モデル校（町田第五小学校・小山ヶ丘小学校・堺中学校） ⇒「G Suite for Education を活用した授業モデルの構築」・「AI による個別最適化された学習支援モデルの構築」に向けた取組を実施 ----- 全小・中学校に児童・生徒用のタブレット（Chromebook：Google 社が開発したクローム OS を搭載したパソコン）を1校に40台配備 ----- 町田市 ICT 教育フォーラムを開催し、取組を発表
2020年度	・文部科学省の示す GIGA スクール構想に基づき、児童・生徒一人一台のタブレット端末と高速大容量通信ネットワークを整備 ・教科用デジタル教材（指導者用）の導入【小学校（英語）】 ⇒学習内容を視覚化し、意欲的に学ぶ学習環境づくりにつなげる。
2021年度	・ICT 活用研修を年12回実施 ⇒教員の ICT 活用のスキルアップのため、都や企業の企画する研修についても各学校で積極的に活用 ・教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数）、中学校（数学または英語）】 ・小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの導入 ⇒学習の履歴として蓄積された記録を分析することにより、児童・生徒は自己のつまづきを把握しながら学習することができる。教員は児童・生徒の状況を把握して個に応じた指導を工夫することができ、個別最適化された学びの実現につながる。 <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

<p>2021 年度 (続き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 <p>⇒ 「Google Workspace for Education」 及び 「小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツ」 の利用促進を図るため、ICT 授業支援員を配備し、教員が効果的に ICT 機器を活用できるよう支援体制を整えた</p>
<p>2022 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 活用研修を年 10 回実施 ・ 教科用デジタル教材（指導者用）の導入 【小学校（算数・英語）、中学校（数学・英語）】 ・ 教科用デジタル教材（学習者用）の導入 【小学校（算数・理科・英語）、中学校（数学・理科・英語）】 ・ 小・中学校全学年でクラウド型小中一貫学習支援コンテンツの導入 ・ ICT 授業支援員による教員への支援を実施 ・ 2017 年度に整備したタブレット端末を新機種に更改

4. 研修・研究

学校の教育力の向上を図るため、次のとおり、教員を対象とした研修の実施や、教員・学校の研究活動の支援を行っています。

(1) 研修

国は、法令において、教員に対しては、絶えず自己研さんに励む責務を、行政に対しては、教員の研修の機会を付与する責務を課しています。町田市では、基本的な指導力及び専門的な指導力の向上を図るため、各種の研修を行っています。

また、毎年各学校から希望を募って、国や都の研修事業に研修生の派遣を行っています。

2022年度 教育委員会実施研修一覧

No.	研修名	回数	研修の目的
1	校長研修	1	学校教育における諸課題を多角的に認識するとともに、その解決に必要な教職員の意識改革と管理職のリーダーシップの在り方や新しい学校づくりを目指した学校経営の在り方を探る。
2	副校長研修	1	副校長としての実務能力を高め、資質・能力の向上を図る。
3	教務主任研修	4	主幹及び教務主任としての資質・能力の向上と教育課題への対応能力をはぐくむ。
4	生活指導主任研修	6	主幹及び生活指導主任としての資質・能力の向上と校内における調整能力をはぐくむ。
5	研究主任研修	3	研究主任や研究担当としての資質・能力の向上を図り、校内研究の推進能力を身に付ける。
6	新任主幹教諭研修	1	主幹教諭としての役割を理解するとともに資質・能力の向上を図る。
7	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	12	中堅教員としての資質・能力の向上を図る。
8	若手教員育成研修【3年次】	2	2年次における研修内容を定着させるとともに、外部との連携・折衝力、学校経営力・組織貢献力について、講義や演習を通して学ぶ。
9	若手教員育成研修【2年次】	3	1年次における研修内容を定着させるとともに、学習指導力、生活指導力・進路指導力を中心に、講義や演習を通して学ぶ。
10	若手教員育成研修【1年次】	16	新任教諭に対し、幅広い知見をもたせて児童・生徒及び保護者の期待に応えることができるようにするとともに、実践的指導力を培い、教員として資質・能力の向上を図る。
11	人権教育研修	1	各校での人権教育推進に向け、人権に関する諸課題について研修を深める。
12	学校図書館担当者（司書教諭・図書指導員）研修	3	司書教諭及び図書指導員の職務についての理解を深め、学校図書館の充実に資する。

13	特別支援教育に関する研修	31	特別支援教育を推進するため、コーディネーター、学級主任、学級担任の資質・能力の向上を図る。
14	熱中症予防対応研修	1	熱中症予防についての知識と具体的な対応策を理解する。
15	安全な水泳指導のための講習会	1	水泳指導の基本的な考え方や進め方について周知するとともに、小・中学校における安全管理、教職員及びプール指導員等の指導力向上及び事故防止の徹底を図る。 ※水泳指導責任者が各校において伝達講習会を行い、報告書を提出する。
16	体力向上担当者研修	2	実技研修や公開授業参観を通して、体力向上に関する理解を深め、実践力を養う。
17	学校リーダー育成プログラム 「学校マネジメント講座」	4	学校運営の中核を担う教員、または今後、学校経営を担うことができる教員に学校経営に参画する意欲を喚起するとともに、学校マネジメント能力の向上を図り、教育管理職候補者のキャリア形成を図る。
18	教育行政研修に係る実地研修	6	指導主事の職務を実際に体験することにより、その重要性を理解し、指導主事の職務を担うための基礎的な資質・能力を育成する。
19	特別支援教育コーディネーター研修	5	講義や演習、実践報告等を通して、特別支援教育の概要及び本市の現状などを踏まえた上で、コーディネーターの役割や各学校での校内支援体制の在り方等について学ぶ。
20	ゲートキーパー研修	1	悩んでいる人に寄り添い、関わりを通して「孤立・孤独」を防ぎ、支援することができる意識の高揚を図る。
21	小学校外国語・公開授業参観研修	4	同校種及び異校種の外国語の授業を参観し、協議することで、それぞれの指導方法について学び、指導力向上を目指す。
22	hyper-QU 活用研修	4	hyper-QU の診断結果を活用し、児童・生徒一人一人の状態や学級全体の課題を把握し、対応を検討する方法について学び、いじめ等の未然防止や不登校の予防に資する。
23	ICT 活用研修	10	教員の ICT 活用能力の向上を図る。

2022 年度 研修生派遣先一覧

No.	研修名	派遣人数
1	東京教師道場（1・2年次）	21
2	東京都教育研究員	1
3	教職大学院派遣研修	3

(2) 研究

小・中学校では、教員の資質向上及び各学校の課題解決のため、自主的に研究主題を設定して校内研究を進めています。

教育委員会では、学校からの希望により文部科学省や東京都の研究指定事業に推薦し、研究指定を受けることもあります。

その他の研究活動として、小・中学校の教員が各教科・領域の研究を行う教育研究会があります。

2022・2023年度 研究校一覧（文部科学省指定校・東京都指定校）

※町田市研究指定校については「3. 町田市の特色ある取組」をご覧ください

※2023年度については、文部科学省研究指定校はございません。

学力格差解消推進校	
2021年度～2023年度	
本町田小学校	
学力格差解消加配により配置された教員（学力向上担当教師）を中心に、関係諸機関との連携等も行いながら、学力向上への学校の取組を活性化させ、他の教員の意識を一層醸成することを目的として指定を受けた学校。	

人権尊重教育推進校	
2022年度	2023年度
南成瀬小学校(2年次) 鶴川中学校(1年次)	鶴川第三小学校(1年次) 鶴川中学校(2年次)
東京都人権施策推進指針及び都教育委員会の教育目標、基本方針に基づき、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、人権教育を一層充実させるために指定を受けた学校。	

授業改善推進拠点校	
2021年度～2023年度	
鶴川第二小学校	
児童・生徒の学力向上を図るため、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を全国学力・学習状況調査の結果等と関連付け、学びに向かう力等に注目しながら分析し、指導と評価の一体化による授業改善を組織的に推進する取組を実践的に研究・開発し、その成果を全都に普及・啓発する学校。	

小学校教科担任制等推進校	
2021 年度～2023 年度	
南大谷小学校	
児童の意識及び教員の取組状況を把握し、東京都における小学校教科担任制等の推進・充実に資する学校。	

地域人材・資源活用推進校	
2022 年度	2023 年度
町田第一小学校	木曾境川小学校
地域の人的、物的資源を活用し、子どもたちの活動の場を形成するとともに、子どもたちに多様な教育活動が展開できるよう、地域と学校との連携を推進・充実に資する学校。	

体育健康教育推進校	
2022 年度・2023 年度	
金井小学校	
児童・生徒の体力向上を図るため、「全国体力調査」及び「東京都体力調査」の結果を分析し、体育科だけでなく学校の教育活動全体を通して、体育健康教育の推進・充実に資する学校。	

コーディネーショントレーニング地域拠点校	
2022 年度	
高ヶ坂小学校・鶴川第三小学校	
コーディネーショントレーニングを体育授業の体づくり運動や補助運動の運動内容に導入したり、全校朝会、休み時間、放課後、運動部活動等の様々な機会に取り入れたりすることなどを中核にして事業を推進するとともに、その成果を実技研修会や実践報告会等を通して、当該区市町村等へ広く発信する学校。	

オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校	
2022 年度	
南第四小学校・鶴川第四小学校・成瀬中央小学校・大蔵小学校	
「重点的に育成すべき5つの資質」の育成について、これまでの取組を一層充実させたり、他の資質の育成に新たに取り組んだりするなどして、組織的・計画的にオリンピック・パラリンピック教育を推進し、取組成果を他校に普及・啓発する学校。	

5. 特別支援教育

障がいがあり、特別な支援を必要とする児童・生徒について、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を行っています。

児童・生徒は、特別支援学級に籍を置いて、その障がいや発達に応じた指導を受けながら、一部の教科や給食などは通常の学級で交流学习をする、また、通常の学級で学びながら、ある一定の時間は巡回制の学級で教師の訪問指導を受けるなど、様々な形での指導を受けています。

障がいのある児童・生徒は、障がいのない児童・生徒と共に学ぶことで、学習への意欲や社会性などをはぐくみます。障がいのない児童・生徒もまた、同じ社会の一員として認め合い、育ち合うことの意味について理解し、思いやりの心を身に付けていきます。

(1) 就学・進学相談

障がいのある児童・生徒が、その程度や発達に応じた教育が受けられるように、就学・進学相談を行っています。

小学校や中学校への入学にあたっては、児童・生徒の観察や診察、保護者との面接の結果等から、どのような教育が望ましいか、「町田市障がい児就学相談委員会」が所見を出し、保護者の方と就学・進学先について考えていきます。「町田市障がい児就学相談委員会」は、専門的、総合的立場から判断する機関として設置されており、学校、教育関係、福祉・保育関係、医療関係等の専門家により構成されています。

また、入学後、その障がいや発達の状況に変化が生じたときや、現在の学級に適応が困難となったときにも、保護者から随時相談を受け付けています。

就学・進学相談 利用者数（人）

区分 \ 年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
就学相談	281	256	285	319	347
進学相談	196	216	244	319	250

(2) 特別支援学級

障がいがあることにより、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育の場として、一部の小・中学校に特別支援学級を設けています。特別支援学級では、児童・生徒の障がいや習熟度に応じた学習活動を行います。

小・中学校の特別支援学級は、1959年に町田第二小学校、1961年に町田第一中学校に知的障がい学級を開設したのにはじまり、2023年5月1日現在では、全小・中学校に特別支援学級（知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由、弱視、難聴、言語障がい、特別支援教室の7種別の学級）を設置しています。

これらの特別支援学級には、障がいの種別により、固定制、巡回制の2つの指導形態があります。固定制は、通常の学級での学習では十分にその効果を上げることが困難な児童・生徒のために、

障がいや発達の状態にふさわしい指導計画を作成し、指導を行う形態です。

巡回制は、教員が一部特別な指導を必要とする児童・生徒の在籍校を巡回して指導する形態です。

知的障がい、自閉症・情緒障がい、肢体不自由の固定制学級では、校内の通常の学級との授業や学校行事での交流、他校の特別支援学級や特別支援学校との連合行事も盛んに行われています。

○ 知的障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れがある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童・生徒の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、基礎的な能力を身に付ける学習や身辺自立の練習など、きめ細かい指導をしています。

また、卒業後のことも考えて、社会適応のための学習や自立活動も行っています。

○ 自閉症・情緒障がい学級〈固定制〉

知的な発達に遅れを伴わない自閉症・情緒障がいがある児童を対象とした固定制の学級です。

この学級では、児童の障がいや発達に合わせて、個別学習やグループ学習により、言語の理解と使用や、場面に応じた適切な行動などができるように、きめ細かい指導をしています。

○ 肢体不自由学級〈固定制〉

脳性マヒや進行性筋萎縮症などにより身体に不自由がある児童・生徒を対象とした固定制の学級です。

この学級では教科学習のほか、理学療法士、作業療法士による自立活動も行っています。

○ 弱視学級〈巡回制〉

治療をしても、メガネをかけても十分な視力を得ることができない児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、弱視学級の先生の指導を受けて、拡大鏡やレンズを使用した物の見方など、視覚をとおして物事を理解するための視知覚向上練習や、運動能力及び表現力を向上させるための練習などを行っています。

○ 難聴学級〈巡回制〉

補聴器を使用しても話し声を聞きとることが困難な児童・生徒を対象とした学級です。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、難聴学級の先生から、補聴器を使用しての聴能練習、発音の指導やグループ指導を受けています。

○ 言語障がい学級〈巡回制〉

口蓋裂（こうがいれつ）、吃音（きつおん）などにより、発音や話し方に課題のある児童を対象とした学級です。

児童は平常、通常の学級で勉強していますが、週1～2回程度、言語障がい学級の先生から、ことばや発音の指導等を受けています。

○ 特別支援教室（サポートルーム）〈巡回制〉

情緒の不安定や社会性の未発達のため、対人関係や集団への適応に困難を示す、文字や計算など特定の分野に発達の偏りがあるなどの児童・生徒を対象とした教室です。児童・生徒はコミュニケーション能力を伸ばす、社会性を養うなどの指導を個別又はグループで受けています。

児童・生徒は平常、通常の学級で勉強していますが、週1回、特別支援教室の先生から指導を受けています。

2023年度 特別支援学級

《小学校》

(2023年5月1日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級《固定制》	56	395	町田第一小学校 南大谷小学校 南第二小学校 鶴川第二小学校 忠生小学校 七国山小学校 小山中央小学校	町田第二小学校 藤の台小学校 南第四小学校 鶴川第四小学校 小山田南小学校 小山小学校 相原小学校	町田第五小学校 本町田小学校 南つくし野小学校 金井小学校 木曾境川小学校 小山ヶ丘小学校
自閉症・情緒障がい学級《固定制》	18	120	町田第一小学校 鶴川第四小学校	本町田小学校 忠生小学校	南第四小学校 小山中央小学校
肢体不自由学級《固定制》	2	12	町田第六小学校		
弱視学級《巡回制》	1	8	本町田東小学校		
難聴学級《巡回制》	2	12	本町田東小学校	山崎小学校	
言語障がい学級《巡回制》	4	69	本町田東小学校	成瀬中央小学校	
特別支援教室《巡回制》		1279	全校		

《中学校》

(2023年5月1日現在)

区 分	学級数	人数	学 校 名		
知的障がい学級《固定制》	33	227	町田第一中学校 つくし野中学校 薬師中学校 堺中学校	南大谷中学校 成瀬台中学校 忠生中学校	南中学校 鶴川中学校 山崎中学校
自閉症・情緒障がい学級《固定制》	2	15	町田第三中学校		
肢体不自由学級《固定制》	1	3	町田第一中学校		
難聴学級《巡回制》	1	8	町田第二中学校		
特別支援教室《巡回制》		367	全校		

(3) 人的支援制度

特別支援学級に在籍する児童・生徒だけでなく、通常の学級に在籍する LD (学習障がい)、ADHD (注意欠如・多動性障がい)、高機能自閉症等の児童・生徒も含め、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活、また学校の教育活動をサポートするため、次の人的支援を行っています。

○ 特別支援教育支援員

学校に配置し、教員の補助者として、特別な支援が必要な児童・生徒の介助や安全への配慮を行い、児童・生徒の学校生活、学校の教育活動を支援しています。

○ 特別支援教育専門家チーム

学校からの求めに応じ、大学教授などの特別支援に関する専門員(11名)が、学校に出向き、事例相談や校内研修での特別支援教育に関する講義などを行っています。

事例相談では学校に対し、特定の特別な支援を必要とする児童・生徒について、発達障がいの状況や課題に関して見解を示し、必要な支援・配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策、保護者への支援にかかる方策、学校の組織的取組に関する改善策などについて指導・助言を行っています。

○ 特別支援教育巡回相談員

通常の学級における特別な支援を要する児童・生徒に関する各校の実態を把握し、児童・生徒への指導や、管理職、特別支援教育コーディネーター、担任等への助言を行います。

また、特別な支援を要する児童・生徒への指導について、専門家チーム、関係諸機関への連絡・相談を円滑に行えるようにします。

○ 特別支援教育専任相談員

特別な支援が必要な児童・生徒への指導方法や対応についての助言を行います。また、特別支援学級、特別支援教室の指導内容や方法について教員研修会や学校訪問等を通して必要な助言を行います。



(4) 連合行事

特別支援学級の児童・生徒は普段、少人数で指導を受けていますが、より大きな集団の中で交流することも必要です。そこで、いくつかの学級が連合して、宿泊学習、遠足、合同学習会等を実施しています。2022年度は、町田市中学校連合マラソン大会、スポーツ交流会を実施しました。

また、町田第一中学校、南中学校、つくし野中学校、成瀬台中学校が実施している連合行事、中学校4校連合学習発表会は実施いたしました。

2022年度実績

行事名	実施日	場 所	備 考
町田の丘学園交流会	(中止)	町田の丘学園体育館	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が一堂に会し、交流しています。
町田市中学校連合マラソン大会	10月28日	町田 GION スタジアム (町田市立陸上競技場)	中学校の特別支援学級と町田の丘学園中学部の生徒が、障がいの程度に応じて参加しています。
スポーツ交流会	2月3日	町田市立総合体育館	中学校の特別支援学級の生徒が一堂に会し、スポーツで交流しています。

※町田の丘学園交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施を見合わせました。

(5) 副籍制度

都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度です。

副籍制度によって、地域指定校の学校行事や授業等への参加などの直接的な交流や、学校便りや学級便りの交換などの間接的な交流が行われています。交流の内容は、保護者の希望をもとに、都立特別支援学校と地域指定校との間で相談して決定します。

(6) 特別支援教育推進モデル校

特別支援教育推進モデル校は町田市の特別支援教育を推進することを目的に2年間研究に取り組みます。町田市の特別支援教育の質的向上に寄与していきます。

2022年度	2023年度
真光寺中学校（2年目）	町田第二小学校（2年目）
町田第二小学校（1年目）	南成瀬中学校（1年目）

6. 教育相談等

すべての児童・生徒が家庭、学校、地域でいきいきと活動し、人間性豊かに成長するよう、いじめや不登校、子育てに伴う保護者の悩みなどの教育上の課題について、児童・生徒、保護者、学校等に対し、様々な支援・相談を行っています。

(1) 教育相談

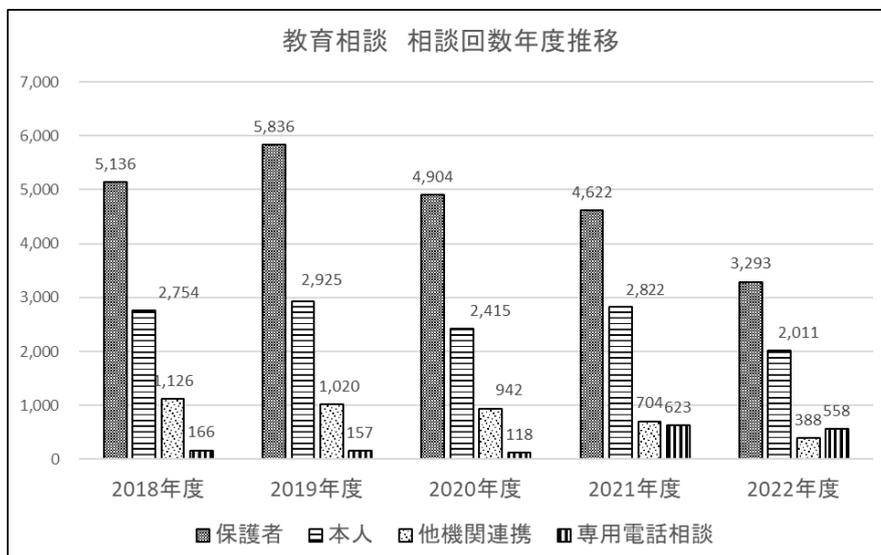
児童・生徒の様々な教育上の課題について、心理専門の相談員が児童・生徒、保護者、学校関係者の相談に応じています。主な相談内容は、不登校、いじめ、集団不適合、友人関係、発達の問題、学習に関する事、生活面に関する事などですが、その他子どもの教育に関する相談に応じています。

また、2013年度から小・中学校全校に配置されたスクールカウンセラーが、家族や友人関係、学習や進学等の様々な悩みに関して、児童・生徒の相談に応じたり、児童・生徒の教育上の問題について保護者の相談に応じたりしています。

その他、学校だけでは支援が難しい課題を抱える児童・生徒に対して、スクールソーシャルワーカーが、社会福祉の専門的知識・技術を活用し、児童相談所、福祉事務所等の様々な関係機関と連携して、問題の解決に向けた支援を行っています。

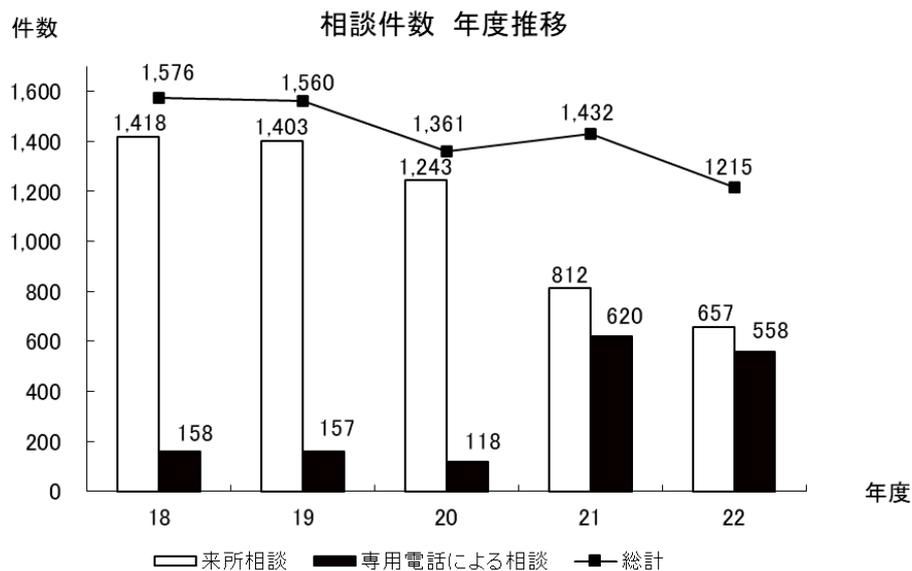
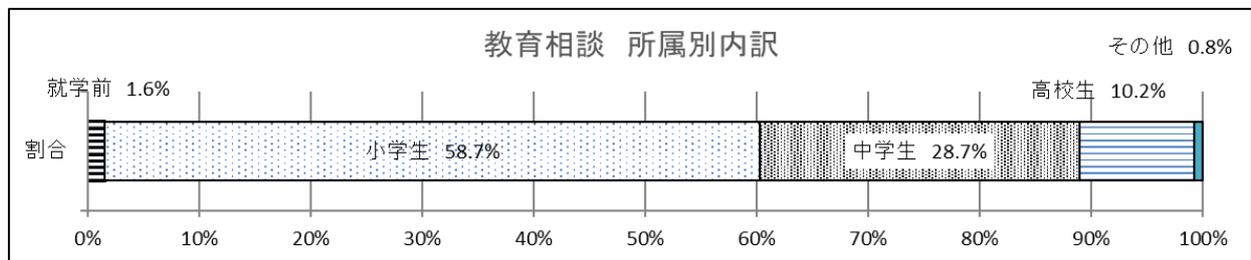
心理専門の相談員による教育相談

区分	相談日時	場所	担当	電話番号
来所相談	月～金曜日及び第1・第3土曜日 午前9時～正午 午後1時～午後5時 ※祝日を除く ※予約制	教育センター	教育相談員 (心理)	042-792-6546 (予約受付は午前8時30分から対応)
電話による教育相談	月・水・金曜日 午前9時～正午 午後1時～午後4時 ※祝日を除く	教育センター	教育相談員 (心理)	042-792-6548



2022年度 相談件数

相談内容	来所相談					電話 相談	合計 (件)
	就学前	小学生	中学生	高校生	その他		
不登校	15	137	111	38	35	191	527
友人関係	0	0	1	0	0	7	8
いじめ問題	0	0	0	0	0	3	3
発達障がい等	4	239	40	4	0	251	538
非行・不良行為	0	1	3	2	0	7	13
暴力行為	0	2	1	1	0	5	9
心身の健康・保健	0	6	2	3	0	28	39
家庭環境	0	0	0	0	0	2	2
児童虐待	0	2	0	1	0	6	9
学業・進路	0	2	6	1	0	23	32
教職員との関係	0	0	0	0	0	10	10
学校環境	0	0	0	0	0	2	2
学校・家庭以外の問題	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	23	23
合計	19	389	164	50	35	558	1215



(2) 不登校児童・生徒支援

小・中学校に在籍する児童・生徒の中には、心理的な要因などにより不登校又は不登校の傾向にある児童・生徒がいます。教育委員会では、2003年度にけやき教室を、2013年度にはくすのき教室を設置し、児童・生徒の社会的自立に向けた力を高めることを支援しています。

なお、くすのき教室では2021年度から、けやき教室では2022年度から、多様性のある指導を行うため指導の一部を委託化しています。

開設日は、火曜日を除く月曜日から金曜日で、実施教科は小学校・中学校の教科に準拠しています。教室では、社会性・協調性を育むための体験的活動や学習内容の補充、生活リズムの調整などを行っています。くすのき教室においては、進路相談や入試対策なども行います。

それぞれの教室で見学や体験を通して、児童・生徒一人ひとりの状況を見極めながら通室につなげています。また、教育相談担当所属の心理職を配置することで、安定して通室できるよう支援しています。

けやき教室通室児童数

年 度	人数 (人)
2018 年度	19
2019 年度	11
2020 年度	13
2021 年度	23
2022 年度	31

くすのき教室通室生徒数

年 度	人数 (人)
2018 年度	16
2019 年度	17
2020 年度	17
2021 年度	72
2022 年度	138

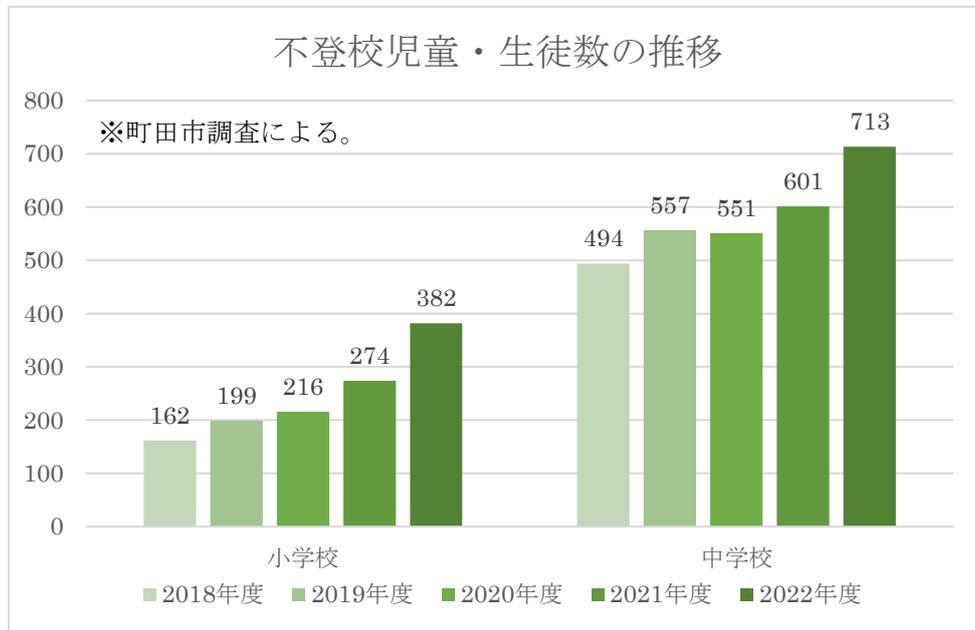


けやき教室



くすのき教室

年間 30 日以上欠席児童・生徒数の推移（過去 5 年間）



7. 家庭・地域と連携した学校づくり

家庭・地域・学校が連携・協働し、地域の資源などを生かした教育活動を推進するために、様々な取組を行っています。

(1) 学校運営協議会・地域学校協働本部 / コミュニティ・スクール

町田市立小・中学校では、地域とともに、子どもたちの豊かな教育活動を目指して、2021年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）へ移行し、2023年度からは地域学校協働本部を全校に設置しました。

学校運営協議会は学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行うため、市立小中学校に設置する合議体のことをいい、校長が作成した作成した学校経営方針・学校経営計画等の基本方針を承認する等の権限を持ちます。学校運営協議会の委員は、地域住民や保護者、学校で活動するボランティアをコーディネートするボランティアコーディネーター（後述）、まちとも関係者等を中心に構成されています。

地域学校協働本部は、副校長や地域連携担当教員、ボランティアコーディネーターが中心となり、学校運営協議会で承認された計画に基づいて地域学校協働活動を実施していくネットワークのことをいい、町田市コミュニティ・スクールでは学校運営協議会と地域学校協働本部が大きな柱となっています。

(2) 学校支援ボランティア

① 学校支援センター

家庭・地域・学校が協力して子どもを育てていく“しくみ”をつくるため、町田市学校支援センターを設置し、地域連携に取り組んでいます。

学校支援センターでは、学校支援ボランティア活動の総合窓口として、地域ボランティアの学校支援活動を推進するとともに、各校に配置されているボランティアコーディネーターの活動支援及び活動の活性化を図るための研修・ミーティングを実施しています。

また、学校支援センターが事務局となり、各校のボランティアコーディネーター、市内連携団体の代表、学校長の代表が情報交換をする場として「学校支援連絡会」を開催しています。

② ボランティアコーディネーター

学校と地域ボランティアとのかけ橋となるボランティアコーディネーターは、学校のニーズに応じ、必要な学校支援ボランティア人材の手配及び調整、市内連携団体をはじめとした外部団体との連絡調整などを行います。

③ 地区統括ボランティアコーディネーター

地域で子どもの成長を支えるため、学校を核として地域人材を活用し、地域の教育力の強化を目指しています。そのために、市内の小・中学校を10地区に分け、各地区のボランティアコーディネーター等との連絡・相談や地区内の情報共有を目的とした地区ミーティングの開催などを担う地区統括ボランティアコーディネーターを配置しております。

地区統括ボランティアコーディネーターの配置により、人材情報や活動内容の情報共有を進め、地区内の学校の連携強化と地域学校協働活動の推進を図ります。

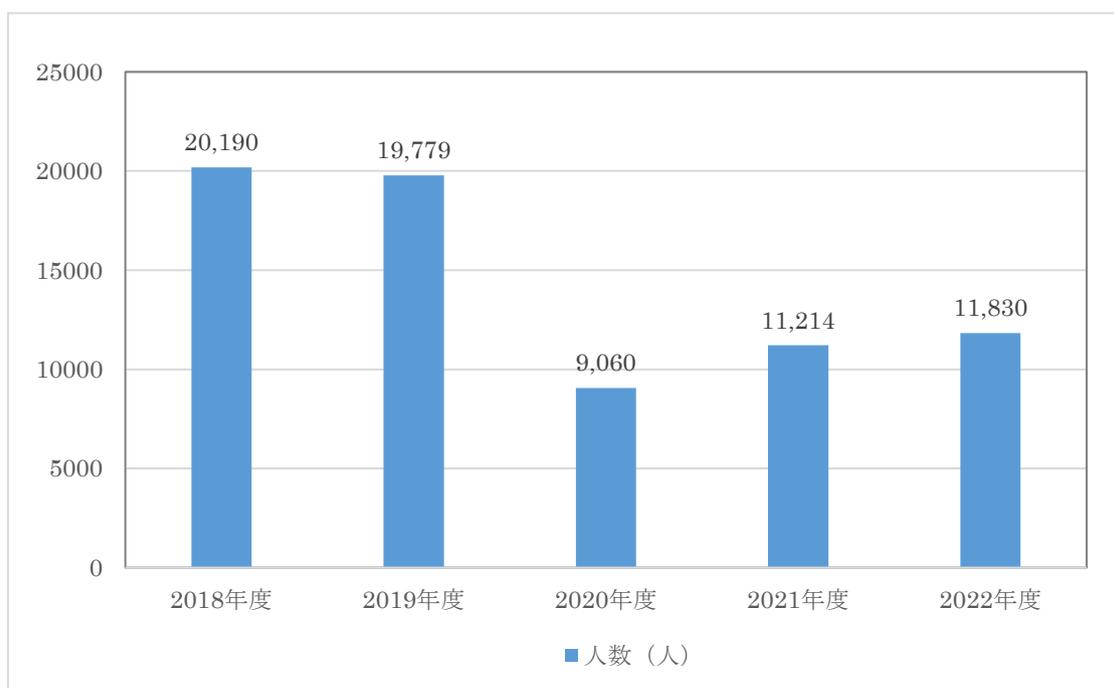
④ 学校支援ボランティア

学校支援ボランティアとは、学校の教育活動に地域の教育力を活かすため、ボランティアとして学校をサポートする保護者、地域の方々、学生、団体及び企業などのことです。このボランティアの力を教育活動に積極的に生かして「地域とともに子どもを育てる」取組を実施しています。

学校支援ボランティアは、国語、算数・数学などの教科や、道徳、総合的な学習、特別活動等での学習活動、さらに、食育、環境学習、キャリア教育、放課後学習をはじめ、委員会・クラブ・部活動指導、農業体験等の体験活動、学校花壇の整備、登下校安全指導といった、学校ニーズに対応した幅広い分野で学校の教育に携わっています。

2022年度の学校支援ボランティア活動者数は11,830人で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による活動機会が減少した2020年度から、引き続き緩やかに増加しています。

学校支援ボランティア活動者数の推移（過去5年間）



8. 教育のための支援

保護者の経済的負担を軽減し、教育の振興を図るため、各種の支援を行っています。

(1) 就学援助

就学援助制度は、経済的理由により就学困難な家庭の子どもたちも等しく教育が受けられるよう援助を行うものです。対象は、小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者で、生活保護受給世帯（要保護者）及びこれに準ずる程度に生活に困っている世帯（準要保護者）です。

2022年度 支給費目別支給額実績

支給費目	対 象					備 考
	要*	準*	学年	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	×	○	小全学年	2,353	30,511	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
			中全学年	1,447	33,902	
入学準備金	×	○	小1年	301	4,823	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費（22年度は支給単価改定による差額相当額の支給を実施）
			中1年	65	3,900	
入学準備金 入学前支給	×	○	就学予定者	325	17,569	
			小6年	419	25,140	
修学旅行費	○	○	小6年	430	13,307	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
			中3年	517	29,170	
校外活動費	○	○	小全学年	2,115	7,048	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
			中全学年	1,011	2,914	
移動教室費	○	○	小5年	411	6,873	小学5年生、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
			中1・2年	525	23,448	
通学費	○	○	小全学年	50	872	通学距離が概ね小学校1.5km、中学校2km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の実費（定期代を上限）を補助します。ただし、特別支援学級在籍の児童・生徒については、距離は問いません（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。
			中全学年	34	1,533	
給食費	×	○	小全学年	2,321	99,536	児童・生徒の給食費として保護者が負担した金額（町田市立小学校及び武蔵岡中は学務課から保健給食課に直接支払い）
			中全学年 喫食者のみ	361	11,735	
医療費	○	○	小全学年	14	45	児童・生徒が結膜炎、中耳炎、う歯など学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する経費
			中全学年	4	8	
体育実技 用具費	×	○	中全学年	165	246	中学校の体育の授業で使用する柔道着、または剣道用具の購入費
卒業 アルバム費	○	○	小6年	461	5,009	児童・生徒の卒業アルバム購入費（上限金額あり）
			中3年	551	3,864	

オンライン 学習通信費	×	○	小全学年	1,831	24,242	児童・生徒の家庭におけるオンライン 学習通信費（1世帯あたり）
			中全学年	813	10,794	

※要・・・要保護者 準・・・準要保護

要保護・準要保護児童・生徒の推移と援助総額（過去5年間）

年度	5月1日現在在籍 児童・生徒数(人)		認 定 者 数(人)		受 給 率	援 助 総 額(千円)
			要 保 護	準要保護		
2018	小学校	22,408	349	2,542	12.9%	208,092
	中学校	10,475	211	1,463	16.0%	106,616
2019	小学校	22,027	329	2,519	12.9%	209,313
	中学校	10,297	188	1,468	16.1%	109,748
2020	小学校	21,573	315	2,401	12.6%	185,645
	中学校	10,340	182	1,476	16.0%	60,582
2021	小学校	21,244	288	2,385	12.6%	232,810
	中学生	10,268	203	1,450	16.1%	120,978
2022	小学校	20,958	278	2,340	12.5%	234,980
	中学生	10,252	172	1,447	15.8%	121,519

（2）通学費補助制度

通学距離が概ね小学校 1.5 km、中学校 2 km以上で、公共の交通機関を利用して通学している児童・生徒の保護者に交通費の一部を補助します（指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除きます）。

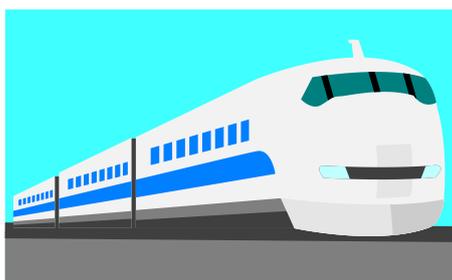
なお、1か月の定期代の1/2だった補助率を、2013年度から2/3に引き上げました。



(3) 校外学習への補助事業

校外学習で使用するバス借上料や修学旅行の交通費を補助しています。

区分	対象	補助内容
集団宿泊行事	小学6年生	日光林間学校のバス借上料を補助しています。
修学旅行	中学3年生	修学旅行の交通費を補助しています。
移動英語教室	中学1年生 中学2年生	移動英語教室のバス借上料を補助しています。



(4) 特別支援学級の就学奨励

小・中学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図るため援助を行っています。保護者の経済状況により、支給費目が異なります。

2022年度 支給費目別支給額実績

支給費目	小学校		中学校		備 考
	人数 (人)	支給額 (千円)	人数 (人)	支給額 (千円)	
学用品 通学用品費	261	3,416	121	2,880	児童・生徒が通常必要とする学用品及び通学用品の購入費
入学準備金 (小1年、中1年)	23	1,175	45	2,609	小・中学校に入学する児童・生徒が入学時に必要とする学用品及び通学用品の購入費
修学旅行費 (小6年、中3年)	38	1,082	38	2,149	児童・生徒が修学旅行に参加するため直接必要な交通費、宿泊費、見学科、記念写真代、医薬品代、旅行傷害保険料などの経費
校外活動費	231	1,041	96	371	児童・生徒が遠足、社会科見学等に参加するため直接必要な交通費、見学科などの経費
移動教室費 (小5年、中1・2年)	42	689	45	2,205	小学5年生、中学1・2年生の宿泊を伴うもので、援助対象は修学旅行と同じ経費
通学費	71	927	39	1,489	通学にかかる費用の実費(ただし上限あり)の補助(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
給食費	255	10,845	67	2,338	児童・生徒の給食費として保護者が負担した経費(町田市立小学校は学務課から保健給食課に直接支払い)
職場実習交通費 (中学校)	-	-	6	15	生徒が教育課程に従い学校長の管理のもとに、学校外の事業所等において職業教育のための実習に参加する場合の交通費
交流学习交通費	29	5	175	220	特別支援学校または他の小・中学校特別支援学級の児童・生徒と集団活動を行う場合の交通費
宿泊訓練費	341	2,918	209	3,987	特別支援学級の行事として行われる宿泊訓練に直接必要な交通費、宿泊費、見学科等
保護者付添通学費	19	572	8	44	児童・生徒の通学に保護者が付添い、バス・電車の交通機関を利用する場合の交通費(指定校変更者、区域外就学者、通学区域緩和制度利用者を除く)
脳波検査料	1	0.4	1	0.2	医療機関において脳波検査を受けた場合の、保険診療の自己負担額
卒業アルバム費 (小6年、中3年)	48	523	41	278	児童・生徒の卒業アルバム購入費(上限金額あり)
オンライン学習 通信費	252	3,378	115	1,593	児童・生徒の家庭におけるオンライン学習通信費(1世帯あたり)

9. 学校給食

町田市の小学校給食は、1947年12月に町田小学校（現町田第一小学校）で週1回のみそ汁給食から始まりました。1955年から徐々に完全給食に移行し、1963年に鶴川地区に最初の共同調理所（1979年廃止）が設置されて、全小学校で完全給食が実施されるようになりました。また、1980年代から1990年代にかけて、児童数の増加に伴う小学校の新設時には、他校の給食室で調理した給食を配送する親子方式を実施しました。現在、小学校42校で自校方式の完全給食を実施しており、うち29校は民間活力を活用した調理業務委託を行っています。

中学校給食は、給食を希望する生徒に業者が調理した給食を提供する弁当併用外注方式により、2005年9月から一部の学校で開始し、2009年5月から全校で実施しています。武蔵岡中学校については、2012年度から大戸小学校との小中一貫校（小中一貫ゆくのき学園）となったことに伴い、自校方式による給食を実施しています。

（1）指導目標

現在の学校給食は、学習指導要領で、特別活動の中の学級活動に位置付けられています。給食指導では、食事の正しいあり方を体得させるとともに、食事を通して好ましい人間関係を育て、児童・生徒の心身を健全に発達させることなどを目標としています。

（2）栄養管理

学校給食では、文部科学省が定める**学校給食摂取基準***を満たすよう栄養管理を行っています。献立は、小学校は各学校の栄養士が、中学校は教育委員会事務局の栄養士が作成しています。

※学校給食摂取基準

厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」を参考とし、その考え方を踏まえるとともに、文部科学省が2007年度に行った「児童生徒の食生活等の実態調査」や独立行政法人日本スポーツ振興センターが行った「平成19年度児童生徒の食事状況調査」等の結果を勘案して、文部科学省が児童・生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養量を算出したものです。

児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準（令和3年2月12日文部科学省告示第10号による）

区分	基準値			
	児童(6歳～7歳)の場合	児童(8歳～9歳)の場合	児童(10歳～11歳)の場合	生徒(12歳～14歳)の場合
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30%			
ナトリウム(食塩相当量) (g)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム (mg)	290	350	360	450
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
鉄 (mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA (μgRAE)	160	200	240	300
ビタミンB ₁ (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB ₂ (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	25	30	35
食物繊維 (g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

（３）地場農産物の活用・食育

小学校給食では、日々の給食に地場農産物を積極的に活用しています。2022年12月には、町田市農業協同組合と連携協定を締結し、時季を問わず地場農産物を活用することを目的として、協同して地場農産物加工品の開発及び給食への提供に取り組んでいます。これまで、町田市内で生産された白菜を加工した「白菜キムチ」、花ゆずを加工した「ゆずはちみつゼリー」を開発し、給食で提供しています。

また、2023年1月からカゴメ株式会社と共同して、同社が提供する野菜摂取量を推定できるデジタル機器「ベジチェック®」を活用した食育授業を試行的に実施しました。この食育授業では、「ベジチェック®」で、児童の野菜摂取量を測定し数値を可視化した上で、野菜について楽しく学び、野菜を摂取することの良さを学ぶことができる内容としました。児童の野菜摂取量の上昇や野菜摂取に意欲的になったといった効果があったことから、2023年度から本格的に実施していきます。

（４）衛生管理

小学校給食では、安全性の確保に特に注意し、町田市保健所と学校薬剤師の協力を得て、衛生検査や給食従事者等の研修会等を開催しています。食材については、細菌、添加物、農薬等の検査を実施しています。

また、小学校給食では、給食室改修時に施設のドライ化を実施するとともに給食室のドライ運用を進めています。直近では、2020年度に南成瀬小学校の給食室をドライ施設に改修しました。

中学校給食では、文部科学省が制定する学校給食衛生管理基準及び都通知に準拠した町田市立中学校給食衛生管理基準を作成し、業者指導を行っています。市の栄養士は、随時調理施設に赴き、基準どおり履行されているか確認しています。



※ドライ運用とは・・・

給食調理施設の床に水や食品をこぼさずに、乾いた状態で調理や洗浄作業を行うことです。高温多湿による細菌やカビの繁殖を抑制できたり、床からの跳ね水による食品への食中毒菌の二次汚染を防いだりすることができます。

（５）食物アレルギー対応

小学校では「小学校給食における食物アレルギー対応の手引き(2021年3月改訂版)」に沿って、食物アレルギーを有する児童に適切に対応しています。

(6) 給食費

給食費は、「町田市立小学校等の学校給食費に関する規則（小学校及び武蔵岡中学校）」「町田市立中学校の学校給食費等に関する規則（武蔵岡中学校を除く中学校 19 校）」で次の表のとおり定めています。市立小学校及び武蔵岡中学校の給食費は、公会計化を導入し、町田市が管理しています。

2021 年度の後半から、油や穀物類をはじめとして食材価格が上昇していきましたが、国の交付金の活用や、調理方法の変更や使用する食材の選択の工夫などにより、価格高騰分について保護者に負担を求めず給食を提供しました。

小・中学校給食費保護者負担額

学年 金額	1・2年生	3・4年生	5・6年生	中学生
1食単価	230円	245円	265円	310円

(7) 中学校給食利用促進

生徒の健全な成長に必要な栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できる環境を整え、その普及に努めるとともに、食育に役立つ情報を提供しています。

普及促進の取組み（2022 年度）

面白く ためになる献立の実施
<p>◆朝食レシピコンテスト優秀作品を給食で提供</p> <p>2021 年度及び 2022 年度町田市立小・中学校朝食レシピコンテスト優秀作品を給食で提供しました。生徒考案のレシピを給食で実施することで、給食への興味関心を高めること、朝食レシピコンテストへの参加意欲を促すことを目指しました。</p> <p>◆ゼルビア×キッチンコラボ献立の PR</p> <p>給食の利用促進を目的として、2022 年 4 月・5 月にゼルビア×キッチンとのコラボ給食を実施することを、中学校 1，2 年生および小学校 6 年生全員にチラシを配布しました。チラシには、選手からの食と健康に関するメッセージをみることができる QR コードを掲載し、生徒や保護者の興味を引くことができるよう工夫しました。</p> <p>◆うみのごちそう給食～海と湖の恵みを味わおう～の実施</p> <p>11 月から 2023 年 2 月まで、月に 1 回（計 4 回）中学校給食で、全国から産地直送で取り寄せた新鮮でおいしい魚介類を主菜に使用した献立を提供しました。併せて、魚食の良さや生産・流通の過程などをチラシや動画で提供し、生徒が家庭で実践できる取り組みにもつながるよう工夫しました。</p> <p>◆「ジョーイチくんの推しメニュー♪」の提供</p> <p>2023 年 3 月の献立で、石阪丈一市長が、「ぜひ中学生に食べてもらいたい」とおすすめする「大分名物・とり天」を、市長の名にちなんだ「ジョーイチくんの推しメニュー♪」として、提供しました。併せて、今の中学生が生まれた頃から市長として執務し続けている市長の「食のこだわりや気を付けていること」のメッセージを紹介しました。</p>

「まちだの中学校給食センター計画」の策定

成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供するため、給食センター方式による全員給食実施に向けて「まちだの中学校給食センター計画 ～おいしく食べて 地域みんなで健康に！～」を策定しました。

（８）町田市学校給食問題協議会

町田市学校給食問題協議会は、教育委員会の附属機関です。本協議会は、町田市の学校給食の望ましいあり方を確立するために、学校給食に関する諸問題について教育委員会の諮問を受け、調査・協議し、学校給食事業の適正かつ円滑な運営に寄与しています。

町田市給食問題協議会の答申（過去５年間）

答申日・答申名	内容（骨子）
2020年2月19日 ・中学校給食について ・小学校給食の衛生管理について －答申－	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校給食をより良いものとし、生徒・保護者が中学校給食を利用しやすい環境についての改善策を提案。 ◆小学校給食の食器洗浄において、従来の洗浄作業では取り除くことが困難なでんぷん汚れを落とすための改善策について提案。
2021年1月20日 ・新たな中学校給食の提供方式について －答申－	<ul style="list-style-type: none"> ◆「新たな中学校給食の提供方式」について、成長期の中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供できる実現性の高い提供方式として、「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」にて進めることについて提案。
2023年2月10日 ・中学校全員給食実施に伴う各学校の給食運営について －一次答申－	<ul style="list-style-type: none"> ◆中学校全員給食の実施に当たっては、以下の点に考慮した上で、生徒が安心・安全に給食を喫食できるよう、各学校と教育委員会が連携して中学校給食を運営するよう提案。 ・給食日数は、180日～185日程度を基本とし、定期試験期間中は、学校の要望に応じて給食を提供できる体制を整えること。 ・給食時間は、30分（目安として、準備10分、喫食15分、片付け5分）を基本とし、昼休憩時間20分と併せて、生徒の準備・運搬・配膳の力等に応じて柔軟に対応すること。 ・食物アレルギー対応は、安全性を最優先とすること。食物アレルギー対応食の献立を作成し、それによる給食提供を基本とすること。 ・生徒及び教職員の負担軽減のため、給食を給食センターから中学校の各階まで届けるものとし、クラス別に運搬しやすい状態にしておくこと。

10. 学校保健

学校保健は、健康診断やその他の検査を通して子どもたちの健康の保持・増進を図るとともに、子どもたち自身に健康診断などの意義や目的を認識してもらい、自らが健康を守るという意識を育てていくことを目的としています。

(1) 定期健康診断

全児童・生徒を対象とした定期健康診断を実施しております。身体測定、内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科の検診に加え、心臓病、腎臓病、結核などの検診を実施し、病気の予防と早期発見に努めています。以下の結果表のデータは各検診実施時点のものです。

① 各種診断・検査

2022年度 身体計測平均値（市・都・全国平均値比較）

種別	性別	年齢	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
		項目									
身長 (cm)	男	町田市平均	116.8	122.8	128.3	134.0	139.1	145.9	153.6	160.8	165.7
		都平均	117.6	123.2	129.0	134.2	139.5	146.2	154.4	161.3	166.4
		全国平均	116.7	122.6	128.3	133.8	139.3	145.9	153.6	160.6	165.7
	女	町田市平均	115.9	121.8	127.4	134.0	141.2	147.8	152.2	155.0	156.8
		都平均	116.3	122.4	128.1	134.3	140.7	147.5	152.9	155.8	156.9
		全国平均	115.8	121.8	127.6	134.1	140.9	147.3	152.1	155.0	156.5
体重 (kg)	男	町田市平均	21.6	24.5	27.4	31.2	34.7	39.5	44.6	49.0	53.8
		都平均	22.1	24.4	27.8	31.2	34.5	39.7	45.7	50.3	55.4
		全国平均	21.7	24.5	27.7	31.3	35.1	39.6	45.2	50.0	54.7
	女	町田市平均	21.1	23.7	26.8	30.5	35.0	40.0	43.4	46.9	49.5
		都平均	21.3	24.1	27.0	30.1	34.6	39.5	44.3	47.7	49.7
		全国平均	21.2	23.9	27.0	30.6	35.0	39.8	44.4	47.6	50.0

※都平均・全国平均は文部科学省実施「令和3年度学校保健統計調査」の結果より



2022 年度 定期健康診断疾病状況

項 目		男		女	
		小	中	小	中
1 在籍者数		10,847	5,224	10,111	5,028
2 受診者数		10,506	4,972	9,817	4,784
3 栄養状態	(1)栄養不良	4	2	9	2
	(2)肥満傾向	131	51	72	28
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数	116	155	130	203
	(1)脊柱側弯症・脊柱異常	79	120	106	182
	(2)胸郭異常	9	20	4	6
	(3)四肢異常	32	17	20	16
5 視力	裸眼視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計			
		10,621	4,416	9,718	3,872
	(1)1.0以上	6,950	2,145	6,006	1,671
	(2)1.0未満0.7以上	1,402	597	1,314	515
	(3)0.7未満0.3以上	1,207	833	1,272	736
	(4)0.3未満	1,062	841	1,126	950
	(1)～(4)のうち眼鏡・コンタクト装用者	852	709	1,036	956
	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者	225	591	318	913
6 眼疾患	受診者	10,333	4,922	9,947	4,745
	疾病・異常者数	531	251	438	216
	(1)感染性眼疾患	0	0	0	2
	(2)アレルギー性眼疾患	257	213	183	187
	(3)その他の眼疾患	290	41	276	30
7 聴力	受診者	7,065	3,461	6,525	3,306
	難聴	57	18	55	17
8 耳鼻咽喉 科疾患	受診者	10,662	4,931	9,935	4,722
	(1)耳疾患	998	497	969	342
	(2)鼻・副鼻腔疾患	1,476	971	849	588
	ア アレルギー性鼻疾患	1,120	892	650	565
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	358	84	205	26
(3)口腔咽喉頭疾患	38	7	22	6	
9 皮膚疾患	(1)感染性皮膚疾患	1	0	1	0
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)	164	245	133	204
	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)	85	18	82	21
	(4)その他の皮膚疾患	29	4	36	4
10 結核	受診者	10,792	4,941	10,052	4,766
	(1)結核患者	0	0	0	0
	(2)精密検査対象者	10	4	10	2
11 心臓	受診者(心電図検査)	1,746	1,739	1,650	1,631
	(1)心臓疾患	99	65	99	78
	(2)心電図異常	9	16	6	17
12 検尿	受診者	10,794	5,062	10,057	4,854
	(1)尿蛋白検出	18	96	41	66
	(2)尿糖検出	5	3	9	6
13 その他	(1)気管支喘息	274	154	202	144
	(2)腎臓疾患	23	34	20	29
	(3)言語障害	23	4	16	1
	(4)その他の疾病・異常	74	50	55	49

項 目			男		女		
			小	中	小	中	
14 歯科	(1) 歯科受診者		10,695	4,979	9,978	4,784	
	(2) う歯・要観察歯	乳歯又は永久歯のう歯	ア 処置完了者	1,717	623	1,455	747
		久歯のう歯	イ 未処置歯のある者	1,566	595	1,289	568
		ウ 永久歯のう歯経験者		841	1,110	808	1,229
		エ 乳歯又は永久歯に要観察歯のある者		566	537	501	623
	(3) 歯肉の状態	ア 歯周疾患		104	133	108	51
		イ 歯周疾患要観察者		866	754	691	424
	(4) 歯列・咬合の異常			244	257	266	184
	(5) 顎関節の異常			10	5	16	8
	(6) 歯垢の状態			411	278	309	189
	(7) その他の歯・口腔の疾病・異常			86	38	77	13
	(8) 永久歯のう歯の内容	ア 未処置歯数(D)		232	307	200	301
イ う歯による喪失歯数(M)		0	8	0	2		
ウ 処置歯数(F)		286	659	323	579		

注) 定期健康診断結果のほか保健調査等により把握している慢性疾患も含まれる

注) 「2 受診者数」は、学校医による内科健診の受診者数

注) 「7 聴力」は、小学校1・2・3・5年生及び中学校1・3年生が対象

注) 「11 心臓」は、小学校1年生及び中学校1年生が対象

注) 「14 歯科(8)永久歯のう歯内容」は、小学校6年生及び中学校1年生が対象

資料 学校教育部保健給食課(東京都教育委員会実施「令和4年度定期健康診断疾病異常調査」における町田市立学校の結果)

② 結核検診

小・中学校の児童・生徒全員の中から問診票を使用して精密検査の対象者を選別し、X線撮影による精密検査を実施しています。

2022年度 結核検診状況 (人)

区 分	対象者	問診調査 実施者	精密検査 対象者数	精密検査 受検者数	結果
					異常のあった者
小学校	20,958	20,778	27	27	0
中学校	10,252	10,057	8	8	0
合 計	31,210	30,835	35	35	0



③ 心臓検診

小学1年生と中学1年生全員、及び校医が必要と認めた他学年の児童・生徒に、心電図による検査を行っています。

2022年度 心臓検診状況 (人(%))

区分	対象者	一次検診				二次検診	
		受診者数	異常なし	病院管理者数	要二次検診者	受診者数	要病院受診・要精検者数
小学校 (1年生)	3,413	3,389	3,275	68	27 (0.8)	27	0
〃 (その他)	17,545	46	33	2	4 (8.7)	4	0
小学校 小計	20,958	3,435	3,308	70	31 (0.9)	31	0
中学校 (1年生)	3,419	3,367	3,225	36	50 (1.5)	49	2
〃 (その他)	6,833	50	32	2	9 (18)	8	0
中学校 小計	10,252	3,417	3,257	38	59 (1.7)	57	0
合計	31,210	6,852	6,565	108	90 (1.3)	88	2

※ 要二次検診者率は一次検診受診者数に対するもの

④ 尿(腎臓)検査

児童・生徒全員に尿検査を実施しています。

2022年度 尿検査状況 (人(%))

区分	対象者	一次検査		二次検査	
		被検査者	陽性者	被検査者	陽性者
小学校	20,958	20,836	264 (1.28)	241	83 (0.40)
中学校	10,252	9,901	502 (5.07)	421	162 (1.64)
合計	31,210	30,737	766 (1.88)	662	245 (0.80)

※ 陽性者率は一次被検査者数に対するもの

(2) 学校環境衛生の確保

子どもたちが良好な環境の中で学習できるように、「学校環境衛生基準」に基づく各種環境衛生検査を実施しています。

＜定期検査項目の例＞

- ・換気及び保温等の検査（年1～2回）
- ・採光及び照明の検査（年2回）
- ・飲料水水質検査（年1回）
- ・プール水質検査（7～9月のプール実施月に1回）

(3) 町田市学校保健会

町田市学校保健会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、養護教諭、栄養士によって構成されています。小・中学校における学校保健の研究及びその普及のため、意見交換・表彰・研究発表・研修会の実施・機関紙の発行等の積極的な活動をしています。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校安全の普及・充実を図るとともに、学校管理下における子どもたちの負傷、疾病などに対して給付を行う災害共済給付制度を設けています。町田市では、児童・生徒全員がこの制度に加入しており、その共済掛金を公費で負担しています。

2022年度 日本スポーツ振興センター加入及び医療費の給付状況

区分	加入状況（人）	医療費の給付状況	
		給付件数（件）	給付額（円）
小学校	20,958	1,075	6,961,122
中学校	10,252	1,140	7,563,999
合計	31,210	2,215	14,525,121

2021年度以前に発生した災害に対する給付も含まれています。

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応

学校における新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2022年度は186件の臨時休業措置を行いました。また、保護者・学校への迅速な通知・連絡等を行い、学校内の感染防止に努めました。

1 1. 新たな学校づくり

「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下、推進計画）に基づき、児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化という問題に対応しながら、未来の子どもたちにより良い教育環境をつくとともに、学校を地域の活動拠点として幅広く利用できる場所「子どもも大人も ともに学び、ともに育つ 学び舎」にしていく取り組みです。

(1) 適正規模・適正配置

より良い教育環境をつくり、充実した学校教育の実現に向けて、学校ごとの学級数や学校施設機能といった教育環境の違いがもたらす学校教育上、学校経営上の課題を解決するために、適正規模・適正配置を推進します。

① 適正規模

町田市立学校における適正規模の定義を「1学年あたりの望ましい学級数」とし、小学校で3学級から4学級、中学校で4学級から6学級を基本的な考え方としています。

② 適正配置

「通学時間」がおおむね30分程度、「通学距離」が徒歩でおおむね2km程度を目安に通学できることを基本的な考え方としています。



(2) 新たな通学区域及び学校の統合

推進計画では、より良い教育環境を実現するために、市立小学校を42校から26校、市立中学校を20校から15校に統合する目標を掲げています。

具体的には、2040年度までに実現することを目指す「新たな通学区域」「学校候補地」、及び新校舎で教育活動を開始する「新校舎使用開始目標年度」を定めています。

① 新たな通学区域一覧表

	通学区域(中学校区)	通学区域(小学校区)	通学区域となる町区域
堺地区	1 堺 武蔵岡	1 相原 大戸	相原町
		2 小山ヶ丘	小山ヶ丘6丁目、小山ヶ丘4～5丁目の一部、小山町の一部
	2 小山	3 小山	小山町の一部
		4 小山中央	小山ヶ丘1～3丁目、小山ヶ丘4～5丁目の一部、小山町の一部
忠生地区	3 忠生 小山田	5 忠生 山崎※1 図師	図師町、忠生1～4丁目、根岸1～2丁目、根岸町、矢部町
		6 小山田 小山田南	小山田桜台1～2丁目、上小山田町、下小山田町、常盤町
	4 木曾	7 忠生第三 木曾境川	木曾西1～5丁目、木曾東1～4丁目、木曾町
鶴川地区	5 鶴川	8 鶴川第一 大蔵	大蔵町、小野路町、野津田町の一部
	6 鶴川第二 真光寺	9 鶴川第二 鶴川第三※2	鶴川1丁目、能ヶ谷1～7丁目、広袴町
		10 鶴川第三※2 鶴川第四	真光寺1～3丁目、真光寺町、鶴川2～6丁目、広袴1～4丁目
		11 三輪	三輪町、三輪緑山1～4丁目
	7 薬師 金井	12 藤の台 金井	金井1～8丁目、金井町、金井ヶ丘1～5丁目、野津田町の一部 薬師台1～3丁目
町田地区	8 町田第一	13 町田第一	原町田5～6丁目、中町1～4丁目
		14 町田第四	旭町1～3丁目、森野1～6丁目
	9 町田第二	15 町田第二	原町田1～4丁目
		16 町田第六 南大谷 高ヶ坂	高ヶ坂1～7丁目、東玉川学園3～4丁目、南大谷
	10 南大谷	17 町田第五	玉川学園1～8丁目
		11 町田第三 山崎	18 町田第三 本町田東 本町田
19 山崎※1 七国山	山崎1丁目、山崎町		
南地区	12 南	20 南第一	金森4～5丁目、南町田1～5丁目
		21 南第三 南第四	金森1～3、6～7丁目、金森東1～4丁目
		22 つくし野 南つくし野	小川6～7丁目、つくし野1～4丁目 南つくし野1～4丁目
	13 つくし野	23 鶴間	鶴間1～8丁目
		14 成瀬台	24 成瀬台 成瀬中央
	15 南成瀬		25 南第二 南成瀬
		26 小川	小川1～5丁目、成瀬が丘1～3丁目

※1 統合時に、山崎小学校区の学区の一部を図師小学校区と七国山小学校区に分割統合

※2 統合時に、鶴川第三小学校区の学区の一部を鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合

② 新校舎使用開始目標年度

小学校

項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地※1	基本計画検討着手 目標年度※2	新校舎使用開始 目標年度※3	(参考) 想定統合年度※4
1	本町田東	○	2021	2028	2025
	本町田				2028
	町田第三				2025
2	南第二	○	2021	2028	2025
	南成瀬				
3	鶴川第二	○	2021	2029	2026
	鶴川第三※5				
4	鶴川第三※5		2021	2029	2026
	鶴川第四	○			
5	南第一	-	2022	2030	-
6	小山田		2024	2031	2031
	小山田南	○			
7	忠生		2025	-	2030
	山崎※6				
	函師	○			
8	町田第二	-	2025	2032	-
9	山崎※6		2027	2033	2030
	七国山	○			
10	南第三		2027	2033	2033
	南第四	○			
11	町田第六	○	2027	2034	2031
	高ヶ坂				2036
	南大谷				
12	町田第四	-	2027	2034	-
13	町田第五	-	2028	2035	-
14	鶴川第一	○	2030	-	2032
	大蔵				
15	つくし野	○	2030	2036	2033
	南つくし野				
16	忠生第三	○	2030	2037	2034
	木曾境川				
17	相原	○	2040年度までに検討予定		
	小中一貫ゆくのき学園(大戸)				
18	町田第一	-	2031	2038	-
19	成瀬台		2033	2039	2036
	成瀬中央	○			
20	藤の台		2033	2039	2039
	金井				
	金井スポーツ広場	○			

※1 学校を建設する候補地に「○」を記載。通学区域統合をしない学校の場合は「-」と記載

※2 統合新設校 基本計画検討会で基本計画の検討に着手する目標年度を記載

※3 建替えた学校で授業を開始する目標年度を記載

※4 通学区域が統合となる想定年度を記載。通学区域の統合を段階的に行う可能性がある通学区域は、2段階書きで表記

※5 統合時に、鶴川第三小学校区を鶴川第二小学校区と鶴川第四小学校区に分割統合

※6 統合時に、山崎小学校区を函師小学校区と七国山小学校区に分割統合

※7 統合にあたって、函師小学校を増築工事に対応する想定のため「-」と記載

※8 統合にあたって、鶴川第一小学校の既存校舎を活用する想定のため「-」と記載

中学校

項番	学校名 (候補地名)	学校 候補地※1	基本計画検討着手 目標年度※2	新校舎使用開始 目標年度※3	(参考) 想定統合年度※4
1	薬師 金井	○	2024	2030	2027
2	町田第三 山崎 木曾山崎公園	(○) ○	2025	2031	2031
3	南成瀬	-	2025	2031※5	-
4	鶴川第二 真光寺	○	2030	2036	2036
5	南	-	2031	2037	-
6	堺 小中一貫ゆくのき学園(武蔵岡)	○	2040年度までに検討予定		
7	忠生 小山田	○	2033	2040	2037

- ※1 学校を建設する候補地に「○」を記載。なお、学校が設置されていない候補地(学校用地を除く)は、実現可能性も含めた検討・調整が必要となることから、学校が設置されている候補地の中から次点となる候補地として「(○)」を付して記載。通学区域統合をしない学校の場合は「-」と記載
- ※2 統合新設校 基本計画検討会で基本計画の検討に着手する目標年度を記載
- ※3 建替えた学校で授業を開始する目標年度を記載
- ※4 通学区域が統合となる想定年度を記載
- ※5 長寿命化改修工事に対応を想定

(3) 新たな学校の運用体制

学校を地域の活動拠点にするとともに、教員が教育活動に専念できる環境にするため、民間活力を導入する取り組みを進めています。学校施設の維持管理や子どもが使わない時間の特別教室等の活用、教育活動の支援に民間のノウハウを活用します。



生涯學習



1. 生涯学習

生涯学習とは、市民一人一人が生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所において主体的に行う学習活動の総称です。内容は教養的なものだけでなく、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、地域社会における防災や環境、福祉など、幅広い分野を網羅します。また、学習の形態も、個人学習や公共機関が実施する講座の受講をはじめ、民間のカルチャーセンターやスポーツクラブでの活動、仲間とのサークル活動など、多岐にわたります。

行政が行う「生涯学習の推進」とは、「市民の学習活動を支援すること」を指します。市民の生涯学習をより良い地域社会づくりにつなげていくため、関係機関と連携した各種事業の実施や情報の提供のほか、市民相互の学び合いの促進、市民が学んだ成果を地域に還元できるような仕組みの構築などの支援を行っています。

(1) 生涯学習審議会

生涯学習審議会は、教育委員会の附属機関として2012年度から設置されています。生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案、施策及び事業の評価について、教育委員会の諮問を受け、調査、審議し、答申をします。

委員は15人以内で、町田市社会教育委員が8人以内、生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表が5人以内、公募による市民が2人以内です。委員の任期は2年です。

生涯学習審議会の答申

答申名	日付	内容(骨子)
町田市における生涯学習の進め方について —答申—	2013. 7. 2	町田市教育プランを改定するにあたり、現代社会において生涯学習の押さえるべき要点、町田の現状を踏まえた課題及び解決策の提案。
地域社会の課題に対応する生涯学習のさらなる充実に向けた仕組みについて —答申—	2016. 3. 18	地域課題に対応した生涯学習を推進するうえでの生涯学習行政の役割及び課題の整理、今後進めるべき施策の方向性、具体的な手だての提案。
今後の生涯学習施策の進め方について —答申—	2018. 3. 8	社会状況の変化を踏まえた生涯学習の意義や生涯学習行政の使命、生涯学習施設の課題等の整理、今後重点的に取り組むべき生涯学習施策の提案。
今後の町田市民文学館のあり方について —答申—	2018. 10. 17	行政経営改革プラン及び町田市公共施設等総合管理計画を踏まえた文学館の存在意義や存廃、適正な管理運営手法の提案。
今後の町田市立図書館のあり方について —答申—	2019. 1. 9	行政経営改革プラン及び町田市公共施設等総合管理計画を踏まえた今後の町田市立図書館の目指すべき姿や、図書館の再編を進めるうえでの留意点の提案。

今後の町田市生涯学習センターに求められる役割について —答申—	2020. 3. 12	社会状況の変化を踏まえた生涯学習センターの現状及び課題の整理、今後担うべき役割や事業内容についての提案。
今後の町田市立自由民権資料館のあり方について —答申—	2020. 11. 17	行政経営改革プラン及び町田市公共施設等総合管理計画を踏まえた自由民権資料館の現状及び課題の整理、目指すべき姿や運営体制の提案。
今後の町田市生涯学習センターのあり方について —答申—	2021. 11. 18	行政経営改革プラン及び町田市公共施設等総合管理計画を踏まえた今後の町田市生涯学習センターの目指すべき姿や管理運営手法の提案。

(2) 社会教育委員

社会教育委員は、教育委員会への提言や社会教育に関する調査や審議を行います。また、青少年教育に関する特定の事項について社会教育関係団体や社会教育指導者に対し、助言と指導を与えることができます。

委員は8人以内で、任期は2年です。

社会教育委員の答申・提言（一部）

答申・提言名	日付	内容（骨子）
町田の地域活動を活性化させるための生涯学習プログラム～学校の特別教室を利用した生涯学習クラブの設立～ —提言—	2006. 4. 25	社会教育を取り巻く課題、市内の活動事例、事例を踏まえた生涯学習の方向の提示。学校の特別教室を活用した生涯学習プログラムの提言。
子ども行政一元化に向けた組織改正に関わる青少年教育について —提言—	2008. 2. 7	青少年教育施策を市長部局に移管するにあたり、施策の推進に向けた視点の提言。
今後の生涯学習施策について —提言—	2008. 4. 22	文化・スポーツ及び青少年教育施策を市長部局に移管するにあたり、施策の推進に向けた視点の提言。
町田市における生涯学習センターの機能、学習機会の提供のあり方について —答申—	2010. 3. 26	町田市の生涯学習センターの理念、機能と具体像の提示、それらの実現に向けた施策等の提案。
町田市生涯学習センターへの提言 —提言—	2012. 3. 27	「生涯学習」の再定義、町田市生涯学習センターの進むべき方向、まちづくりへの参画のためのプロジェクト、社会教育委員の役割の提言。

2. 歴史・文化財

町田市には縄文時代の遺跡をはじめ、先人の遺した多くの文化財があります。しかし、近年の宅地開発や土地区画整理、生活様式の変化によって遺跡などの埋蔵文化財、古い建造物、古文書、民具などの有形文化財や、郷土芸能などの無形文化財が失われつつあります。これらの文化財は、先人の生活ぶりを正しく知るための手掛かりとなるものです。町田市では1960年、町田市文化財保護条例を制定し、失われつつある文化財の保護に努めるとともに、郷土の歴史・文化を未来へ継承するため、資料の収集・保存、展示、調査・研究等を行っています。2015年には、町田市文化財保護条例を改正して登録文化財制度を導入し、より広範囲の文化財を保護の対象としました。また、2022年4月から、インターネット上で町田の歴史・文化財を紹介する「町田デジタルミュージアム」を公開しました。

(1) 自由民権資料館

明治10年代、全国各地で自由と権利を求めた運動が盛り上がり、薩長を中心とした明治藩閥政治に対して国会開設・憲法制定・地租軽減・地方自治などを要求し、その実現を目指した自由民権運動が展開されました。三多摩を含む神奈川県でも活発な動きがあり、なかでも町田市域は石坂昌孝や村野常右衛門、青木正太郎、細野喜代四郎ら有力な指導者を輩出しました。彼らを中心に結社と呼ばれる組織がつくられ、政治学習運動が推し進められました。この運動のなかで、野津田村の村野常右衛門が私財を割き、1883（明治16）年2月に建てたのが「凌霜館（りょうそうかん）」という文武道場でした。

1984年11月にこの凌霜館跡地が子孫の方から町田市に寄付されたことを受け、町田市ではこのゆかりの地に自由民権運動を中心とした資料館を建てるとともに、隣接土地を所有する方の協力を得て、丘陵に続く貴重な緑を守っていくこととなり、1986年11月3日に自由民権資料館が開館しました。自由民権運動や町田市域の歴史を伝えるための展示・講座・資料収集に取り組むとともに、町田市の歴史により興味を持ってもらうため、2022年度に、自由民権運動及び新たに町田の通史を紹介する2つの常設展示をリニューアル公開しました。また、2023年6月27日には、「凌霜館跡地」が町田市指定旧跡に指定されました。

① 施設概要

- 所在 町田市野津田町897
- 電話 042-734-4508
- 構造 鉄筋コンクリート造、地下1階
地上2階建て
- 延床面積 911.15㎡

② 施設内容

- 展示施設 167.30㎡
- 収蔵施設 180.00㎡
- 閲覧室等 116.65㎡



自由民権資料館

③ 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 月曜日（祝休日、振替休日にあたる時は、その翌日）
12月28日～翌年1月4日、特別休館日

④ 資料の収集等

町田を中心に、明治10年代当時に市域の民権家が運動の範囲として考えた三多摩や神奈川県などに対象地域を拡げ、自由民権運動関係資料の収集に努めています。運動に関わる直接の資料をはじめ、書簡、書籍、写真類、当時の新聞・雑誌、あるいは民権家の使ったゆかりの品や、町田市域に関わる古文書類などの資料を収集、整理、保存、管理し、常設展示やテーマを決めた企画展示や市民向けの歴史講座などを実施しています。

また、民権運動を対象とした論文や関連の文献なども、全国的な視点で幅広く収集し、自由民権運動の文献情報センターとしての役割を果たしています。

さらに、資料館の前身の市史編さん室が収集した町田の歴史に関わる資料、周辺地域の各自治体史や歴史書なども同時に収集し、閲覧できる体制を整えています。

2022年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数（日）	入館者数（人）
常設展示 「武相の民権／町田の民権」	135	2,823
常設展示リニューアル ○「自由民権運動と町田」2022年11月3日から ○「町田の歴史ー時代でたどる人びとのくらしー」 2023年2月1日から	123	3,068



自由民権資料館 閲覧室

(2) 考古資料室

考古資料室は、市内の遺跡から発掘された遺物や調査の記録類の保管を主な目的として、1991年3月に竣工し、1993年度から収蔵資料を公開しています。2023年2月には、町田市歴史の特徴の一つである縄文時代の資料を中心に常設展示をリニューアルしました（「縄文のまちだ」展）。

① 施設概要

- 所在 町田市下小山田町4016
- 電話 042-797-9661
- 構造 鉄筋コンクリート造、2階建て
- 延床面積 482.18㎡



考古資料室

② 施設内容

- 収蔵庫 219.8㎡
- 実習室 76.5㎡
- 展示室 35.0㎡

③ 利用案内

- 開館日 毎月第2・4土・日曜日、祝休日（12月28日～翌年1月4日は休館）
※7・8月のみ、毎週土・日曜日、祝休日
- 利用時間 午前10時～午後4時

(3) 三輪の森ビジターセンター郷土資料展示室

三輪の森ビジターセンター内にある郷土資料展示室では、三輪地域で使用されていた水車や木挽きの道具を中心に民俗資料を展示し、そのほか町田市域の生業や暮らしに関する民俗資料の保管をおこなうことを目的に、2018年4月に開室しました。

① 施設概要

- 所在 町田市三輪町740
- 電話 042-724-4399（町田市公園緑地課・お問い合わせは平日のみ）
- 構造 軽量鉄骨造、2階建て
- 延床面積 722.04㎡

② 施設内容

- 収蔵庫 268.3㎡
- 作業室等 43㎡
- 展示施設 33.1㎡



三輪の森ビジターセンター

③ 利用案内

- 利用時間 午前9時～午後4時
- 休館日 月曜日（祝休日、振替休日にあたる時は、その翌日）
12月29日～翌年1月3日

（４）文化財の保護

文化財とは、人間と自然が遺した文化的な遺産であり、歴史上、学術上、芸術上など、様々な観点から優れた価値をもつ「有形の財」「無形の技・芸」です。

① 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、文化財の選定や文化財保護に関する教育委員会の諮問に応じて、調査、審議及び建議するもので、文化財保護条例に基づき設置されています。文化財に関し広くかつ高い識見のある者10人以内で構成しています。

② 埋蔵文化財の調査等

町田市内は遺跡の宝庫です。これまでに約900箇所の遺跡が確認されています。これらの遺跡は、土木工事等によって常に消滅の危機にさらされているため、できる限り保存するように指導を行っていますが、これが不可能な場合は事前に発掘調査の指導を行っています。

③ 指定文化財・登録文化財

町田市内には、多くの重要な文化財が残っています。それらのいくつかは、次の表のとおり、国・都・市の指定文化財及び市の登録文化財になっています。

指定文化財制度では、主に近世以前の学術的、芸術的価値が特に高いと認められる文化財に対して保護を行っています。しかし、近年は、近代以降の文化財の重要性が認識され、また、開発等により文化財消失の危機が広範囲で進行している状況です。そこで、指定文化財制度を補完するものとして2015年4月に登録文化財制度を導入しました。この制度は、指定文化財制度より広範囲の文化財を対象としており、市にとって歴史的な意義のある多くの文化財を保護、周知することを目的としています。

町田市の指定文化財

区分	名称	所在地	指定年月日
国・重要文化財	旧永井家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	1978. 1. 21
都・有形文化財	妙福寺祖師堂	三輪町 811 妙福寺	1961. 1. 31
	無極和尚坐像	下小山田町 332 大泉寺	1961. 1. 31
	観世音菩薩立像	小山町 2524 福生寺	1961. 1. 31
	旧荻野家住宅	野津田町 3270 薬師池公園内	1974. 8. 1
	異形台付土器(2点)	下小山田町 4016 考古資料室	1975. 2. 6
	旧多摩郡小野路村名主小島家文書	小野路町 950 小島資料館	1993. 3. 22
	小野路組合農兵隊関係資料	小野路町 950 小島資料館	2000. 3. 6
市・有形文化財	十六羅漢図	小山町 3629 宝泉寺	1964. 11. 25
	長福寺山門・文珠堂・本堂格天井花丸絵画	相原町 2109 長福寺	1973. 3. 8
	清水寺観音堂・鐘楼・水屋	相原町 701 清水寺	1973. 3. 8
	青木家住宅	相原町 810	1977. 2. 23
	神蔵家住宅	金井(個人住宅のため非公開)	1977. 2. 24
	妙福寺本堂・鐘楼門・高麗門(総門)	三輪町 811 妙福寺	1984. 2. 24
	天神社本殿	南大谷 451 天神社	1984. 2. 24
	阿弥陀三尊像	原町田 3-5-12 勝楽寺	1985. 4. 17
	阿弥陀三尊像	本町田 3654 養運寺	1985. 4. 17
	阿弥陀如来坐像・地藏菩薩立像	相原町 3729 円林寺	1985. 4. 17
	釈迦如来坐像	小山町 3629 宝泉寺	1985. 4. 17
	菩薩立像脇侍像	小山町 2524 福生寺	1987. 11. 13
	誕生釈迦仏立像	成瀬 4-14-1 東雲寺	1987. 11. 13
	聖徳太子立像	鶴間 5-17-1 円成寺	1987. 11. 13
	薬師如来坐像	野津田町 3224 薬師堂	1987. 12. 11
	箭幹八幡宮隨身門	矢部町 2666 箭幹八幡宮	1990. 2. 14
	熊野神社本殿	三輪町 1925-1 熊野神社	1990. 2. 14
	村野常右衛門生家	小野路町 1256-1 他 野津田公園内	1994. 7. 11
	能ヶ谷出土銭遺跡出土品一式	下小山田町 4016 考古資料室	1997. 3. 25
	北条氏照朱印状 永禄5(1562)年7月5日	野津田町 897 自由民権資料館	2010. 12. 22
	北条氏照朱印状 永禄8(1565)年3月20日	野津田町 897 自由民権資料館	2010. 12. 22
	彫刻付大形石棒(忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	2011. 12. 16
	土偶一式(忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	2011. 12. 16
	深鉢形土器(忠生遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	2011. 12. 16
	細野喜代四郎書斎(処静小斎)	* 移築のため部材の状態にて保管中	2011. 12. 16
	隆起線文土器(なすな原遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	2012. 12. 14
	爪形文土器(川島谷遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	2012. 12. 14
	南多摩郡各町村縮図(127枚一括)	野津田町 897 自由民権資料館	2012. 12. 14
	中空土偶頭部(田端東遺跡)	下小山田町 4016 考古資料室	2014. 1. 10

	クルミ形土器（木曾中学校遺跡）	下小山田町 4016	考古資料室	2015. 1. 9
	細野利平家（角屋）ガラス乾板	野津田町 897	自由民権資料館	2015. 1. 9
	村野常右衛門関係史料	野津田町 897	自由民権資料館	2017. 1. 13
	なすな原遺跡出土透かし彫り土製耳飾り一式（12点）	下小山田町 4016	考古資料室	2018. 1. 24
	日枝神社本殿	鶴間 6-21-24	日枝神社	2018. 1. 24
市・無形民俗文化財	金井獅子舞	金井町八幡神社		1963. 10. 22
	丸山獅子舞	相原町諏訪神社		1963. 10. 22
	矢部八幡宮獅子舞	矢部町箭幹八幡宮		1963. 10. 22
	大戸囃子	相原町大戸八雲神社		1963. 10. 22
	三ツ目囃子	小山町三ツ目日枝神社		1963. 10. 22
国・史跡	高ヶ坂石器時代遺跡（牢場、稲荷山、八幡平）	高ヶ坂 2-1418-3 他		1926. 2. 24
都・史跡	田端環状積石遺構	小山町 3112-2, 3113-2		1971. 3. 29
	青木家屋敷	相原町 810 他		1980. 2. 21
	小山田 1 号遺跡	小山田桜台 2-16-32		1985. 3. 18
	本町田遺跡	本町田 3455-36 他		1992. 3. 30
	西谷戸横穴墓群	三輪緑山 1-25-8		1992. 3. 30
	下三輪玉田谷戸横穴墓群	三輪町 897		2008. 3. 26
市・史跡	（通称）代官屋敷	金井（個人住宅のため非公開）		1964. 11. 25
	木曾一里塚	木曾西 4-14		1969. 9. 2
	三輪白坂横穴群	三輪町 1720-1		1975. 10. 27
	白洲次郎・正子旧宅	能ヶ谷 7-3-2 他		2002. 11. 14
都・旧跡	相原かま跡	相原町陽田谷戸		1926. 4
	井出の沢古戦場	本町田菅原神社付近一帯		1926. 4
市・旧跡	伝鎌倉井戸（鎌倉古道推定地）	山崎町 1050-1		2021. 3. 15
	凌霜館跡	野津田町 897-1～3, 898, 899-1, 899-3, 900-1		2023. 6. 27
都・名勝	福王寺旧園地（薬師池公園）	野津田町 3270		1998. 3. 13
市・天然記念物	アカガシ群落	相原町 701	清水寺内	1964. 11. 25
	シダレザクラ	小山町 2507-1	小山市民センター内	1964. 11. 25
	シイ	小野路町（個人住宅内のため非公開）		1964. 11. 25

町田市の登録文化財

区分	名称	所在地	登録年月日	
市・有形文化財	西谷戸横穴墓群出土圭頭大刀	下小山田町 4016	考古資料室	2016. 1. 8
	野津田神社幟（石阪昌孝揮毫）	野津田町 897	自由民権資料館	2016. 1. 8
	善寧児先生碑（通称 ジェンナー碑）	相原町 701	清水寺内	2016. 1. 8

—— 指定文化財の紹介 ——



【国指定重要文化財 旧永井家住宅】



【国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡】



【東京都指定有形文化財 旧荻野家住宅】



【東京都指定史跡 田端環状積石遺構】



【東京都指定史跡 本町田遺跡】



【町田市指定有形文化財 村野常右衛門生家】

—— 指定文化財の紹介 ——



【東京都指定有形文化財
異形台付土器（2点一式）】



【町田市指定有形文化財
深鉢形土器（忠生遺跡出土）】



【町田市指定有形文化財
土偶一式（忠生遺跡出土）】



【町田市指定有形文化財
能ヶ谷出土銭（約1万枚の古銭）】



【町田市指定有形文化財
中空土偶頭部（田端東遺跡出土）】



【町田市指定有形文化財
クルミ形土器（木曾中学校遺跡出土）】

—— 登録文化財の紹介 ——



【町田市登録有形文化財
西谷戸横穴墓群出土圭頭大刀】



【町田市登録有形文化財
善寧児先生碑（通称 ジェンナー碑）】



【町田市登録有形文化財
野津田神社幟（石阪昌孝揮毫）】

3. 生涯学習センター

町田市生涯学習センターは、市民の生涯にわたる学習活動を総合的に支援するための教育機関として、学習に関する機会や情報の提供、市民の多様な学習活動への支援、学習施設の貸出しなどを行っています。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田6-8-1 町田センタービル
- 電話 042-728-0071
- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート、一部鉄筋コンクリート・鉄骨造地下2階・地上8階建ての内、6階～8階
- 延床面積 2,676.84㎡

(2) 施設貸出

生涯学習センターでは、まちだ中央公民館として以下の施設を貸出しています。

① 貸出施設概要

- ホール 定員158名
- ホール控室 定員10名 2室
- 学習室 定員30名 1室 定員21名 1室 定員18名 1室 定員15名 2室 定員12名 2室
- 調理実習室 定員37名
- 美術工芸室 定員30名
- 視聴覚室 定員36名
- プレイルーム 定員18名
- 音楽室 定員24名 1室 定員18名 1室
- 和室 定員45名 1室 定員24名 1室
- 保育室 定員20名 1室

② 利用時間・休館日

- 利用時間 午前9時～午後10時
- 休館日 第4月曜日（祝日、振替休日にあたるときは、その翌日）
12月29日～翌年1月3日

2022年度 貸出施設利用状況

会議室名	定員	利用件数（件）	利用人数（人）	利用率
ホール（※）	158	310	10,941	46%
学習室 1	21	686	7,547	66%
学習室 2	30	747	9,453	72%
学習室 3	12	747	4,306	72%
学習室 4	12	674	3,921	65%
学習室 5	15	766	5,240	74%
学習室 6	15	719	5,019	69%
学習室 7	18	766	5,431	74%
和室 1（※）	45	199	2,065	29%
和室 2（※）	24	190	1,356	28%
音楽室 1（※）	24	379	2,585	56%
音楽室 2（※）	18	81	393	12%
プレイルーム（※）	18	272	1,506	40%
調理実習室	37	576	7,306	55%
美術工芸室	30	681	7,753	65%
視聴覚室	36	670	9,957	64%
保育室	20	208	2,146	20%
合計		8,671	86,925	56%

※新型コロナウイルス感染症の影響により、ワクチン接種会場として一部施設を提供しました。

（３）学習活動の支援

市民一人一人が自分にあった学習活動を進めていけるように、学習に関する相談や情報提供などを行っています。また、学習した成果を地域で活かす仕組みづくりや、地域での学び合いに対して、支援を行っています。

① 学習相談

学習者（団体含む）の学習上の問題を解決するために、学習相談を行っています。

学習者自らがテーマや方法を選んで学習活動を進めていけるように、学習者の問題や悩みを聞き、その解決に向けて援助したり、これから学習活動をする人のニーズを把握し、学習活動ができるように学習情報の提供や助言をしたり、学習活動の質を高め、継続的なものにするための助言を行ったりしています。

② 情報・資料コーナー

生涯学習センターの6階に「情報・資料コーナー」を設置しています。このコーナーでは、各方面から送付される定期刊行物や講座・催し物のチラシ・ポスターを様々な分野に分けて配置、掲示しており、町田市内に限らず、他の地域や学校等も含めた様々な生涯学習に関する情報を閲覧することができます。

③ 生涯学習NAVI 好き！学び！

市民が生涯学習を行う際に役立つように、町田市の講座・イベント情報誌『生涯学習NAVI 好き！学び！』を発行し、市内の公共施設で無料配布しています。



『生涯学習NAVI 好き！学び！』
2022年度春号

④ 生涯学習ボランティアバンク制度

市民がより充実した生涯学習活動が行えるよう、様々な知識や技術、経験をもち、地域社会に役立てたいと考える市民又は団体と、身近な学習活動を通じて知識や技術を習得したいと希望する市民団体等の橋渡しをしています。2022年度は92件の登録があり、5件の利用がありました。

⑤ 小・中学校の特別教室の地域利用

市民の学習・団体活動等、地域活動の場として、学校教育に支障のない範囲で、次の学校の特別教室等が利用できます。

○ 利用日・時間（2022年度）

実施校	利用日・時間
本町田小学校、木曽境川小学校、小山ヶ丘小学校	・火・木曜日 午後6時30分～午後9時 ※夏季期間（夏休み）は午後1時～午後9時 ・土・日・祝日 午前9時～午後9時
町田第一中学校	・月・火曜日 午後7時～午後9時 ・土・日・祝日 午前9時～午後5時 ※図書室（個人利用）は、原則、土曜日及び第1・第3・第5日曜日に利用できます。
鶴川中学校	・木・金曜日 午後6時30分～午後8時30分 ・土・日・祝日 午前9時～午後5時 ※祝日が月・火・水曜日の場合は、利用できません。

※年末年始、学校行事開催日等で利用できない日があります。

○ 利用できる特別教室と利用状況（2022年度）

・本町田小学校

教室名	利用件数（件）	利用人数（人）	利用率
多目的室	27	471	8.6%
ランチルーム	2	60	0.6%
合計	29	531	4.6%

・木曾境川小学校

教室名	利用件数（件）	利用人数（人）	利用率
音楽室	1	40	0.3%
家庭科室	4	95	1.2%
ランチルーム	23	645	7.1%
合計	28	780	2.9%

・小山ヶ丘小学校

教室名	利用件数（件）	利用人数（人）	利用率
理科室	37	179	12.5%
図工室	2	22	0.7%
音楽室	0	0	0.0%
第3音楽室	17	207	5.7%
家庭科室	24	162	8.1%
合計	80	570	5.4%

・町田第一中学校

教室名	利用件数（件）	利用人数（人）	利用率
武道場	44	1,196	49.4%
交流ホール	78	2,291	40.2%
多目的室	30	500	16.1%
音楽室	47	641	26.7%
調理室	11	224	5.6%
図書室（個人利用）	—	534	—
合計	210	5,386	24.9%

・鶴川中学校

教室名	利用件数（件）	利用人数（人）	利用率
小ホール	55	1,427	19.2%
ミーティングルーム	0	0	0.0%
合計	55	1,427	9.6%

（４）各種講座等の開催

生涯学習センターでは、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の市民を対象に講座や講演会、イベントなどを開催しています。

① 生涯学習センターまつり

生涯学習センターを利用している団体、サークルが、日頃の成果を発表し、交流する場として毎年実施しています。

このまつりは、企画・運営委員を公募し、参加団体・サークルが実行委員となって、生涯学習センターと共に運営しています。

「2022年度 生涯学習センターまつり」は、3年ぶりに来場型で実施しました。参加団体数は32団体でした。

② 市民大学事業

市民の生涯学習にかかわる条件整備の一環として、1993年6月に「まちだ市民大学HATS」を開校しました。「あなたを励まし、地域を育てる」をコンセプトに、毎年受講生を募り、通年と前・後期に分けての連続講座を開催しています。

連続での受講が難しい方や興味をもたれた方のために、公開講座（連続講座の1～2回を一般の方が聴講できるよう公開している講座）も設けています。各講座とも、市民・有識者などからなるプログラム委員会での議論を基に企画しています。

市民大学受講後には、修了生が任意で学習サークルを立ち上げて学びを継続しています。2022年11月現在、29の修了生団体が活動しています。



人間科学講座（講義風景）



環境講座（稲刈り体験）

③ 市民提案型事業 講座づくり★まちチャレ

市民グループの学習成果や発想を生かした企画を基に、市民生活の向上や地域課題の解決につながる講座を行政と市民が協働で実施しています。2022年度は、『まあいっか』と思える子育て～家と身体が整うヒント～、「子どもとの関わりにもっと絵本を～おとなも楽しむ絵本～」、「知ろう、外国にルーツを持つ子どものこと」、「アートのじかん、「こどもからはじまる～子どもの声をじっくり聴いて、子どもの内なる声に共感し、子どもの魅力を発見する～」、「障がいって特別なことなの？～心のバリアフリー～」、「しあわせの見つけ方～生きづらさ解消のヒント！自己肯定感を高めよう～」の7講座を開催しました。

④ コンサート事業

近隣の大学・大学院を卒業した音楽家が演奏を披露する「フレッシュコンサート」を年1回開催しました。

⑤ 平和祈念事業

戦争の悲惨さや平和の尊さについて考え、次世代に語り継ぐ機会として、戦時資料の展示や講演会、被爆体験を聞く会などを実施しています。

⑥ 連携・共催事業

市役所各部局や近隣大学、専門学校などと連携し、各機関の専門性を活かした講座・講演会等を実施しています。2022年度は、町田国際交流センターとの共催で「「まちだdeトークプラザ」ー日本で働く外国人ー」、和光大学との共催で「今、文化遺産が新しい～変わりゆく人・モノ・時間の関係性～」、昭和薬科大学との共催で「薬に込められた様々な工夫」など、5講座を実施しました。

⑦ さがまちコンソーシアムとの連携事業

町田市と相模原市の行政と、2市を生活圏とする地域の大学、NPO法人、企業などが連携し設立された「公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム(通称:さがまちコンソーシアム)」と連携し「学生活動報告会ガクマチEXPO」や、幅広いテーマの講座等を実施しています。



学生活動報告会「ガクマチEXPO」
(さがまちコンソーシアム、
地域活動サポートオフィス協力)



さがまちカレッジ
【学生講師プログラム】
さがまち山脈をつくろう
～シルクスクリーンで手ぬぐいに印刷しよう～

⑧ 家庭教育支援事業

子育てをしている親の家庭教育や子育てに関する不安を軽減するとともに、子育てを通じた仲間づくりにつなげることができるよう、乳幼児期から思春期までの子どもの年齢に応じた様々な講座の実施や学級活動を行っています。また、地域の家庭教育・子育て支援の担い手となる人材を育成する事業を実施しています。

⑨ 障がい者青年学級

1974年から主に知的障がいのある18歳以上の方を対象に実施しており、“生きる力、働く力の獲得”を目標に、学習活動、自治活動、仲間づくり、集団づくりを行っています。現在、140名ほどの方々が参加し、公民館学級、ひかり学級、土曜学級の3学級に分かれて、ボランティアスタッフと共に年間16回程度活動を行っています。

⑩ ことぶき大学事業

60歳以上の市民を対象に、“楽しく学んで豊かに生きる”をモットーとして学習や交流を深める講座を実施しています。1966年に始まって以来、高齢者の増加と多様な学習要望に応えるために制度や学習プログラムを変えながら現在に至っています。2022年度は、音楽、ヨガ、体操など、6講座を実施しました。

⑪ 地区協議会との連携

生涯学習センターは市内に1館であることから、事業を地域に展開していくことを重要なテーマとして捉え、取り組んでいます。鶴川地区住民の交流拠点として鶴川地区協議会が定期的を開催している、『3水スマイルラウンジ』において、郷土の歴史、文化や自然に関することなどをテーマにした、同協議会との連携講座「まなびのひろば」を2022年度は6回実施しました。

⑫ その他

スマートフォンの操作に不慣れな市民を対象に、デジタル利用支援講座「なんでもスマホ相談室」を実施しています。2022年度は、生涯学習センターでの実施に加えて、要望のあった自治会や各施設での出張講座も実施しました。

また、様々な事情により学校で十分に学ぶことができなかった16歳以上の青年・成人を対象に、基礎学習を身に付けてもらうことを目的とした無料学習会「まなびテラス」を実施しています。

(5) 町田市生涯学習センター運営協議会

町田市生涯学習センター運営協議会は、生涯学習センターが実施する事業に関し協議を行うため、2012年度から設置されています。

第6期(2022年度～2023年度)は学識経験者(4人)、家庭教育支援活動経験者(1人)、公募の市民(1人)、学校教育の関係者(1人)、生涯学習・社会教育の活動経験者(4人)からなる11人の委員で構成されています。委員の任期は2年です。

(6) 事業数及び参加人数 (2018～2022 年度)

①事業件数

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
77件	96件	67件	65件	64件

②延べ開催数

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
735回	696回	514回	714回	761回

③延べ参加人数

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
22,932人	23,605人	8,686人	11,207人	13,614人



4. 図書館

町田市立図書館は、市民に対して資料や情報を提供することにより、市民の生活がより深く豊かなものになることを目指して運営しています。

市立図書館は、中央・さるびあ・鶴川駅前・鶴川・金森・忠生・木曾山崎・堺の8館と移動図書館及び町田市民文学館で構成されています。

(1) 市立図書館のあゆみ

市立図書館の前身は、1954年3月に町田町役場内に設置された図書室で、1956年9月に「町田町立図書館」となりました。開館当初は蔵書が1,000冊にも満たない閲覧中心の施設でした。

1958年2月、市制施行に伴って館名を「町田市立図書館」と改め、更に1968年9月には中町2丁目に移転して、個人への図書の貸出しを始めました。その後移動図書館「そよかぜ号」の巡回を1970年10月から開始しました。また、1972年2月に「鶴川分館」（1977年10月に現在地に移転）、1974年6月に「金森分館」（2000年7月に現在地に移転）、1976年7月に「木曾山崎分館」、1983年9月には「堺分館」がそれぞれ開館しました。

1990年11月には中央図書館が開館し、CD、ビデオなどの貸出しや館内視聴といった新しいサービスを開始しました。これに伴って「町田市立町田図書館」は「さるびあ図書館」に、その他の分館もそれぞれ「図書館」に名称を変え、地域館として新たなスタートを切りました。1992年7月には市立の図書館全館をコンピュータで結ぶオンライン化も完了しています。

1999年4月からは祝日開館、平日の開館時間の延長及び地域館の夜間延長の実施、同年11月には貸出冊数制限の緩和を行いました。

2012年10月、小田急鶴川駅前の複合型文化施設「和光大学ポプリホール鶴川」内に「鶴川駅前図書館」が開館しました。地域の中心館として図書館のサービスを向上させ、情報拠点の役割を果たしています。

2015年3月、市立図書館全館でICタグを利用したセルフ貸出・返却システムを導入しました。5月には忠生市民センター内に「忠生図書館」が開館しています。

2022年4月、鶴川駅前図書館に指定管理者制度を導入しました。

2022年10月、「電子書籍サービス」を開始しました。



町田市立図書館キャラクター「よむぼん」

(2) 市立図書館の概要

市立図書館一覧

館名	所在地	電話	開館年月日	建物面積
中央図書館	原町田 3-2-9	042-728-8220	1990. 11. 30	5,968.00 m ²
さるびあ図書館	中町 2-13-23	042-722-3768	1972. 5. 22	1,234.32 m ²
鶴川駅前図書館	能ヶ谷 1-2-1	042-737-0263	2012. 10. 17	1,190.00 m ²
鶴川図書館	鶴川 6-7-2-1-101	042-735-5691	1972. 2. 15	259.75 m ²
金森図書館	金森東 3-5-1	042-710-1717	1974. 6. 3	1,499.50 m ²
忠生図書館	忠生 3-14-2	042-792-3450	2015. 5. 1	1,228.79 m ²
木曾山崎図書館	山崎町 2160	042-793-6767	1976. 7. 15	320.60 m ²
堺図書館	相原町 795-1	042-774-2131	1983. 9. 25	429.00 m ²
町田市民文学館	原町田 4-16-17	042-739-3420	2006. 10. 27	2,156.27 m ²

開館時間と休館日

館名	開館時間		休館日
中央図書館	火・水・金 木・土・日・祝休日	午前10時～午後8時 午前10時～午後5時	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日（祝休日の場合は開館） ・毎月第2木曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館） ・特別館内整理期間 ・年未年始
さるびあ図書館	火・水・金 木・土・日・祝休日	午前10時～午後6時 午前10時～午後5時	
鶴川図書館			
金森図書館			
忠生図書館			
木曾山崎図書館			
堺図書館			
町田市民文学館	火～日、祝休日	午前10時～午後5時	
鶴川駅前図書館	月・火・水・木・金 土・日・祝休日	午前9時30分～午後8時 午前9時30分～午後6時	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1・3月曜日（祝休日の場合は開館） ・特別館内整理期間 ・年未年始

蔵書統計（図書資料・視聴覚資料）（2023年3月31日現在）

館名	一般図書	児童図書	地域資料	図書資料合計 (冊)	視聴覚資料 (点)
中央	419,140	70,046	48,034	537,220	43,058
さるびあ	81,135	47,051	4,530	132,716	0
鶴川駅前	84,441	25,229	3,728	113,398	0
鶴川	24,261	18,472	2,213	44,946	0
金森	90,585	36,207	2,491	129,283	0
忠生	75,211	27,930	2,054	105,195	0
木曾山崎	35,453	17,542	1,636	54,631	0
堺	41,842	25,162	2,445	69,449	0
町田市民文学館	33,690	4,630	265	38,585	0
合計	885,758	272,269	67,396	1,225,423	43,058

※視聴覚資料（CD、カセットテープ、LD、ビデオテープ、DVD）

（3）貸出サービス

① 個人貸出

町田市内在住・在勤・在学の方及び、相互利用協定市にお住まいの方を対象に、利用券を発行し貸出しを行っています。

利用登録後は、全館合わせて本・雑誌など1人10冊2週間（うち新刊扱いの雑誌は1人1冊1週間・貸出用レファレンス資料は1週間）、DVD・ビデオテープ・CD・カセットテープは合わせて1人3点1週間借りることができます。

個人登録者数（町田市）（2023年3月31日現在）

一般	児童	在学一般	在学児童	在勤	合計 (人)
61,644	11,370	563	84	1,312	74,973

2022年度 図書資料・視聴覚資料 個人貸出冊数

館名	一般図書	地域資料	児童図書	雑誌	合計(冊)	視聴覚資料(点)
中央	488,301	2,254	144,497	29,508	664,560	74,723
さるびあ	128,760	224	83,347	12,845	225,176	0
鶴川駅前	258,045	1,030	107,297	12,620	378,992	0
鶴川	73,376	285	49,614	6,971	130,246	0
金森	280,398	590	198,474	25,791	505,253	27 (※2)
忠生	204,441	431	152,742	17,926	375,540	0

館名	一般図書	地域資料	児童図書	雑誌	合計(冊)	視聴覚資料(点)
木曽山崎	114,055	232	40,676	10,913	165,876	0
堺	61,937	186	53,054	5,697	120,874	0
さるびあ移動図書館	29,803	12	19,818	3,536	53,169	0
堺移動図書館	15,939	9	16,057	1,378	33,383	0
町田市民文学館	5,104	6	6,132	209	11,451	0
Web-OPAC(※1)	292,109	1,227	106,580	18,139	418,055	0
合計	1,952,268	6,486	978,288	145,533	3,082,575	74,750

※1 インターネットからの貸出延長数

※2 宅配サービスによる貸出数

② 団体貸出

図書館に利用登録がある地域文庫や読書会等を対象に、図書の団体貸出を行っています。

2022年度 団体登録数

区分	種別	団体数	貸出冊数・期間
①学校・地域文庫	小学校・中学校	47	600冊・6ヶ月
	地域文庫	8	
②読み聞かせ団体・その他	保育園・幼稚園	34	300冊・3ヶ月
	読書会	10	
	学童保育クラブ	15	
	おはなし会	36	
	その他	47	
③市内	市役所各課	49	50冊・1ヶ月
合計		246	

2022年度 図書資料 団体貸出冊数

館名	一般図書	児童図書	雑誌	合計(冊)
中央	365	2,710	36	3,111
さるびあ	31	1,513	67	1,611
鶴川駅前	80	224	24	328
鶴川	9	106	3	118
金森	84	2077	20	2,181
忠生	314	2,908	53	3,275
木曽山崎	45	322	23	390
堺	26	824	2	852
さるびあ移動図書館	40	3,324	54	3,418

館名	一般図書	児童図書	雑誌	合計（冊）
堺移動図書館	56	3,612	241	3,909
町田市民文学館	13	460	12	485
合計	1,063	18,080	535	19,678

③ 学校図書館支援貸出

小・中学校での調べ学習等で使用する図書を先生の求めに応じて貸出すことで、学校図書館をサポートしています。2008年6月から開始し、さるびあ図書館が担当しています。

2022年度 学校支援貸出冊数等

	小学校	中学校
登録学校数（校）	42	19
依頼学校数（校）	21	5
依頼件数（件）	70	8
貸出総冊数（冊）	2,506	378

④ 市民センター等における図書館資料（予約資料）受渡サービス

近くに図書館がない地域の市民向けに、2010年9月から忠生市民センター、小山市民センター及び南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始しました。

なお、忠生図書館の開館に伴い、2015年4月をもって忠生市民センターにおけるサービスは終了しました。また、2016年1月から子どもセンターぱお分館で、2016年7月から成瀬コミュニティセンターで、2021年5月から玉川学園駅前連絡所でサービスを開始しました。

2023年1月の南町田駅前連絡所の閉所に伴い、2023年2月から近隣施設の「まちライブラリー@南町田グランベリーパーク」でサービスを開始しました。

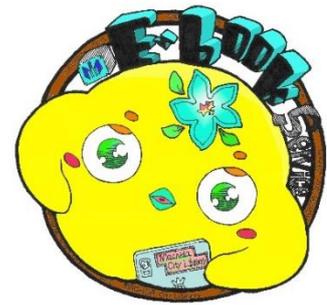
2022年度 受渡冊数一覧

場所	冊数
小山市民センター	4,846
まちライブラリー@南町田グランベリーパーク (2023年1月までは南町田駅前連絡所)	27,908
子どもセンターぱお分館	3,121
成瀬コミュニティセンター	11,261
玉川学園駅前連絡所	13,383

⑤ 電子書籍サービス

町田市立図書館では、スマートフォン、タブレット、パソコン等の端末を介して読むことができる電子書籍サービスを2022年10月から開始しました。

時間や場所に左右されず、いつでも・どこでも利用でき、拡大機能や音声読み上げ機能が使用可能な資料もあるため、より多くの方が本に親しめる環境となりました。



電子書籍サービスキャラクター「ブックロー」

項目	説明
対 象	町田市立図書館の有効な利用券をお持ちの市内在住・在勤・在学の方 図書館で利用登録をする必要があります
貸 出	3点まで、貸出期間は2週間（336時間） 予約がない場合に限り1回まで延長可能
予 約	3点まで、取置期間は3日間（72時間）
資 料 数	3,143点（2022年度末時点）
貸 出 数	19,180点（2022年度）
U R L	https://machida-library.overdrive.com 町田市立図書館ホームページからもアクセスできます



（４）移動図書館サービス

図書館が身近にない地域に対して図書館サービスを継続的に提供するため、3台の移動図書館「そよかぜ号」が2週間に1回巡回サービスを行っています。2022年度は60か所のサービスステーション〔さるびあ図書館から2台で37か所、堺図書館から1台で23か所（うち1か所は月1回）〕を巡回しています。また、2022年度は幼稚園・保育園、芹ヶ谷冒険遊び場など子どもの集まる場所へ合計57回、芹ヶ谷公園などで実施されたイベントへ3回出張運行を行いました。



2022年度 移動図書館利用者数・巡回数

	移動図書館利用者数	移動図書館巡回数
さるびあ	11,329	892
堺	6,855	539

(5) リクエストサービス

求める図書が見当たらないときは、1人10冊までリクエストをすることができます。対象は町田市内在住・在勤・在学の利用登録者で、申込みはカウンターのほか、館内利用者検索機、インターネットで受付しています。

リクエストを受けた図書が貸出中の場合は、返却後、受付順に貸出しています（リクエストの置きは、用意ができてから9開館日）。図書館で所蔵していない図書の場合は、新たに購入、または他の図書館からの借り入れなどにより、なるべく早く提供できるようにしています。

2022年度 リクエスト件数

館名	カウンター	館内利用検索機	インターネット	合計(件)
中央	15,726	9,385	106,525	131,636
さるびあ	8,681	3,214	51,970	63,865
鶴川駅前	9,235	5,027	94,651	108,913
鶴川	5,549	797	37,489	43,835
金森	16,716	5,597	108,618	130,931
忠生	6,552	5,141	51,925	63,618
木曾山崎	9,528	1,693	27,381	38,602
堺	4,938	769	16,072	21,779
さるびあ移動図書館	2,300	41	9,814	12,155
堺移動図書館	4,265	10	2,947	7,222
町田市民文学館	612	95	1,727	2,434
小山市民センター	78	83	5,091	5,252
まちライブラリー@ 南町田グランベリー パーク ※2023年1月までは 南町田駅前連絡所	619	88	29,582	30,289
子どもセンター ばお分館	0	2	3,330	3,332
成瀬コミュニティセ ンター	86	94	11,673	11,853
玉川学園駅前連絡所	486	126	14,008	14,620
合計	85,371	32,162	572,803	690,336

(6) レファレンスサービス

図書館の資料や機能を活用して、利用者のさまざまな調べものや探しものについてお手伝いするサービスです。中央図書館においては、専用カウンターを設け、各種有料データベースや、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを活用したサービスも行っています。

2022年度 レファレンス受付件数（中央図書館のみ）

レファレンスカウンター 総受付件数（件）※	レファレンス （一般）	レファレンス （地域資料）
3,774	2,782	665

※レファレンスカウンター総受付件数には、貸出しその他を含みます。

(7) 障がい者サービス

目の不自由な方等を対象に、音訳資料・点字資料の貸出し、製作、対面朗読を行っています。また、来館が困難な方には、市民ボランティアの協力により宅配貸出サービスを行っています。

2022年度 対面朗読

実施館	実利用者数	延べ件数	実朗読者数	朗読時間
中央・鶴川駅前	12	279	16	540時間45分

2022年度 視覚障がい者等への障がい者用資料の貸出

音訳（テープ）	音訳（デイジー）※	点字資料・絵本	合計（点）
361	1,133	285	1,779

※デイジー…専用機器やパソコンソフトで再生するデジタル録音図書の名称。DAISYという規格に基づき、CD-Rに記録してあります。

2022年度 肢体不自由利用者への宅配貸出

	宅配貸出利用者数	宅配ボランティア数	延べ宅配件数	貸出点数
中央	2	1	51	309
さるびあ	5	4	103	184
鶴川駅前	0	0	0	0
鶴川	2	1	48	174
金森	4	3	96	333
忠生	3	1	70	442
木曾山崎	4	4	51	381
堺※	1	0	12	0
合計	21	14	431	1,823

※返却のみ職員が行っています。

(8) 視聴覚サービス

中央図書館では中学生以上の方を対象に、視聴覚資料（DVD・ビデオテープ・CD・カセットテープ）の貸出しを行っています。そのうちCD・カセットテープは館内で試聴できます。

また、持込みのノートパソコンが利用できる座席を設けています。2022年3月からはFree Wi-Fi「Machida_City_Library_Wi-Fi」を提供しており、機器があればインターネットを利用することが可能です。

(9) 児童サービス

本と子どもを結びつけるため各館とも児童コーナーの充実に努めており、特に土日や夏休みは子どもたちでにぎわっています。子どもへのおすすめ新刊本紹介パンフ「みんなでよもうこどもの本」の発行や、おはなし会、乳幼児向けおはなし会、子ども映画会などの行事も行っていきます。

新型コロナウイルス感染症の流行期には、感染拡大防止のためおはなし会をほとんど中止していましたが、2021年度の後半期から人数を制限するなど感染症対策を行いながら再開しました。2022年度は、各館ともほぼコロナ前のサイクルで開催することができました。今後は当面各館の状況に応じ、感染症対策を行いながら開催してまいります。

2022年度 児童向け事業

	おはなし会		乳幼児向けおはなし会		子ども映画会	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
中央	63	486	42	284	1	44
さるびあ	20	253	10	81	—	—
鶴川駅前	22	189	12	82	—	—
鶴川	6	59	0	0	—	—
金森	41	330	12	122	—	—
	おはなし会		乳幼児向けおはなし会		子ども映画会	
	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数
忠生	33	598	14	127	—	—
木曾山崎	21	613	12	77	—	—
堺	16	225	2	8	—	—
合計	222	2,753	112	837	1	44

※出張おはなし会を含む

(10) ヤングアダルトサービス

中学生から20歳くらいまでの年代を対象にしたサービスです。各館ともライトノベルや職業案内の本などを多く取揃えています。中央図書館と忠生図書館では上記年代を対象とした専用のテーブルを設けていて、利用者が自由に記入できるノートを置いています。2020年1月には中央図書館ヤングアダルトコーナーを「TEEN LIBRARY」の愛称でリニューアルし、座席を増やして居心地の良い空間を提供しています。

事業としては、一日図書館員のような職業体験、ヤングアダルト新刊案内「YA通信」の発行等を行っています。中央図書館では2020年10月から、土日祝日限定でグループ学習室「わいわいキャレル」を実施しています。

(11) ホームページ上でのサービス

町田市立図書館のホームページでは、市内の図書館・読書マップ掲載施設の案内や図書館所蔵資料の検索、図書館イベント情報、自宅で楽しめるデジタルコンテンツ情報などを見ることができます。また、図書館で利用登録を行った後、ホームページ上でパスワードを登録すると、図書館資料の予約、貸出期間の延長、読書記録の確認、マイブックリストの作成などを行うことができます。

【町田市立図書館ホームページURL】

<https://www.library.city.machida.tokyo.jp/>

※右の二次元コードからもご覧いただけます



(12) 相互利用サービス

1998年12月に相模原市と、2007年10月に八王子市と、2008年4月に府中市・調布市・日野市・多摩市・稲城市と、2012年4月に川崎市と、2019年5月に大和市と、2020年11月に横浜市との間で相互利用協定を結び、町田市民が各市の図書館を、前記各市の市民も町田市立図書館を利用できるようになりました。

なお、相互利用市の市民からの資料予約は受付けていません。

個人登録者数（相互利用市民）

2023年3月31日現在

相模原市	八王子市	府中市	調布市	日野市	多摩市	稲城市	川崎市	大和市	横浜市	合計(人)
7,396	365	30	24	24	101	56	1,831	381	2,349	12,557

2022 年度 相互利用貸出冊数

	図書・雑誌	視聴覚資料	ハンデ ィキャッ プ 資料	合計 (冊)
相模原市	178,139	16,773	13	194,925
八王子市	8,045	258	1	8,304
府中市	143	13	0	156
調布市	110	82	0	192
日野市	73	14	0	87
多摩市	1,162	234	0	1,396
稲城市	424	28	0	452
川崎市	38,497	1,049	0	39,546
大和市	5,393	662	0	6,055
横浜市	49,446	3,248	1	52,695
合計	281,432	22,361	15	303,808

(13) 行事

図書館では、以下のような行事を開催しています。

○ 講演会

利用者の増加や図書館への興味関心につながるよう、講演会を開催しています。

2022 年度は英語多読、デジタルデバイス解消の講演会を中心に実施しました。

2022 年度 開催講演会一覧

講演会名	開催日	参加者 (人)
「スマートフォン体験会」	9 月 21 日 (水)	17
「はじめてのスマホ体験」	10 月 18 日 (火)	19
「はじめてのスマホ体験」	10 月 27 日 (木)	20
「はじめてのスマホ体験」	11 月 6 日 (日)	17
英語多読講演会「英語多読で楽しく学ぼう！」	11 月 20 日 (日)	32
「知っておきたい！情報セキュリティ講演会」	11 月 23 日 (水)	33
講演会名	開催日	参加者 (人)
「スマートフォン体験会」	12 月 1 日 (木)	19
「#おうちで英語！」	2 月 12 日 (日)	32
英語多読講演会「英語多読をはじめました！」	3 月 18 日 (土)	19
10 代向け講演会「英語多読で推し活がはかどります！」	3 月 21 日 (火)	7

○ 映画会

毎週金曜日に、中央図書館6階ホールで映画を上映しています。また、従来の青少年映画会を2021年度からYシネマ（10代向け映画会）に名称変更し、年1回行っています。2022年度のYシネマ（10代向け映画会）は7月29日に実施し、参加者は33名でした。

○ 図書館講座等

図書館を使い慣れていない方に、図書館の上手な利用法を知ってもらい、気軽に図書館を利用してもらえるよう、本の並べ方や利用者用検索機の使い方、館内見学を内容とした講座を実施しています。

この他、調べ物に役立つレファレンス講座や、ことぶき大学「まちだ探探ゼミナール」での図書館活用講座（生涯学習センター共催）なども実施しています。

○ 展示会

中央図書館のエスカレーター壁面や、4・5階にあるショーケースに、個人やグループの作品（絵画・写真・工芸品）を展示しています。展示期間は、原則2週間です。年に1度、1月頃に市広報やチラシなどで翌年度分の募集を行います。

2022年度 実施行事等一覧

行事名	回数（回）	参加者数（人）
講演会	10	215
映画会	47	2,146
図書館講座等	5	73
展示会	23	—

○ まちだ図書館まつり

2010年に開催された記念行事をきっかけに、図書館に登録している団体のうち、子どもに関わる団体を中心に呼びかけを行い、市民による実行委員会を立ち上げました。

この実行委員会が企画・広報、運営を行い、市内図書館や文学館を会場として、毎年3月に開催しています。

2022年度は2021年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となりました。

(14) 町田市立図書館協議会

町田市立図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の主催する事業及び図書館奉仕について、意見を述べる機関です。

学識経験者（2人以内）、学校教育の関係者（2人以内）、社会教育の関係者（5人以内）、家庭教育の向上に資する活動を行う者（1人以内）の10人以内の委員で構成されています。

(15) 町田市子ども読書活動推進計画

町田市では、2004年12月に「町田市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動に関する総合的な施策を推進してきました。この計画の成果と課題を検討し、2010年4月からは「第二次町田市子ども読書活動推進計画」、2015年4月からは「第三次町田市子ども読書活動推進計画」を推進してきました。

2020年4月からは本計画の第四次計画である「第四次町田市子ども読書活動推進計画」に基づき、37の取組を行っています。

計画名	計画期間
町田市子ども読書活動推進計画	2005年4月～2010年3月
第二次町田市子ども読書活動推進計画	2010年4月～2015年3月
第三次町田市子ども読書活動推進計画	2015年4月～2020年3月
第四次町田市子ども読書活動推進計画	2020年4月～2025年3月

(16) 町田市子ども読書活動推進計画推進会議

町田市子ども読書活動推進計画推進会議は、「町田市子ども読書活動推進計画」を効果的に推進するために設置されている会議です。会議は市民の代表9人と、市の関係部門4課の課長、図書館長の14人で構成されており、市民と行政と一緒に委員として協議するのが特徴です。この会議では、計画の進捗状況の検証に関すること、総合調整に関すること、計画の推進に係る情報交換及び連携に関することを行っています。

5. 町田市民文学館

町田市民文学館ことばらんどは、1997年、作家遠藤周作氏の蔵書・遺品の寄贈をきっかけにおこった「町田市に文学館を」の声に応え、2006年10月に開館しました。この間、作家八木義徳氏や森村誠一氏、作詞家宮川哲夫氏、絵本作家渡辺有一氏の資料など、町田ゆかりの文学者の資料が次々と寄贈されました。これらの後世に伝えるべき町田の文化財産を収集し、保存・公開を行うことを当館の大きな目的としています。また、市民が文学を通じて交流し、その成果を発表しあえる「市民の文学活動」の拠点となることを目指しています。

(1) 施設概要

- 所在 町田市原町田4-16-17
- 電話 042-739-3420
- 構造 鉄筋コンクリート、地下2階、地上3階建て
- 延床面積 2,156.27㎡

(2) 施設内容

- 1階 文学サロン、資料閲覧室、市民研究員室、印刷室
- 2階 展示室、大会議室
- 3階 会議室(6室)、保育室

(3) 利用案内

- 開館時間 会議室・文学サロン 午前9時～午後10時
展示室・資料閲覧室 午前10時～午後5時
- 休館日 月曜日(休日・振替休日のときは開館)
毎月第2木曜日(休日の場合は開館し、翌日休館)
12月29日～翌年1月4日、特別整理日

(4) 各種事業

① 展示事業

町田ゆかりの作家や、文学や言葉の魅力を伝える展覧会のほか、年に一度、夏休み期間中には、子どもたちも楽しめる展覧会を開催しています。



町田市民文学館

2022年度 展覧会一覧

展覧会名	会期日数	入館者数（人）
将棋作品をひもとく！ “読む将” のススメ展	49	2,828
竹上妙の絵本と木版画 たけがみZOO展 ～いきものと目が合った！～	55	10,030
浅野いにお展 - the personality of the city -	54	4,368
詩画家・森田MiWの絵とことば いとしきモノ 展	48	8,240

ミニ展示名	会期日数
町田市名誉市民表彰記念 森村誠一展	70
たけがみたえ『あめちゃん』絵本原画展	78
たけがみZOOまとめ展	35
赤瀬川原平「少年とオブジェ」をめぐって展	40
「ことばらんどショートショートコンクール2022」 受賞作品展	30
詩人・嶋岡晨の軌跡展※	44

※ 本展の会期は2月7日～4月2日だが、上記表には2022年度分のみを記した。2023年度分も含めた開催日数は46日。

出張展示名	会期日数
「ことばらんどショートショートコンクール2021 受賞作品展 ～イラストで描くショートショートの世界～」	33

※ ことばらんど×町田デザイン&建築専門学校共同企画。会場は、町田モディ地下1階。



浅野いにお展 - the personality of the city -



竹上妙の絵本と木版画 たけがみZOO展

② 学習事業

「町田の文学」の魅力を発見し、「文学のおもしろさ」や「ことばの力」に触れることができる講座、講演会、おはなし会などを開催しています。

○ 講座等

文学講座や実作講座など、市民の知的好奇心を喚起し、学習を深め、生涯学習につながる講座を開催しています。また、乳幼児と保護者を対象とした「ちちんぷいぷい」、小学生を対象とした「俳句でハイク」、一般を対象とした「おとなのためのおはなし会」など“ことばを楽しむ”活動を定期的に行っています。

○ 講演会

展示に関連したテーマでの講演会、ことばや文学に関連した講演会を開催し、“文学はおもしろい”というメッセージを発信します。

○ ことばらんどショートショートコンクール

青少年に文学と触れあうきっかけを提供し、自由な発想や創造力の向上や文章力を育成することを目指して、2021年度から始めました。2022年度は、町田市在住・在学の小・中・高校生から887作品の応募がありました。

2022年度実施 展示関連事業・学習事業一覧（一般対象）

※**展**=展示関連事業、**学**=学習事業

講演会	回数	参加者数(人)
展 「文学の中の将棋」	1	48
展 「教えて！今泉せんせい。“ざんねん”だけど、やっぱりイケてる「いきもの」の話」	1	55
学 遠藤周作生誕100年「遠藤文学のこれから～新発見作品を中心に～」	1	100
計	3	203

講座・ワークショップ	回数	参加者数(人)
展 (ワークショップ)「苔石ブローチ作り」	1	15
展 (ワークショップ)「手製本体験 詩集作り」	1	16
学 (連続講座)近代文学講座 Prof. 柳瀬のオープンゼミ	3	96
学 (連続講座)パパママ応援企画 「おうち時間をもっと楽しく！絵本読み聞かせのコツを教えます」	2	4
学 (お正月事業)新年を寿ぐ！はじめてのお能体験	1	12
学 (実作講座)ベーシック カリグラフィー	1	11
学 (実作講座)手製本体験 詩集づくりワークショップ	1	16
計	10	170

おはなし会・公演・イベント等		回数	参加者数(人)
展	対談「将棋小説のたのしみ」	1	63
展	文学散歩～将棋会館周辺を歩く～	1	14
展	木版画公開制作	3	636
展	「たけがみ ZOO」展 アーティストトーク	1	108
展	夏の文学館スタンプラリー	1	4,550
展	映画・ソラニン上映会	1	72
展	浅野いにお×カツセマサヒコ記念対談	1	105
展	浅野いにお×カツセマサヒコ記念対談 (YouTube 配信)	1	3,837
展	浅野いにおトークショー	1	74
展	「森田 MiW の絵とことば いとしきモノ展」アーティストトーク	3	204
展	いつでも参加できるイベント「想いをことばに」	1	275
学	おとなのためのおはなし会	10	438
学	紙芝居・大人の時間	10	195
学	文学館まつり	1	3,173
計		36	13,744

2022 年度実施 展示関連事業・学習事業一覧（子ども対象）

※展＝展覧会関連事業、学＝学習事業

講座・ワークショップ		回数	参加者数(人)
展	自然観察会「たけがみたえさんと歩く薬師池公園」	1	8
展	(ワークショップ)「たけがみたえさんと段ボール動物園をつくろう！」	2	33
展	(ワークショップ)「納涼！たけがみたえさんといきものうちわをつくろう！」	1	9
展	「たけがみ ZOO」のおはなし会@芹が谷公園	3	50
展	親子で楽しむ「たけがみ ZOO」絵本読み聞かせとおはなし	1	42
学	(連続講座) ことばであそぼう！ 「俳句でハイク～子ども編～春の町田を散策しよう！」	3	27
学	(連続講座) ことばであそぼう！ 「俳句でハイク～子ども編～秋の町田を散策しよう！」	3	24
学	(お正月事業) はじめての人のための百人一首かるた大会	1	6
学	ショートショート書き方講座	9	391
学	(出張授業・町田総合高校) 町田市課題探求	3	75
学	産業社会と人間 町田市探求	4	80
学	(出張授業・成瀬台中学校) 社会人せんせい「オリジナルラップを作ろう！」	2	30
計		33	775

おはなし会・公演・イベント等		回数	参加者数（人）
学	ちちんぷいぷい（0～1歳児親子）	21	210
学	2歳児あつまれ!“季節”をあそぼ!	4	31
学	市民協働事業 ことばであそぼう!3・4歳児あつまれ!	4	20
計		29	261



おとなのためのおはなし会



市民協働事業
ことばであそぼう! 3・4歳児あつまれ!

③ 図書館

町田ゆかりの文学者の著作や研究書、市民著作、雑誌、文学全集、児童書、辞・事典類などを文学サロン、資料閲覧室で閲覧することができます。

さらに、市立図書館の利用券を使って資料の貸出し、リクエスト制度を利用することができます。そのほか、文学資料に関する相談（レファレンスサービス）も実施しています。

※ 蔵書数、図書資料の貸出冊数、図書リクエスト件数については、【生涯学習】「4. 図書館」の統計資料を参照。

④ 資料の収集・保存

○ 収集・保存

町田ゆかりの文学者の資料を中心に、文学資料の収集・保存をしています。また、整理済みの資料を、1階文学サロンにて順次公開しています。

○ 調査・研究

町田ゆかりの文学者の資料の調査・研究及び情報の提供を行っています。また、市民の研究活動を学芸員が支援する「市民研究員制度」があります。

⑤ 施設貸出

町田市民文学館では、文学に関する研究・創作・読書会・朗読会等を行う団体に対し、以下の施設を貸出しています。

○貸出施設概要

- ・大会議室 定員 54 名（椅子のみ 108 名）
- ・第 1 会議室 定員 12 名
- ・第 2 会議室 定員 12 名
- ・第 3 会議室 定員 6 名
- ・第 4 会議室 定員 12 名
- ・第 5 会議室 定員 12 名
- ・第 6 会議室 定員 30 名
- ・保育室 定員 12 名

○利用時間 午前 9 時～午後 10 時

2022 年度 利用実績

会議室使用回数	会議室利用者数	保育室利用回数	保育室利用者数
3,243 回	24,836 人	108 回	250 人

資料編



1. 歴代教育委員

(1) 教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
小菅 朴二	1958. 2. 1	1958. 3. 28
平本 精則	1958. 2. 1	1970. 3. 28
若林 順成	1958. 2. 1	1958. 3. 28
渡辺 一雄	1958. 2. 1	1966. 3. 28
井上 桂一	1958. 2. 1	1965. 3. 28
久保田 佐一	1958. 3. 29	1959. 3. 28
若林 健	1958. 3. 29	1964. 3. 28
田中 邦茂	1959. 3. 29	1971. 3. 28
鈴木 英正	1964. 3. 29	1972. 3. 28
関田 歳明	1965. 3. 29	1969. 3. 28
花形 英一	1966. 3. 29	1970. 3. 28
杉山 一人	1969. 6. 25	1973. 3. 28
木目田 至	1970. 10. 19	1982. 10. 18
前田 忠行	1970. 10. 19	1981. 3. 31
田中 邦茂	1972. 4. 1	1980. 3. 31
宮丸 郁子	1972. 4. 1	1976. 3. 31
渋谷 茂	1973. 3. 29	1981. 3. 28
坂本 孝子	1976. 4. 1	1984. 3. 31
井上 聰	1980. 4. 1	1988. 3. 31
齋藤 謹也	1981. 7. 15	1982. 10. 18
南保 正道	1981. 10. 1	1985. 9. 11
井上 直之	1982. 10. 27	1990. 10. 26
齋藤 謹也	1982. 10. 27	1998. 10. 26
五日市 恭子	1984. 4. 1	1992. 3. 31
寺田 和雄	1986. 4. 1	1989. 4. 3
川尻 泰子	1988. 4. 1	1996. 3. 31
齋藤 秀夫	1989. 4. 4	1993. 3. 31
井上 恭一	1990. 10. 27	2002. 10. 26
西村 絢子	1992. 4. 1	2000. 3. 31
米田 彰	1993. 4. 1	1998. 3. 31
小田桐 玲子	1996. 4. 1	2000. 3. 31
山田 雄三	1998. 4. 1	2010. 3. 31
江森 陽弘	1998. 10. 27	2002. 10. 26
富川 快雄	2000. 4. 1	2012. 3. 31
古舘 和江	2000. 7. 1	2002. 3. 31
名取 紀美江	2002. 4. 1	2008. 6. 30
井関 孝善	2002. 10. 28	2014. 10. 27
岡田 英子	2002. 10. 28	2014. 10. 27
高橋 圭子	2008. 7. 1	2016. 6. 30
渋谷 友克	2010. 4. 1	2014. 3. 31
佐藤 昇	2012. 4. 1	2019. 3. 31
坂本 修一	2014. 4. 1	2018. 3. 31
森山 賢一	2014. 10. 28	現在に至る
八並 清子	2014. 10. 28	2021. 3. 31
坂上 圭子	2016. 7. 1	2020. 3. 31
後藤 良秀	2019. 4. 1	現在に至る
井上 由奈	2020. 4. 1	現在に至る
関根 美咲	2021. 4. 1	現在に至る

(2) 教育委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
平本 精則	1958. 2. 1	1970. 3. 28
田中 邦茂	1970. 10. 28	1971. 3. 28
木目田 至	1971. 7. 12	1972. 7. 11
田中 邦茂	1972. 7. 12	1978. 3. 28
木目田 至	1978. 4. 1	1982. 10. 18
井上 聰	1982. 10. 28	1985. 3. 31
齋藤 謹也	1985. 4. 1	1987. 10. 26
井上 直之	1987. 10. 27	1990. 10. 26
齋藤 謹也	1990. 10. 27	1994. 10. 26
川尻 泰子	1994. 11. 10	1995. 11. 9
井上 恭一	1995. 11. 13	1998. 10. 26
西村 絢子	1998. 11. 6	1999. 11. 5
井上 恭一	1999. 11. 6	2001. 11. 5
富川 快雄	2001. 11. 6	2011. 11. 5
岡田 英子	2011. 11. 6	2013. 3. 31
佐藤 昇	2013. 4. 1	2018. 3. 31

(3) 教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
井上 桂一	1958. 2. 1	1965. 3. 28
関田 歳明	1965. 3. 29	1969. 3. 28
杉山 一人	1969. 6. 25	1973. 3. 28
渋谷 茂	1973. 3. 29	1981. 3. 28
南保 正道	1981. 10. 1	1985. 9. 11
寺田 和雄	1986. 4. 1	1989. 4. 3
齋藤 秀夫	1989. 4. 4	1993. 3. 31
米田 彰	1993. 4. 1	1998. 3. 31
山田 雄三	1998. 4. 1	2010. 3. 31
渋谷 友克	2010. 4. 1	2014. 3. 31
坂本 修一	2014. 4. 1	現在に至る

2. 附属機関委員

※委員構成は、すべて2023年10月1日現在

町田市教育委員会いじめ問題対策委員会委員

氏名	区分	氏名	区分
嶋崎政男	教育	熊谷真由子	法律
杉村共英	医療	渡辺綱市	福祉
保知巡	福祉		

町田市学校給食問題協議会委員

氏名	区分	氏名	区分
山田正子	学識経験者	貝原俊明	学校長
野村弥生	保健医療関係者	柳田拓史	〃
金田和子	消費者団体の代表	大川敏明	教職員
福住希美	保護者代表	藤田裕一	〃
木村暢恵	〃	石黒佐智子	栄養士・調理員
鈴木桜子	〃	進藤悠	〃
堀切由貴	〃		

町田市生涯学習審議会委員

氏名	区分	氏名	区分
吉田和夫	社会教育委員	陶山慎治	生涯学習又は社会教育に関する関係機関の代表
依田真美	〃	仲村拓真	
鶴岡武臣	〃	渡邊正彦	〃
仙北屋正樹	〃	喜田亮子	〃
阿波野ゆう子	〃	小林稔明	〃
吉川晶子	〃	増田登志子	公募による市民
		西澤省吾	〃

町田市社会教育委員

氏名	区分	氏名	区分
吉田和夫	学識経験を有する者	阿波野ゆう子	社会教育の関係者
依田真美	〃	吉川晶子	〃
鶴岡武臣	学校教育の関係者	大澤彩	家庭教育の向上に資する活動を行う者
仙北屋正樹	〃		

町田市立図書館協議会委員

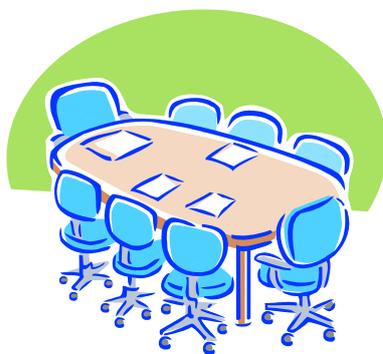
氏 名	区 分	氏 名	区 分
松 本 直 樹	学識経験者	中 川 妃 菜	社会教育関係者
仲 村 拓 真	〃	福 田 有美子	〃
山 中 朗	学校教育関係者	高 橋 峰 子	〃
梶 野 明 信	〃	吉 田 和 夫	〃
		二川原 陽 一	〃
		若 色 直 美	家庭教育の向上に 資する活動を行う者

町田市民文学館運営協議会委員

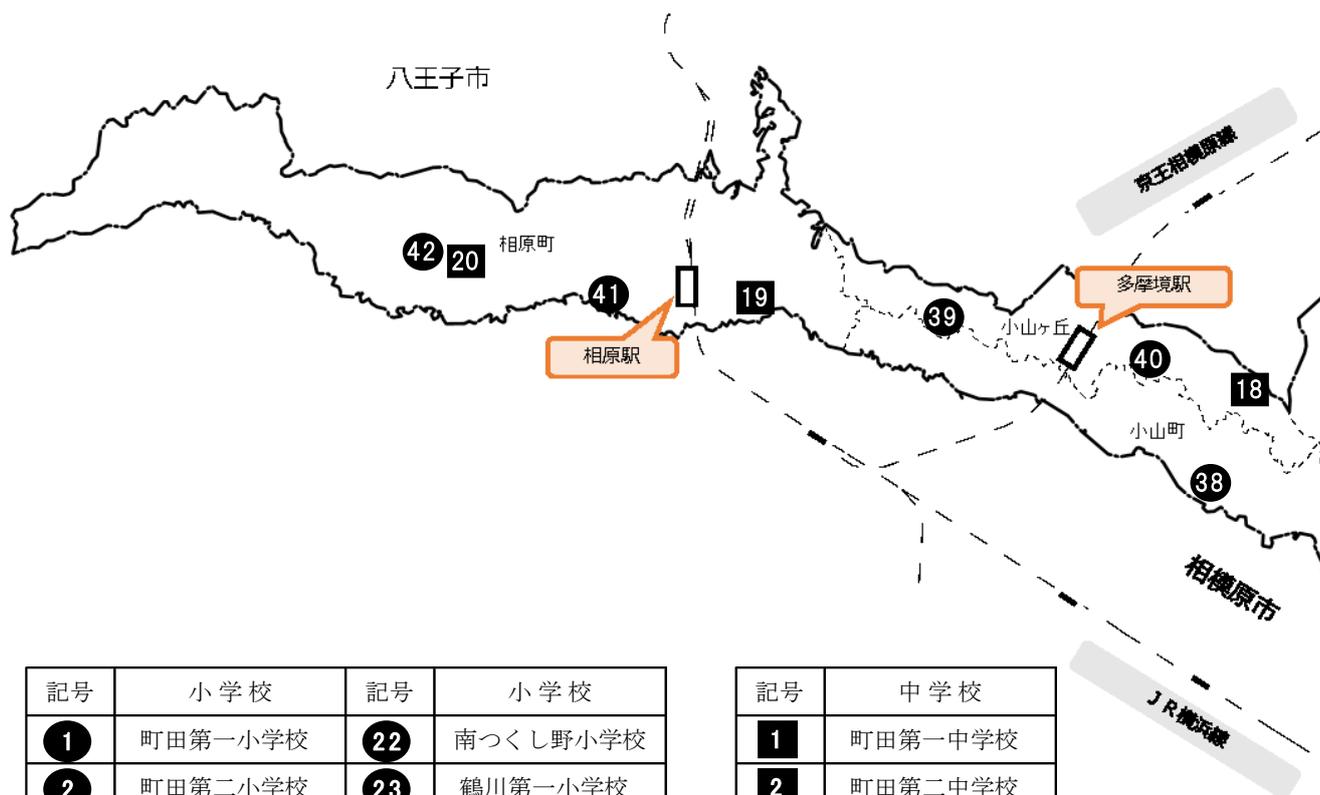
氏 名	区 分	氏 名	区 分
渡 邊 正 彦	学識経験者	熊 谷 玄	学識経験者
中 垣 理 子	〃	阿 部 哲 也	〃
草 刈 大 介	〃	貝 原 俊 明	学校教育関係者
若 宮 和 男	〃	名 取 玲 子	市民
長 尾 洋 子	〃		

町田市文化財保護審議会委員

氏 名	区 分	氏 名	区 分
阿 諏 訪 青 美	中 世 史	鶴 卷 孝 雄	日本近代史
須 田 英 一	考 古 学	浜 田 弘 明	博物館学・人文地理学
内 野 秀 重	自 然 誌	八 木 橋 伸 浩	民 俗 学
大 野 敏	建 築 史		

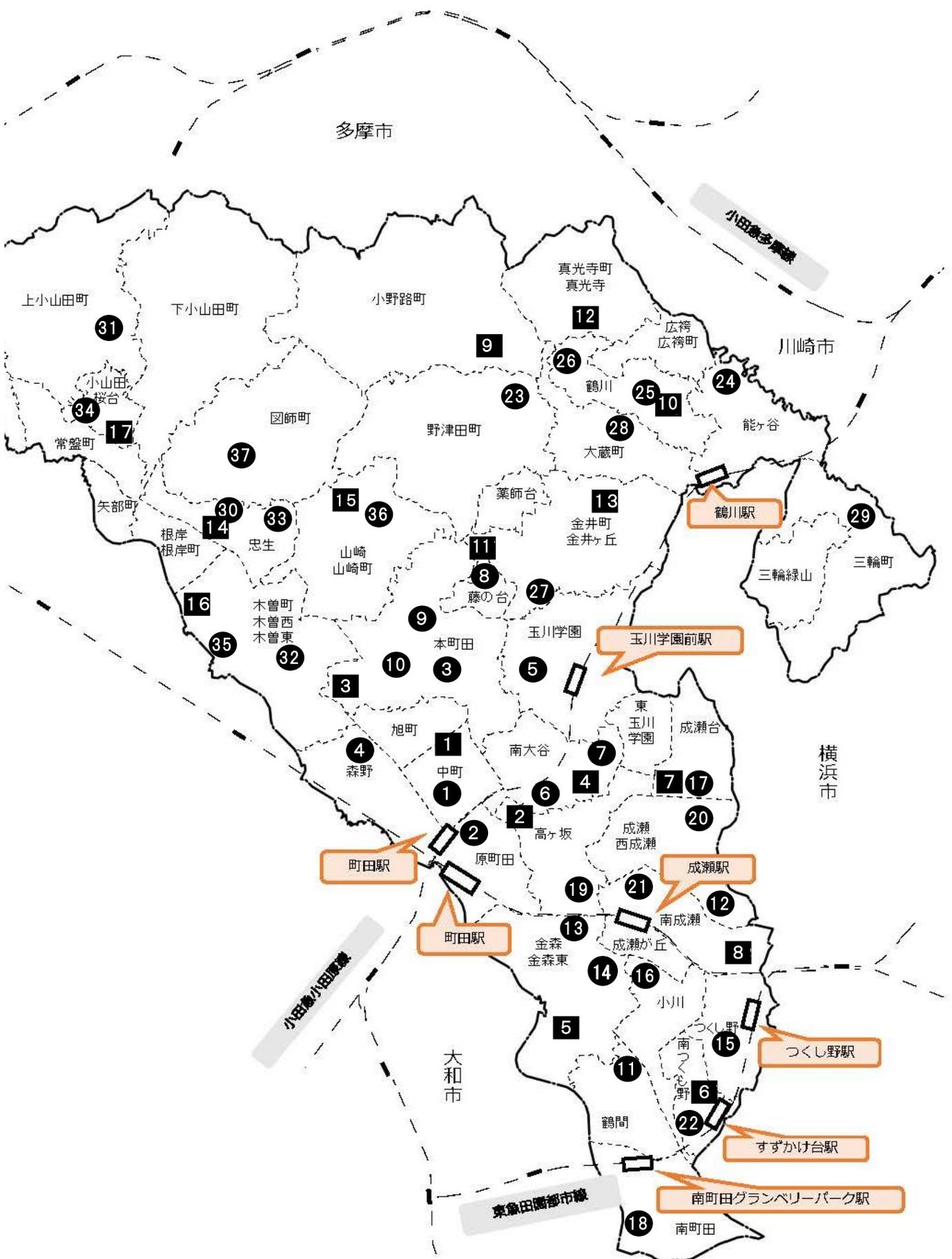


3. 小・中学校配置図

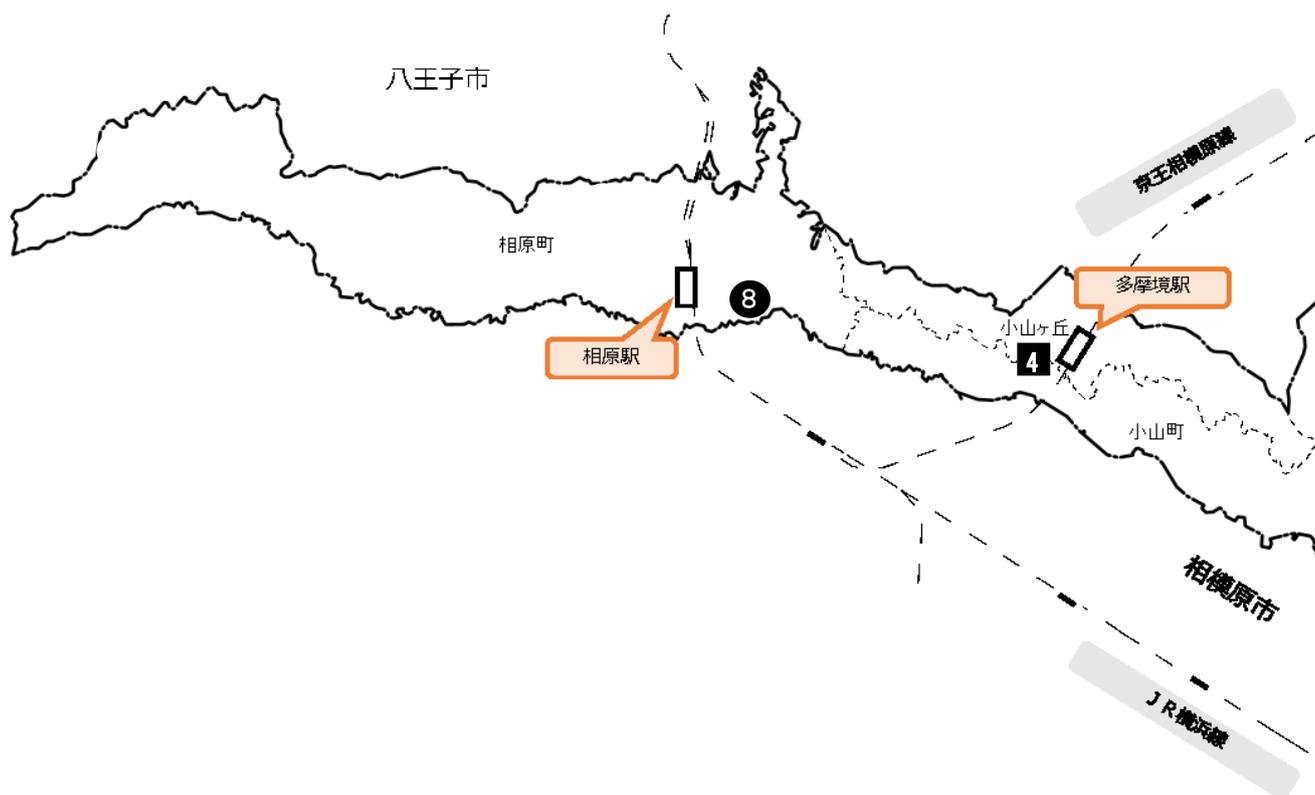


記号	小学校	記号	小学校
1	町田第一小学校	22	南つくし野小学校
2	町田第二小学校	23	鶴川第一小学校
3	町田第三小学校	24	鶴川第二小学校
4	町田第四小学校	25	鶴川第三小学校
5	町田第五小学校	26	鶴川第四小学校
6	町田第六小学校	27	金井小学校
7	南大谷小学校	28	大蔵小学校
8	藤の台小学校	29	三輪小学校
9	本町田東小学校	30	忠生小学校
10	本町田小学校	31	小山田小学校
11	南第一小学校	32	忠生第三小学校
12	南第二小学校	33	山崎小学校
13	南第三小学校	34	小山田南小学校
14	南第四小学校	35	木曾境川小学校
15	つくし野小学校	36	七国山小学校
16	小川小学校	37	函師小学校
17	成瀬台小学校	38	小山小学校
18	鶴間小学校	39	小山ヶ丘小学校
19	高ヶ坂小学校	40	小山中央小学校
20	成瀬中央小学校	41	相原小学校
21	南成瀬小学校	42	大戸小学校

記号	中学校
1	町田第一中学校
2	町田第二中学校
3	町田第三中学校
4	南大谷中学校
5	南中学校
6	つくし野中学校
7	成瀬台中学校
8	南成瀬中学校
9	鶴川中学校
10	鶴川第二中学校
11	葉師中学校
12	真光寺中学校
13	金井中学校
14	忠生中学校
15	山崎中学校
16	木曾中学校
17	小山田中学校
18	小山中学校
19	堺中学校
20	武蔵岡中学校



4. 生涯学習部所管施設及び主な文化財の配置図



記号	生涯学習部所管施設
①	生涯学習センター
②	中央図書館
③	さるびあ図書館
④	鶴川図書館
⑤	鶴川駅前図書館
⑥	金森図書館
⑦	木曾山崎図書館
⑧	堺図書館
⑨	忠生図書館
⑩	町田市民文学館ことばらんど
⑪	自由民権資料館
⑫	考古資料室

記号	町田市の主な文化財
①	国指定重要文化財 旧永井家住宅
②	国指定史跡 高ヶ坂石器時代遺跡
③	東京都指定有形文化財 旧荻野家住宅
④	東京都指定史跡 田端環状積石遺構
⑤	東京都指定史跡 本町田遺跡
⑥	東京都指定史跡 小山田1号遺跡
⑦	東京都指定史跡 西谷戸横穴墓群
⑧	東京都指定史跡 下三輪玉田谷戸横穴群
⑨	町田市有形文化財 村野常右衛門生家
⑩	町田市指定史跡 三輪白坂横穴群

5. 年表

明治

年	月	項目
1871(明治4)	2	小野郷学開校(華嚴院、万松寺、大泉寺、南仙堂を輪番隔月)
1872(明治5)	8	学制発布
1873(明治6)	3	小野郷学解体
	4~5	市域に19の小学舎開校 小野学舎(小野路)、智新学舎(野津田)、有隣学舎(上小山田)、又新学舎(下小山田)、向明学舎(図師)、 励精学舎(真光寺)、育英学舎(大蔵)、研精学舎(三輪)、新民学舎(小山)、誠教学舎(小山)、開曠学舎 (鶴間)、成高学舎(成瀬)、共研学舎(金井)、昭明学舎(本町田)、真敬学舎(南大谷)、日新学舎(原町 田)、誠意学舎(木曾)、孝養学舎(山崎)、相原学舎(相原)
1874(明治7)		この年、大戸学舎開校
1875(明治8)	6	県の指令により小学舎を学校と改称。村立の学校は村名に改定(小野学舎が小野路学校、智新学舎が野 津田学校、又新学舎が小山田学校、共研学舎が金井学校、昭明学舎が本町田学校、真敬学舎が大谷学 校に改称)
1876(明治9)	7	小山田学校校舎新築
	8	誠教学校が誠敬学校と改称、中村に校舎新築
1877(明治10)	4	大戸学校が奈良谷に移築
	7	有隣学校校舎新築
	10	金井学校校舎新築
		この年、研精学校が岡上学校と合併
1878(明治11)	3	成高学校が東雲寺火災により観性寺に移転
	5	橋本政直らが学習結社「責善社」を設立
	12	向明学校校舎新築
1879(明治12)	10	野津田学校校舎新築
1880(明治13)	2	研精学校から能ヶ谷学校が独立
	7	私立学校養英館が相原村に開業
		この年、細野喜代四郎・井上光治らが学習結社「琢磨会」を結成
		この年、成高学校は高ヶ坂学校が分立し、成瀬学校と改称
		この年、本町田学校が陶化学校と改称
1881(明治14)	1	石阪昌孝らが中心となり「武相懇親会」を開催
	11	石阪昌孝らが政治結社「融貫社」を設立
1882(明治15)	4	誠敬学校が小山学校と改称
	5	相原学校が中村に校舎新築(通称八丹学校)
	7	政治結社「融貫社」が学習結社「融貫社講学会」に組織変更
1883(明治16)	2	野津田村に文武道場「凌霜館」が設立
		この年、研精学校校舎新築
		この年、日新学校校舎が浄運寺前に新築
1887(明治20)	10	開曠学校校舎が現南一小的の地に新築
1889(明治22)	4	市制、町村制の施行により市域は5村(町田村、南村、鶴川村、忠生村、堺村)
1890(明治23)	3	野津田を中心に「玉南青年会」が設立
	10	このころ、町田村に青年学習結社「大成会」が設立
1891(明治24)	1	小山田、高ヶ坂の青年会が結成
	2	町田村の青年学習結社「大成会」が「辛卯会」に改称
1892(明治25)	3	「成瀬青年会」結成
	4	鶴川村井上村長が学校の一新を図るため校名を変更。一部を統合のうえ、第一鶴川尋常小学校から第五 鶴川尋常小学校の5校とする 相原学校、新民学校等が補習科を設置 大戸学校が大戸尋常小学校と改称
	11	青年学習結社辛卯会が町田(青年)倶楽部に改称
1893(明治26)	4	南、北、西多摩三郡を東京府へ移す
1895(明治28)	2	鶴川高等小学校開校
	8	向明小学校に高等小学校併置
		鶴川村教育会設立
1899(明治32)		この年、「小川青年会」結成
1900(明治33)	12	高ヶ坂尋常小学校設立
1901(明治34)	4	相原尋常小学校に高等科併設
	5	小山尋常小学校に高等科併設
		この年、南部4ヶ村教育会設立
1902(明治35)	3	鶴川実業補習学校が発足
1903(明治36)	3	日新・陶化・大谷小学校が統合されて町田尋常高等小学校となる
	5	新民学校と小山尋常高等小学校が合併
1904(明治37)	4	小山尋常高等小学校校舎新築
1908(明治41)	4	鶴川村で第一・第二・第三・第四・第五鶴川尋常小学校と鶴川高等小学校が統廃合され、鶴川尋常高等 小学校となり、小野路、三輪に分教場を設置 大戸尋常小学校と相原尋常高等小学校が合併し、大戸分教場を設置

1909(明治42)	5	開曠学校が南村尋常高等小学校と改称
	6	現相原小の地に相原尋常小学校の新校舎完成

大正

年	月	項目
1912(大正元)	9	忠生村で向明・小山田・有隣・誠意学校が統廃合され、忠生尋常高等小学校となり、小山田分教場を設置
1913(大正2)	9	南第一農業補習夜学校、南第二農業補習夜学校が発足
1914(大正3)	10	町田農業補習学校が発足 この年、函師青年会、本町田青年会が発足
1916(大正5)	5	堺村青年団が創立
1917(大正6)	1	忠生尋常小学校に忠生実業補習学校併設
1920(大正9)	12	南第一農業補習夜学校が南第一実業補習学校、南第二農業補習夜学校が南第二実業補習学校と改称
1922(大正11)	1	忠生村小山田の同人結社「紅潮社」が同人誌「紅潮」を創刊
1923(大正12)	3	相原尋常小学校に高等科2年、相原実業補習学校を併設
	9	関東大震災で相原尋常小学校校舎が大破
1924(大正13)	1	忠生実業補習学校が農業公民学校となる
1925(大正14)	10	高ヶ坂石器時代遺跡の発掘開始
1926(大正15)	2	高ヶ坂石器時代遺跡が国史跡に指定
	2~5	相原、南村、鶴川等各小学校併設の実業補習学校が農業公民学校と改称
	6~7	各小学校に青年訓練所を併設

昭和

年	月	項目
1927(昭和2)		この年、町田尋常高等小学校に青年訓練所を兼ねた町田農公民学校が併設
1929(昭和4)	4	玉川学園開校 私立町田女学校開校 原町田幼稚園(市域最初の幼稚園)創設
1930(昭和5)	5	町田高等女学校が町田女学校に併設
1932(昭和7)	3	町田女学校廃止
1935(昭和10)	10	青年学校令公布により、市域の各農業公民学校、青年訓練所が青年学校となる
1939(昭和14)	9	浪江度が鶴川村大蔵に私立南多摩農村図書館を開設
1941(昭和16)	4	市域の小学校が国民学校と改称
1942(昭和17)	3	南村に翼賛青少年団が発会 この年、玉川学園内に興亜工業大学が開校
1943(昭和18)	1	南村で南多摩郡教育会第三支部教育報国挺身隊が結成 この年、南国民学校で学校給食開始
1944(昭和19)	8	市域の各村で品川区の鈴ヶ森、伊藤、立会国民学校の学童集団疎開を受け入れる この年、南村女子挺身隊結成 この年、神戸照子が鶴川村大蔵の慶性寺に寒竹学苑を開設
1945(昭和20)	3	玉川工業専門学校開校
	5	焼夷弾を受け、学童集団疎開寮の妙延寺、万松寺焼失
	9	市域の各国民学校で始業式
	10	市域の集団疎開学童の大部分が帰京
1946(昭和21)	5	私立桜美林学園開校 南多摩青年文化連盟発会
	9	町田図書館設置委員会設立
1947(昭和22)	3	南多摩郡教育研究会(町田市教育研究会の前身)創立 私立町田高等女学校が町田町に移管 市域で6・3制による新制中学校が設置され、男女共学による開校式(町田第一中、南中、鶴川中、忠生中、堺中)
	8	神戸照子が鶴川村大蔵に寒竹文庫を開設
1948(昭和23)	12	町田小(現町田第一小)で学校給食(みそ汁)開始
	3	町田町立町田高等女学校が東京都に移管
	4	都立町田高等学校設立
	6	南中、町田小にPTA結成
	11	市域の教育事務は南多摩教育出張所の所管に
1949(昭和24)	5	町田第一中にPTA結成
1950(昭和25)	5	町田町長、社会教育委員会共催で憲法記念講演会
	6	町議会の議決により町田町公民館を正式に設置
	7	堺中にPTA結成
	10	町田少年補導協会結成

1951(昭和26)	11 第2回都教育委員選挙(町田町での投票率60%) 南村が社会教育委員会を設置
1952(昭和27)	10 町田町社会教育委員制度発足 11 郷土芸能「三ツ目ばやし」文部省芸術祭郷土芸能コンクールに出演 4 町田第二小、町田第三小開校 5 忠生第二小が独立開校(現小山田小)
1953(昭和28)	11 市域各町村に公選制教育委員会発足
1954(昭和29)	町田町公民館条例施行 8 原町田に児童館完成 3 町田町役場内に図書室開設
1955(昭和30)	4 町田町と南村が合併 10 『鶴川風土記』刊行 4 町田第四小開校 6 町田郷土研究会が「井手の沢古戦場の碑」を本町田菅原神社境内に建立 町田第四小で完全給食開始
1956(昭和31)	2 鶴川村婦人会発足 9 町田町立図書館創設
1957(昭和32)	10 市域の各町村で新教育委員会(任命制)発足 4 町田第二中開校
1958(昭和33)	10 八木重吉詩碑完成 2 市制施行(町田町、鶴川村、忠生村、堺村の1町3か村が合併) 町田市教育委員会設置 3 町田市連合青年団発足 4 南第三小開校 町田市婦人連絡協議会結成 10 市青少年問題協議会条例制定 市社会教育委員設置 市章制定
1959(昭和34)	11 第1回小学校音楽会(市教委、小教研共催) 町田市小学校PTA(市P協)発足 4 小学校科学教育センター設置 町田第二小に「知恵遅れ学級」開設
1960(昭和35)	8 市営プール開設 1 ボーイスカウト町田第1団結成 4 小学校3年生用社会科副読本『わたしたちの町田』創刊 6 町田第一小玉川分校(現町田第五小)開校 7 市体育指導委員設置 市青少年委員設置
1961(昭和36)	12 町田市文化財保護条例制定 3 町田市文化財専門委員会発足 4 町田第一中に障がい学級設置 私立鶴川高等学校開校
1962(昭和37)	6 市青少年対策地区委員会設置 2 交通安全都市宣言 4 忠生第三小が独立開校 中学校科学教育センター設置 堺中小山分教場廃止
1963(昭和38)	5 緑のおばさん通学路に立つ 3 鶴川地区給食共同調理所開設 4 町田第五小開校 教育相談室開設 都立町田工業高等学校開校
1964(昭和39)	5 町田市歌、町田音頭できる 11 『忠生村誌』刊行 4 鶴川第二小開校 都立町田青年の家開所
1965(昭和40)	8 鶴川団地造成に伴う遺跡発掘調査開始(翌年4月まで) 忠生中に学校プール第1号が完成 1 児童詩集『町田の子』創刊 4 町田第六小開校 市立体育館落成 南地区学校プールが南中に完成
1966(昭和41)	11 第1回市民歩こう会 5 青少年健全育成都市宣言 鶴川第一小新校舎落成、移転 8 堺地区学校プールが堺中に完成 鶴川地区学校プールが鶴川第二小に完成

1967(昭和42)	<p>愛の鐘第1号が市役所屋上に設置</p> <p>11 高ヶ坂石器時代遺跡復元</p> <p>3 第1回町田市社会教育大会開催</p> <p>4 南第三小金森分校(現南第四小)開校</p> <p>7 町田地区学校プールが町田第一中に完成</p> <p>本町田団地造成に伴う遺跡発掘調査開始(翌年4月まで)</p> <p>9 鶴川第三小開校</p>
1968(昭和43)	<p>11 鶴川中新校舎落成、移転</p> <p>3 相原小大戸分校閉校</p> <p>4 南第四小、忠生第四小、忠生第五小、町田第三中開校</p> <p>市教委配属指導主事が2人制</p> <p>教育委員会事務局に青少年課設置</p> <p>5 市民憲章制定</p> <p>玉川学園地区が都下2番目の文教地区に指定</p>
1969(昭和44)	<p>11 小野路町に私立小島資料館開館</p> <p>4 忠生第六小開校</p> <p>5 田端環状積石遺構保存工事完成</p> <p>7 学童保育クラブが市内2か所に開設</p>
1970(昭和45)	<p>1 市役所新庁舎オープン</p> <p>4 緑ヶ丘小、本町田東小開校</p> <p>10 移動図書館車「そよかぜ号」運行開始</p> <p>12 町田市学校保健会設立</p>
1971(昭和46)	<p>4 南第一小つくし野分校、鶴川第四小、薬師中開校</p> <p>障がい者のためのスクールバスがスタート</p> <p>教育委員会事務局に施設課設置</p> <p>教育委員会事務局にスポーツ課設置</p> <p>都立忠生高等学校開校</p> <p>本町田遺跡公園開園</p>
1972(昭和47)	<p>7 町田第三小ほか5校にプール完成(全小・中学校に配置)</p> <p>9 移動図書館車「そよかぜ2号」スタート</p> <p>11 第1回町田市学校保健大会開催</p> <p>2 市立図書館鶴川分館オープン</p> <p>4 つくし野小が独立開校</p> <p>日向山公園テニスコート、中央公園バレーボールコート開設</p> <p>5 市立図書館本館新築完成</p> <p>D51型蒸気機関車が市立図書館本館わき(現すみれ会館横)に展示公開</p> <p>6 町田市学校給食協議会発足</p> <p>10 市子ども会育成会事務連絡協議会発足</p> <p>移動図書館車「そよかぜ3号」スタート</p>
1973(昭和48)	<p>12 町田第二中防音校舎完成</p> <p>3 市少年相談員設置</p> <p>4 本町田西小、藤の台小、鶴川第二中開校</p> <p>都立町田養護学校開校</p> <p>都立町田青年の家が市へ移管、青少年施設「ひなた村」としてオープン</p> <p>5 相原小温室プール開き</p> <p>6 町田第二小に肢体不自由児の訪問学級開級</p> <p>南第一小、南第二小、小山小開校百周年</p> <p>7 移動スポーツ車スタート</p> <p>青少年施設「ひなた村」が活動開始</p> <p>9 みんなの祭り「23万人の個展」</p>
1974(昭和49)	<p>11 郷土資料館(現市立博物館)開館</p> <p>2 第1回子どもマラソン大会開催</p> <p>3 旧荻野家住宅が薬師池公園に移築</p> <p>『町田市史』(上巻)刊行</p> <p>4 南大谷小開校</p> <p>町田第一小開校百周年</p> <p>6 市立図書館金森分館オープン</p>
1975(昭和50)	<p>11 相原小開校百周年</p> <p>2 堺中武道館完成</p> <p>3 旧永井家住宅を薬師池公園に移築</p> <p>4 小川小、成瀬台小、南大谷中、本町田中開校</p> <p>教育委員会事務局が2部制に</p> <p>都立野津田高等学校開校</p> <p>都立町田養護学校が野津田町に移転</p> <p>6 教育相談室に言語相談部門開設</p> <p>図書館で「声の図書」貸し出し開始</p> <p>9 つくし野中開校</p>

1976(昭和51)	12 『堺村誌』刊行 2 町田第四小に「ことばの教室」開級 3 『町田市史』(下巻)刊行 4 忠生第七小開校 郷土資料館が「町田市立博物館」と改称 日本大学第三高等学校開校
1977(昭和52)	5 自然休暇村(長野県川上村)入村式 7 市立図書館木曾山崎分館オープン 10 小山小新校舎落成、移転 3 鶴川中の給食が中止 4 鶴間小、原小、木曾小開校 町田第一中に肢体不自由学級の校舎完成 教育相談室が教育相談所と改称 都立町田養護学校に高等部設置 町田市文化連盟発足 7 自然休暇村のキャビン使用開始 10 市立図書館鶴川分館が移転オープン (この年で、中学校の校舎鉄筋化率、体育館保有率、小・中学校のプール保有率100%)
1978(昭和53)	1 旧永井家住宅が国重要文化財に指定 4 高ヶ坂小、金井小開校 都立成瀬高等学校開校 学校給食に米飯給食導入 東京女学館短大が町田に移転 8 大地沢青少年センターが通年施設としてオープン 10 町田市民ホールが落成 12 町田市公民館新装オープン
1979(昭和54)	3 鶴川共同調理所廃止 4 成瀬中央小、成瀬台中、山崎中開校 学校機械警備開始 9 少年サッカー場オープン
1980(昭和55)	4 南成瀬小、南つくし野小、大蔵小、山崎小、真光寺中開校 都立小川高等学校開校 11 小山田小新校舎完成(木造校舎解消) 第1回町田市障がい学級、養護学校連合マラソン大会開催
1981(昭和56)	7 薬師中水泳部が都大会で優勝 8 FC町田が第5回全日本少年サッカー大会で優勝 12 第1回公民館まつり
1982(昭和57)	4 三輪小、南成瀬中が開校
1983(昭和58)	2 忠生中事件起きる 4 大戸小、木曾中、武蔵岡中開校 都立山崎高等学校開校 8 地域教育相談所開設 9 市立図書館堺分館開館
1984(昭和59)	4 小山田南小、金井中、小山田中開校 木倉入谷戸遺跡から和銅開珎出土 法政大学多摩キャンパス、東京家政学院大学多摩キャンパス開校 5 小山田1号遺跡が特殊樹脂加工を施して公園としてオープン 11 町田ジュニア・フィルハーモニーオーケストラ誕生
1985(昭和60)	2 忠生中が『学校再建の歩み』刊行 8 第1次町田市教育交流視察訪中団 11 民権の森に「自由民権の碑」建立 12 教育研究所が原小内にオープン
1986(昭和61)	3 関東地方最古の仏像(誕生釈迦仏立像)が東雲寺で発見 8 第2次町田市教育交流視察訪中団 10 塩川文相が忠生中視察 11 町田市立自由民権資料館オープン
1987(昭和62)	4 町田市立国際版画美術館オープン 6 市立中学校外国人英語学習指導補助者制度発足
1988(昭和63)	5 ナイター設備付き「三輪みどり山球場」オープン 8 町田市中学生中国訪問団 12 『町田市教育史』(上巻)刊行

平成

年	月	項目
1989(平成元)	7	自然休暇村本館オープン 教育広報『まちだの教育』創刊 教育委員会事務局が森野分庁舎へ移転
	8	忠生第五小で余裕教室を一般開放
	9	忠生少年野球場オープン 第1回町田薪能
1990(平成2)	10	市立室内プールオープン
	1	自然休暇村に大型望遠鏡設置
	3	『町田市教育史』(下巻)刊行 室内プール入場者10万人
	4	国際版画美術館にハイビジョンギャラリー
1991(平成3)	10	市立陸上競技場オープン 市立総合体育館オープン
	11	市立中央図書館オープン
	12	町田市市民大学構想検討委員会が答申
	6	大地沢青少年センター本館オープン
	7	国際版画美術館に110インチのハイビジョン
1992(平成4)	8	室内プール利用者が100万人を突破
	11	町田市公民館が文部大臣表彰
	3	本町田遺跡、西谷戸横穴墓群が東京都指定史跡に 『町田市教育史』(資料編)刊行
1993(平成5)	7	市立図書館全館がオンライン化
	8	ニュージーランドへ第1回中学生海外派遣団
	9	町田第一中体育館・温水プール落成
	11	子ども議会が開会(小学6年生)
	1	ニュージーランドの中学生来訪
1994(平成6)	6	まちだ市民大学HATSが開校
	7	ひなた村新装オープン
	9	忠生中体育館・プール落成
	2	町田第四小内にまちだ市民大学の活動拠点が完成
1995(平成7)	7	「町田市余裕教室活用計画案策定委員会」報告書まとまる
	10	青少年課発足
	11	市立小・中学校の余裕教室の活用による高齢者福祉施設設置事業において、町田市がパイロット自治体に指定 鶴間小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
	1	大地沢青少年センターにて町田市のジュニアリーダーと韓国の青少年が国際交流
	4	学校週5日制を月2回実施(毎月第4土曜日)
1996(平成8)	3	鶴川第二小が東京都学校給食優良学校として表彰される 町田市子どもセンター建設計画検討委員会が答申
	5	青少年健全育成都市宣言30周年記念事業スタート 子ども憲章実行委員会が子どもたちの手による「子ども憲章」を発表
	11	自由民権資料館新装オープン
1997(平成9)	10	鶴川第二小が「学校給食優良学校文部大臣表彰」を受賞
1998(平成10)	4	つくし野小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「つくし野デイサービスセンター」が開所
	12	町田市立学校適正規模適正配置等審議会が答申 相模原市と図書館の相互利用開始
1999(平成11)	3	南中体育館・温水プール落成
	4	鶴川第四小の余裕教室を活用した高齢者福祉施設「デイサービス鶴川」が開所
	5	「町田市子どもセンター“ばあん”」がオープン
2000(平成12)	1	「南大谷子どもクラブ」がオープン
	4	教育部が学校教育部に、文化部が生涯学習部に名称変更 市教委配属指導主事が4人制
2001(平成13)	7	金森図書館が移転新築オープン
	3	『わたしとわたしたち—人権と民権を考える—』刊行
	4	忠生第四小と木曽小を統合、「木曽境川小学校」が開校 サン町田旭体育館オープン
2002(平成14)	10	子ども議会が開会(中学生)
	1	新しい成人式「二十祭まちだ」を開催 鶴川中新校舎、体育館、温水プール落成
	4	鶴川中が新校舎に移転 木曽境川小が本校舎に移転 本町田西小、緑ヶ丘小、原小を統合、「本町田小学校」が開校 教育研究所が旧忠生第四小に移転
		学校週5日制が完全実施

2003(平成15)	<p>小・中学校全校に「学校運営協議会」設置 市民大学HATSが森野分庁舎に移転 子どもセンター“ばあん”来館者20万人 5 学生教育ボランティア制度開始 10 まちだ中央公民館(町田センタービル6階～8階)オープン 町田第一小体育館、プール、増築校舎完成 3 「町田市立小・中学校選択制度検討委員会」報告書答申 4 本町田小が本校舎に移転</p>
2004(平成16)	<p>教育センターに小学校適応指導教室を開設 忠生第五小・忠生第六小・忠生第七小を統合、「七国山小学校」が開校 小・中学校全校に「主幹」職の教員配置される 青少年課・学務課一部業務(私立幼稚園等保護者補助金等)を子ども生活部(子ども総務課・児童青少年課)へ組織移管替え 指導課事務見直しに伴い4係(事務・指導・教職員・就学相談)が3係(管理・教職員・就学相談)制に 学校施設管理センター、忠生第五小学校跡地に設置 7 小山ヶ丘小学校建設に着工 3 「町田市立中学校給食実施計画」履行を答申 4 七国山小が本校舎に移転(学校適正規模適正配置事業に伴う小学校3校統合終了) 「町田市立小・中学校選択制度」開始 指導課教育センター係発足(旧教育研究所と旧教育相談所組織を改組) 教育センターに指導主事(市費負担)を新たに1人配属</p>
2005(平成17)	<p>6 町田市教育センター改装オープン 7 町田市立文学館着工 4 「小山ヶ丘小学校」が開校 小・中学校全校で「教頭」から「副校長」に名称変更 小学1年生の「生活指導補助者」91名を31校に派遣 成瀬台小に「通級指導情緒障がい学級」を開設 小・中学校「授業力」向上プログラム～9年目までの全教職員対象 『発掘された町田の遺跡』全面改訂(前回1977年発行以来) 教育総務課の3係(総務・経理・企画調整)を新たに3係(総務・事務・学校環境整備)に再編 上の原グラウンドオープン 相原中央グラウンドオープン</p>
2006(平成18)	<p>9 中学校給食を弁当併用外注方式により4校(忠生中・小山田中・堺中・武蔵岡中)で開始 中学校2年生職場体験授業を実施 1 小・中学校に学校サポーター導入 3 小・中学校と教育センターを結ぶ学校ネットワークを整備 第1回町田市教育委員会児童・生徒表彰式を開催 インターネットでオーストラリアの小学生と国際交流 4 体育施設及び自然休暇村の管理、運営を指定管理者へ移行 田端環状積石遺構を保存・復元 小野路球場・グラウンドオープン 木曾山崎グラウンドオープン 相原中央テニスコートオープン</p>
2007(平成19)	<p>5 中学校給食4校で追加実施(南中・つくし野中・成瀬台中・南成瀬中) 10 町田市民文学館ことばらんどオープン 4 組織改正により、施設課の一部業務を営繕課へ移管 特別支援教育開始 学校支援ボランティア開始 5 中学校給食4校で追加実施(鶴川中・真光寺中・薬師中・鶴川第二中) 6 e-ラーニング実施 8 野津田球場オープン 10 八王子市と図書館の相互利用開始 12 図師小学校建設に着工</p>
2008(平成20)	<p>『武相自由民権史料集』(全6巻)刊行 3 堺中学校体育館・プール改築・増築校舎完成 4 組織改正により、スポーツ課・博物館・国際版画美術館を文化スポーツ振興部へ、ひなた村・大地沢青少年センターを子ども生活部へ移管 組織改正により、社会教育課を生涯学習課に名称変更し、一部業務を文化振興課に移管 学校環境整備係(教育総務課)を学校施設管理センター(施設課)へ所管替え 都立町田養護学校の学校名称が「都立町田の丘学園」に変更 小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が開始 京王沿線七市の図書館の相互利用開始 5 中学校給食3校で追加実施(町田第一中・町田第三中・南大谷中) 6 中学校給食1校で追加実施(町田第二中) さるびあ図書館を基点に学校図書館支援貸出事業スタート 8 「町田市の教育に関する市民意識調査」実施 10 「町田市学校支援実行委員会」設立 11 小山中央小学校建設に着工</p>

2009(平成21)	2 町田市教育プランを策定 町田市民文学館来館者10万人 3 『町田市立小・中学校校歌集』発行 4 保健給食課を新設し、学務課の一部業務を移管 「図師小学校」が開校 5 中学校給食4校で追加実施(本町田中・金井中・山崎中・木曾中)し、全中学校で給食を実施 6 モデル校に学校支援地域理事を設置。その学校を「スクールボード校」としてスタート
2010(平成22)	3 第1回中学生「東京駅伝」大会において男女とも優勝 4 「小山中央小学校」が開校 9 忠生センター、小山市民センター、南町田駅前連絡所で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始 10 小山中学校建設に着手 11 「フェスタぶらりライブラリーinまちだ」開催(中央図書館)
2011(平成23)	3 本町田中学校閉校 8 中学校普通教室のエアコン設置 9 忠生第一小学校が忠生小学校に名称変更 11 「2011年度町田市子ども教育委員会」を開催
2012(平成24)	4 大戸小学校と武蔵岡中学校が「小中一貫ゆくのき学園」として開校 「小山中学校」が開校 生涯学習センターオープン 川崎市と図書館の相互利用開始 6 学校施設管理センターが本町田中学校跡地へ移転 7 市役所移転 10 鶴川駅前の複合型文化施設「町田市文化施設和光大学ポブリホール鶴川」内に、鶴川駅前図書館がオープン
2013(平成25)	3 第4回中学生「東京駅伝」大会において男女総合優勝 4 組織改正により、教育センターが指導課から独立し課相当となる 6 教育センターに中学校適応指導教室を開設 教育センターに「まちだJUKU」を開設 図書館事業計画策定
2014(平成26)	7 町田市文化財総合活用プランを策定 2 町田市教育プラン(改定版)を策定 3 町田市生涯学習推進計画を策定 4 小中一貫教育「町田っ子カリキュラム」が「規範教育」、「キャリア教育」、「食育」の3領域になる 教育総務課の2係(総務・事務)を新たに2係(総務・学校運営支援)に再編 成瀬中央小学校に「言語障がい学級」を開設 9 小・中学校給食費を改定 町田市いじめ防止基本方針策定
2015(平成27)	10 鶴川第一小学校校舎改築工事着工式を実施 3 図書館情報システムリニューアル 4 教育総務課の車両担当が、財務部管財課車両管理係に統合 町田市教育委員会いじめ問題対策委員会及び町田市いじめ問題調査委員会条例を制定 小学校給食の調理業務委託を開始(初年度は、町田第三小・町田第六小・南第四小・鶴川第四小・小山田小・木曾境川小の6校) 町田市文化財保護条例を改正し、登録文化財制度を導入 5 忠生市民センター内に、忠生図書館がオープン 町田市学力向上推進プラン、家庭学習の手引き作成 町田市学力向上推進フォーラムを開催 町田市特別支援教育推進計画策定 学校施設管理センターが忠生第六小跡地へ移転 初めての町田市総合教育会議開催
2016(平成28)	8 町田市民文学館来館者50万人 1 町田市登録有形文化財として、西谷戸横穴墓群出土圭頭大刀、野津田神社幟(石阪昌孝揮毫)、善寧児先生碑(通称 ジェンナー碑)を登録 子どもセンターばお分館で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始 3 鶴川第一小学校新校舎完成 4 学校施設管理センターを廃止し、施設課に学校用務担当課長を配置 学校用務業務委託を開始(初年度は、町田第五小・本町田東小・南第三小・鶴間小・小山小・南大谷中・鶴川第二中・小山田中の8校) 小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、町田第二小・南成瀬小・南つくし野小・鶴川第二小・忠生小・小山田南小の6校に導入。委託校は計12校) 忠生小に「自閉症・情緒障がい学級」を開設 南成瀬中に「情緒障がい等学級」を開設 小学校情緒障がい等学級の巡回指導開始(初年度は町田第四小を拠点校とした8校に導入)
2017(平成29)	7 成瀬コミュニティセンターで図書館資料の予約資料受渡サービスを開始 10 町田市民文学館開館10周年 4 学校用務業務委託の拡大(新たに、町田第三小・南大谷小・小川小・鶴川第四小・忠生第三小・大戸小・南成瀬中・忠生中・武蔵岡中の9校に導入。委託校は計17校)

2018(平成30)	5	町田市学力向上推進フォーラムを開催
	8	ICTモデル校(堺中学校、小山ヶ丘小学校)の普通教室へ大型提示装置を配備
	12	ICTモデル校(堺中学校、小山ヶ丘小学校)へ教員用・児童生徒用Chromeブックを配備
	3	山崎小学校肢体不自由学級を町田第六小学校肢体不自由学級に統合 鶴川第一小学校給食棟完成
2019(平成31)	4	教育委員長と教育長が一本化され、新教育長体制を開始 町田市内の全小学校で情緒障がい等通級指導学級(サポートルーム)の巡回指導化 学校用業務委託の拡大(新たに、南成瀬小・鶴川第二小・大蔵小・忠生小・町田第二中・町田第三中・南中の7校に導入。委託校は計24校) 小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、鶴川第三小・相原小の2校に導入。委託校は計14校) 町田市立小・中学校に副校長補佐を配置(初年度は11校)
	8	小学校19校、中学校7校にICT機器(大型提示装置、Chromeブック)を配備
	9	町田市立小・中学校にスクール・サポート・スタッフを配置(初年度は26校)
	2	町田市立小・中学校における働き方改革プランを策定 町田市教育プラン2019-2023を策定 町田市立図書館のあり方見直し方針を策定
	3	町田市生涯学習推進計画2019-2023を策定 町田第一中学校校舎改築工事起工式を実施 鶴川第一小学校体育館完成 町田市立学校適正規模・適正配置等審議会条例を制定
	4	校務支援システム運用開始 スクール・サポート・スタッフ配置校の拡大(新たに24校に配置) スクール・ロイヤー制度を導入 町田市立小・中学校に電話応対における音声案内機能を導入 学校用業務委託の拡大(新たに、町田第四小学校・高ヶ坂小学校・南つくし野小学校・三輪小学校・小山田小学校・小山ヶ丘小学校の6校に導入。委託校は計30校) 小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、南大谷小、南第三小、忠生第三小の3校に導入。委託校は計17校)

令和

年	月	項目
2019(令和1)	5	大和市と図書館の相互利用開始
	8	小学校22校、中学校12校にICT機器(大型提示装置)を配備
	9	中学校給食無料試食会事業の実施(2019年9月～2020年1月)
2020(令和2)	10	いじめ匿名連絡サイト「スクールサイン」を導入
	12	小学校22校、中学校7校にICT機器(Chromeブック)を配備
	1	町田市立学校適正規模・適正配置等審議会が答申 (町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方について)
	1	図書館情報システム更改(リニューアル)
	2	町田市学校給食問題協議会が答申(①中学校給食について②小学校給食の衛生管理について)
	2	効率的・効果的な図書館サービスのアクションプランを策定
	2	第2期町田市特別支援教育推進計画策定
	2	中央図書館「ヤングアダルトコーナー」を「TEEN LIBRARY」の愛称でリニューアル
	2	「英語多読コーナー」を中央図書館、鶴川駅前図書館、忠生図書館に新設
	3	町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を決定
	3	町田市生涯学習審議会が答申(町田市生涯学習センターに求められる役割について)
3	市立小中学校で新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業を実施	
3	生涯学習施設で新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館を実施	
4	町田市立小・中学校全校にスクール・サポート・スタッフ配置完了	
4	学校用業務委託の拡大(新たに、町田第一小学校・本町田小学校・南第二小学校・つくし野小学校・木曾境川小学校・相原小学校・薬師中学校・真光寺中学校の8校に導入。委託校は計38校)	
4	小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、藤の台小、南第一小、三輪小の3校に導入。委託校は計20校)	
4	町田市立小学校(武蔵岡中学校を含む)における学校給食費公会計の運用開始	
4	鶴川第四小学校に、自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設	
4	スクールカウンセラーを市費にて新たに任用開始	
5	第4期町田市民文学館運営協議会が答申(町田市民文学館の施設運営の点検・評価について)	
6	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の解除等を受け、市立小中学校を再開	
6	新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の解除等を受け、生涯学習施設を再開	
8	中学校6校にICT機器(大型提示装置)を配備	
11	町田市生涯学習審議会が答申(今後の町田市立自由民権資料館のあり方について)	
11	横浜市と図書館の相互利用開始	

2021(令和3)	<ul style="list-style-type: none"> 2 町田市立自由民権資料館のあり方見直し方針を策定 2 施政方針で中学校給食センター導入を表明 3 町田市立学校個別施設計画を策定 3 町田市立小・中学校に高速大容量通信ネットワークを整備 3 町田市立小・中学校に児童生徒1人1台のタブレット端末を配備 3 町田市立小・中学校にタブレット端末充電保管庫を整備 3 町田市教育委員会へ町田市立博物館が所蔵する考古・歴史・民俗資料の移管を完了 3 町田市指定史跡「(通称)鎌倉井戸」を町田市指定旧跡「伝鎌倉井戸(鎌倉古道推定地)」へ指定種別及び指定名称の変更 3 「町田市読書マップ」を作成し配布(町田市内の、本に触れることができる施設を地図で紹介) 4 学校用務業務委託の拡大(新たに、南第四小学校、鶴川第三小学校、山崎小学校、小山中学校の4校に導入。委託校は42校) 4 小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、本町田小、高ヶ坂小、大戸小の3校に導入。委託校は計23校) 4 町田市立小・中学校全校に学校運営協議会を設置 4 中学校適応指導教室小集団指導を委託事業により開始 4 スクールソーシャルワーカーの執務場所を教育センターに変更 4 町田市立中学校全校で情緒障がい等通級指導学級(サポートルーム)の巡回指導化 4 小山中央小学校に、自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設 4 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発出等を受け、生涯学習施設の利用休止を実施 4 まちだの新たな学校づくり審議会が答申(町田市新たな学校づくり推進計画の策定について) 4 高ヶ坂石器時代遺跡(八幡平遺跡)の公開を開始 5 町田市新たな学校づくり推進計画を策定 5 町田市立学校施設機能別整備方針を策定 5 町田市立学校個別施設計画 学校整備計画編を策定 5 玉川学園コミュニティセンターで図書館資料の予約資料受渡サービスを開始
2022(令和4)	<ul style="list-style-type: none"> 11 町田市生涯学習審議会が答申(今後の町田市生涯学習センターのあり方について) 1 町田第一中学校新校舎完成 2 町田市生涯学習センターのあり方見直し方針を策定 3 「まちだの中学校給食センター計画」を策定 4 学校用務業務委託の拡大(新たに、町田第六小学校、鶴川第一小学校、つくし野中学校、木曽中学校の4校に導入。委託校は46校) 4 小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、町田第五小、つくし野小、金井小の3校に導入。委託校は計26校) 4 町田第三中学校に、自閉症・情緒障がい特別支援学級を開設 4 町田デジタルミュージアムの公開を開始 4 鶴川駅前図書館に指定管理者制度を導入 8 町田第一中学校における特別教室等の地域利用を開始
2023(令和5)	<ul style="list-style-type: none"> 10 町田市立図書館にて電子書籍サービスを開始 2 町田市生涯学習センター運営見直し実行計画を策定 2 まちライブラリー@南町田グランベリーパークで図書館資料の予約資料受渡サービスを開始 4 学校用務業務委託の拡大(新たに、小山田南小学校、成瀬台中学校、鶴川中学校、山崎中学校の4校に導入。委託校は50校) 4 小学校給食の調理業務委託の拡大(新たに、町田第四小、成瀬中央小、山崎小の3校に導入。委託校は計29校) 4 町田市立小・中学校全校に地域学校協働本部を設置 5 久美堂本町田店で図書館資料の予約資料受渡サービスを開始

6. 町田市子ども憲章

みんな自分に素直に生き、
そしてお互いを認め合うそんな社会へ…

それは、みんながそれぞれの生き方を追うことができるということ。
そして、他の誰とも違うかけがえのないわたしが、
まわりのすべてのものとともに、生きるということ。

人間尊重社会の実現

すべての人には平等な権利がある。でも、自分勝手に行動するだけはいけない。
——相手の立場になって気持ちを理解し、お互いを認め合える社会をつくっていきます。

自主性の確立

「自分から」。それがいちばん大切なこと。人にやってもらえばかりではだめなんだ。
いつも楽しくなるよう
——自分の道は自分で切り開いていきます。

個性の尊重

人はみんな一人ひとり違う。みんなと違ってこわくない。当たり前のことなんだ。
だから、
——それぞれが持っている自分らしさを大切にします。

命の大切さ

いのちがあるのは人間だけではない。動物にも植物にもいのちがある。だから、
——みんなで助け合って生きていきます。

学ぶ心の大切さ

経験から学ぶことは、自分の可能性を広げる。むだなことなんてない。だから、
——ものごとに前向きに取り組んでいきます。

友情の大切さ

世界中のどんな人でも、友だちはかけがえのないもの。いつも気持ちがわかり合える、
そんな仲間。だから、
——仲間を大切に続けます。

夢を追う気持ち

現実にとらわれなくともいい。わずかな可能性でも、
——自分の夢をもち続けます。

7. 問い合わせ先



学校教育部

教育総務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2172
新たな学校づくり推進課	森野 2-2-22 (10 階)	042-785-5471
施設課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2174
学務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2176
保健給食課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2177
指導課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2154
教育センター	木曾東 3-1-3	042-793-2481

生涯学習部

生涯学習総務課	森野 2-2-22 (10 階)	042-724-2181
生涯学習センター	原町田 6-8-1	042-728-0071
図書館 (中央図書館)	原町田 3-2-9	042-728-8220
町田市民文学館	原町田 4-16-17	042-739-3420



町田の教育 2023

発行 2023年(令和5年)10月
編集・発行 町田市教育委員会
学校教育部 教育総務課
町田市森野 2-2-22
電話 042・724・2172

刊行物番号

23-42

[市内印刷]

リサイクル適性(B)

この印刷物は、板紙へ
リサイクルできます。